

東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査 報告書

令和6年2月

東久留米市子ども家庭部

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査期間	3
5. 回収状況	3
6. 回答方法	3
7. 集計値や図表の表記について	4
II. 就学前児童調査の結果	5
1. お住まいの地域について	7
2. ご家族の状況について	9
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	11
4. 保護者の働き方について	15
5. 平日（月～金）の定期的な幼稚園や保育園などの利用状況について	28
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	42
7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	47
8. お子さんの病気の際の対応について	52
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	60
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	68
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	75
12. 子育て情報の入手方法、子育て支援への満足度やご意見について	85
III. 就学児童（小学校2年生）調査の結果	91
1. お住まいの地域について	93
2. ご家族の状況について	94
3. 保護者の働き方について	96
4. 小学2年生のお子さんの病気の際の対応について	106
5. 一時預かり等（宿泊を伴う場合を含む）の利用について	112
6. 放課後の過ごし方について	118
7. 子育て情報の入手方法、子育て支援への満足度やご意見について	125
IV. 資料編（調査票）	129
1. 就学前児童調査	131
2. 就学児童（小学2年生）調査	143

I . 調査の概要

1. 調査目的

令和2年度(2020年度)を始期とする第二期子ども・子育て支援事業計画の計画期間の終期が令和6年度(2025年度)であることから、2026年度から5ヵ年を計画する期間とする第三期子ども・子育て支援事業計画を作成することとなりました。事業計画は、子どもの数、子どもの保護者の特定教育・保育施設等および地域子ども・子育て支援事業の利用に関する意向、子どもとその保護者が置かれている環境、その他の事業を正確に把握した上で、これらを勘案して作成するものです。

東久留米市では、適切な事業計画を作成する上で、地域の実情を把握する必要があることから、利用希望把握調査を実施しました。

2. 調査対象

①就学前児童調査

市内に居住する0歳～就学前の子どもを持つ保護者 2,000人(抽出)

②就学児童(小学校2年生)調査

市立小学校2年生の子どもを持つ保護者 972人(悉皆)

3. 調査方法

①就学前児童調査

郵送配布、郵送回収及びインターネット回答によるアンケート調査

②就学児童(小学校2年生)調査

学校配布・学校回収及びインターネット回答によるアンケート調査

※インターネットによる調査は令和5年度より実施。

4. 調査期間

①就学前児童調査

令和5年11月13日から12月4日まで

②就学児童(小学校2年生)調査

令和5年11月1日から11月20日まで

5. 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回答率
①就学前児童調査	2,000	1,042	52.1%
②就学児童(小学校2年生)調査	972	639	65.7%

※同調査における平成30年度調査の回収率：①53.7%、②69.9%

6. 回答方法

	有効回収数	紙回答数	インターネット回答数
①就学前児童調査	1,042	563(54%)	479(46%)
②就学児童(小学校2年生)調査	639	385(60%)	254(40%)

7. 集計値や図表の表記について

- ・集計した数値（％）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- ・回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%超えます。
- ・回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。ただし、調査結果には参考値として記載しています。
- ・調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。

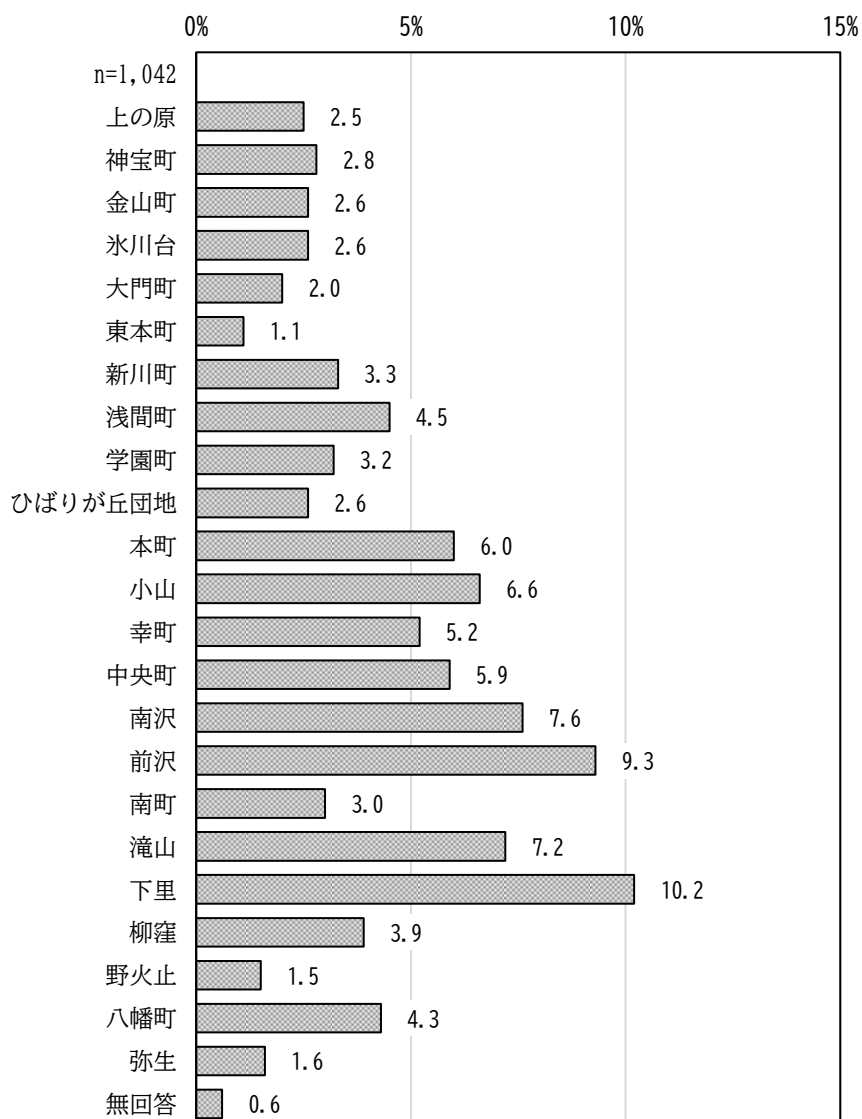
Ⅱ. 就学前児童調査の結果

1. お住まいの地域について

(1) お住まいの地域

問1-1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

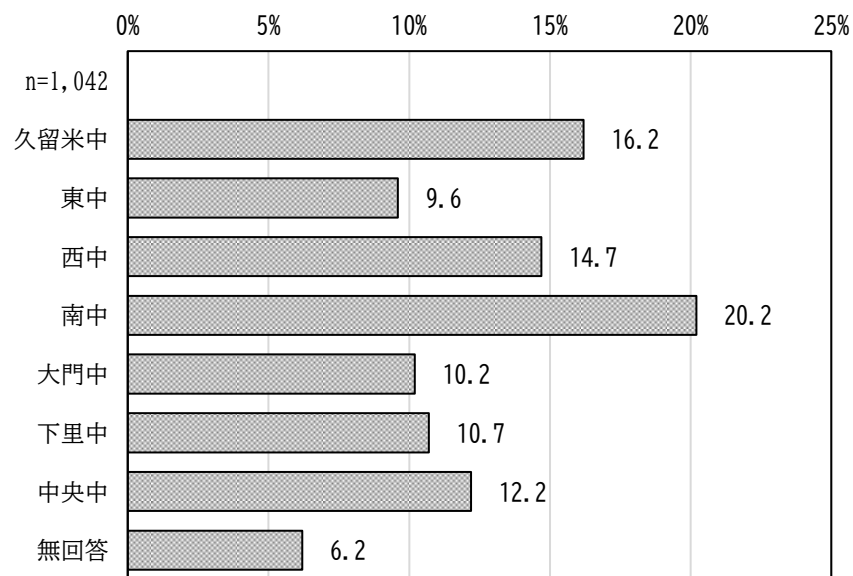
「下里」が10.2%と最も多く、次いで「前沢」が9.3%、「南沢」が7.6%となっている。



(2) 中学校区

問1-3 封筒（宛名ラベルの右端）に記載のあるアルファベットをご記入ください。
（お住まいの地区の中学校区を判定するために使用します）

「南中」が20.2%と最も多く、次いで「久留米中」が16.2%、「西中」が14.7%となっている。



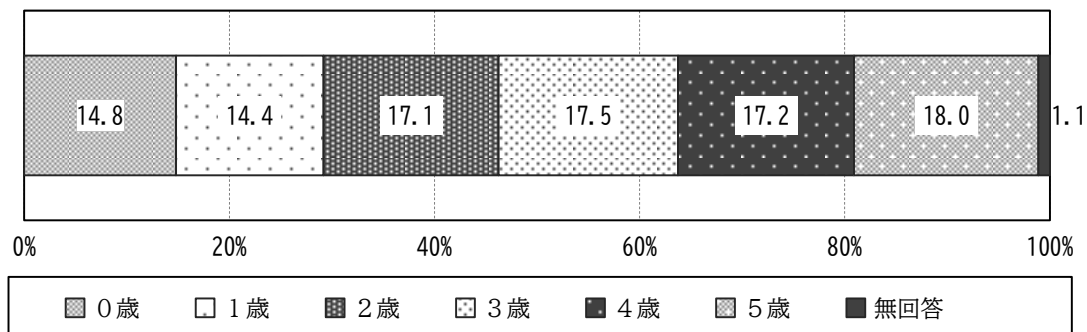
2. ご家族の状況について

(1) 子どもの年齢（学年齢）

問2 宛名のお子さんの生年月、現在の年齢をご記入ください。

「5歳」が18.0%と最も多く、次いで「3歳」が17.5%、「4歳」が17.2%となっている。

n=1,042



(2) きょうだいの数・末子の年齢

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。

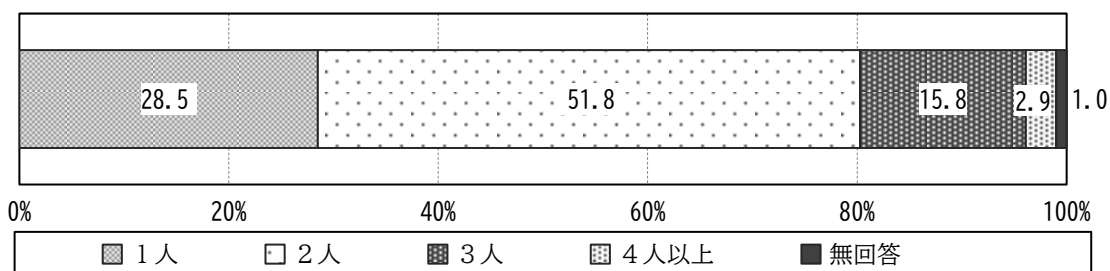
宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。

① きょうだいの数

「2人」が51.8%と最も多く、次いで「1人」が28.5%、「3人」が15.8%となっている。

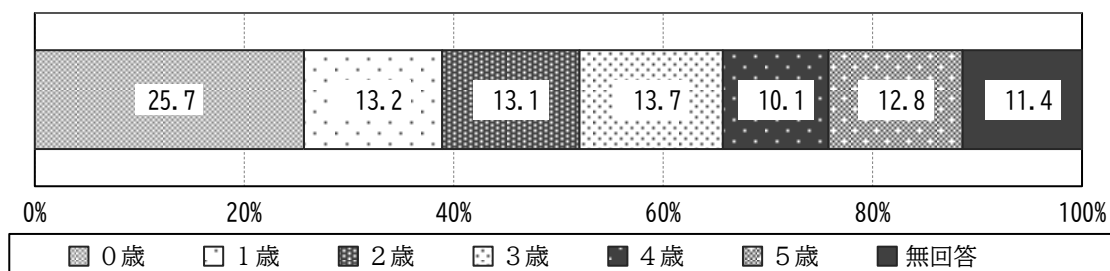
n=1,042



② 末子の学齢

「0歳」が25.7%と最も多く、次いで「3歳」が13.7%、「1歳」が13.2%となっている。

n=735

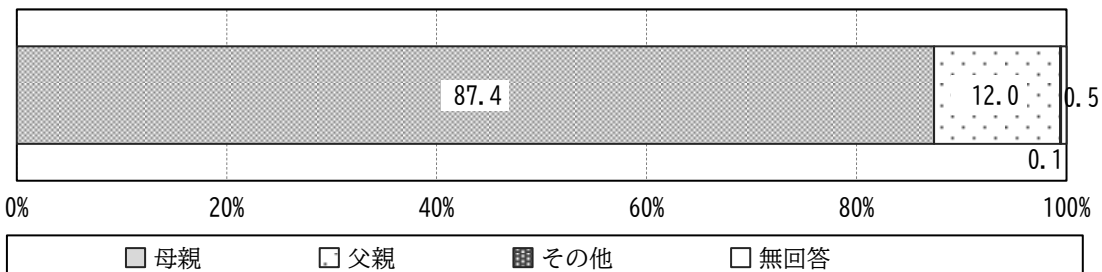


(3) 調査票の回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が87.4%、「父親」が12.0%となっている。

n=1,042

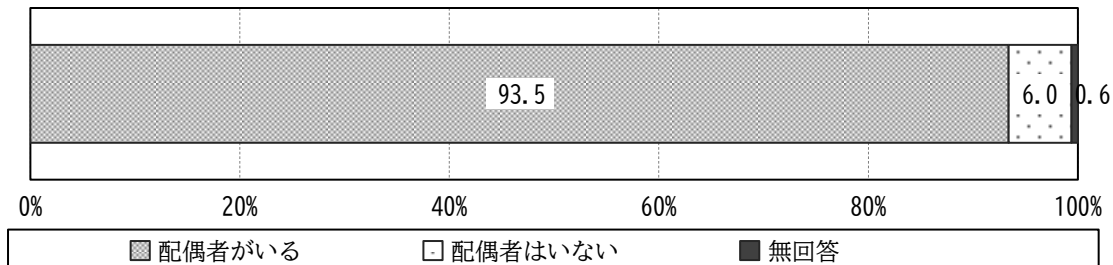


(4) 調査票の回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。
※単身赴任等により配偶者と別居している場合は「1. 配偶者がいる」を選択してください。

「配偶者がいる」が93.5%、「配偶者がいない」が6.0%となっている。

n=1,042

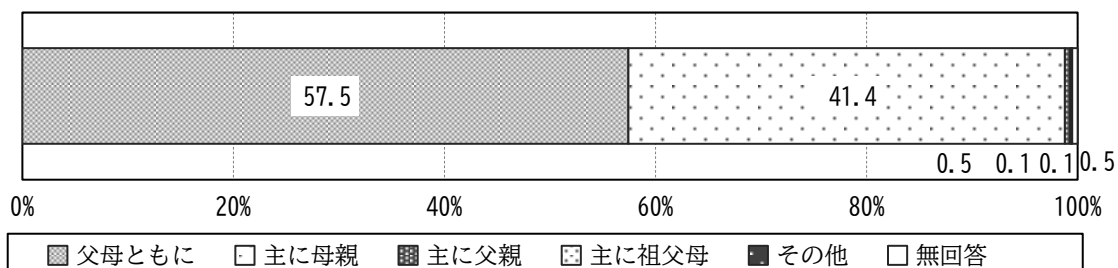


(5) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が57.5%と最も多く、次いで「主に母親」が41.4%、「主に父親」が0.5%となっている。

n=1,042

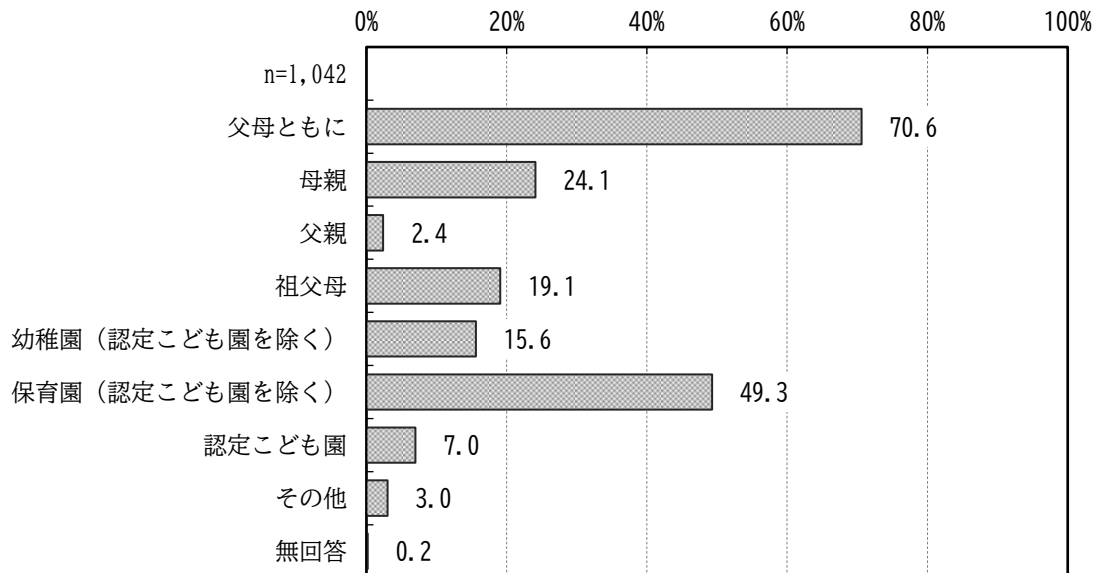


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人や施設

問7 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

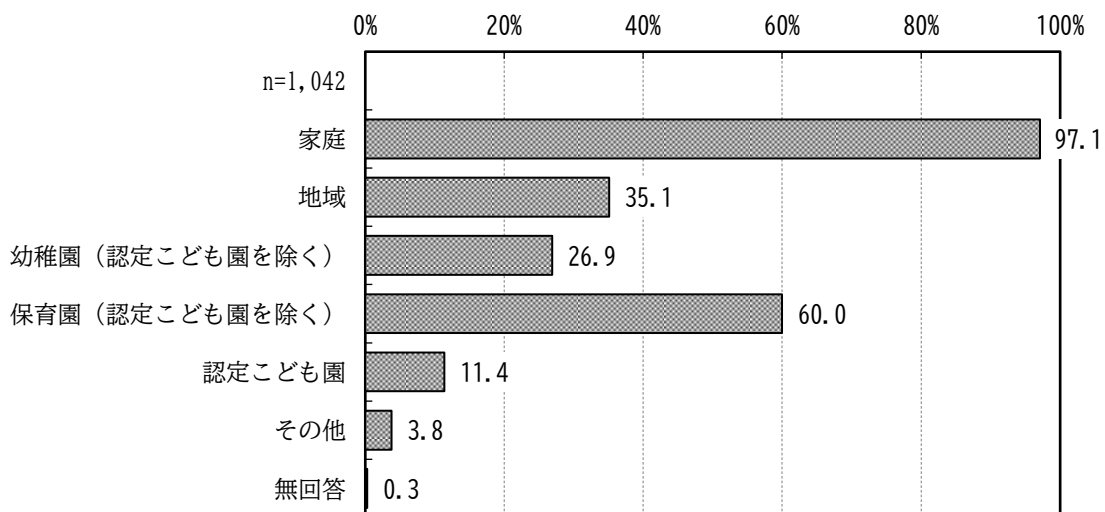
「父母ともに」が70.6%と最も多く、次いで「保育園（認定こども園を除く）」が49.3%、「母親」が24.1%となっている。



(2) 子育てに大きく影響すると思われる環境

問8 宛名のお子さんの子育てに、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

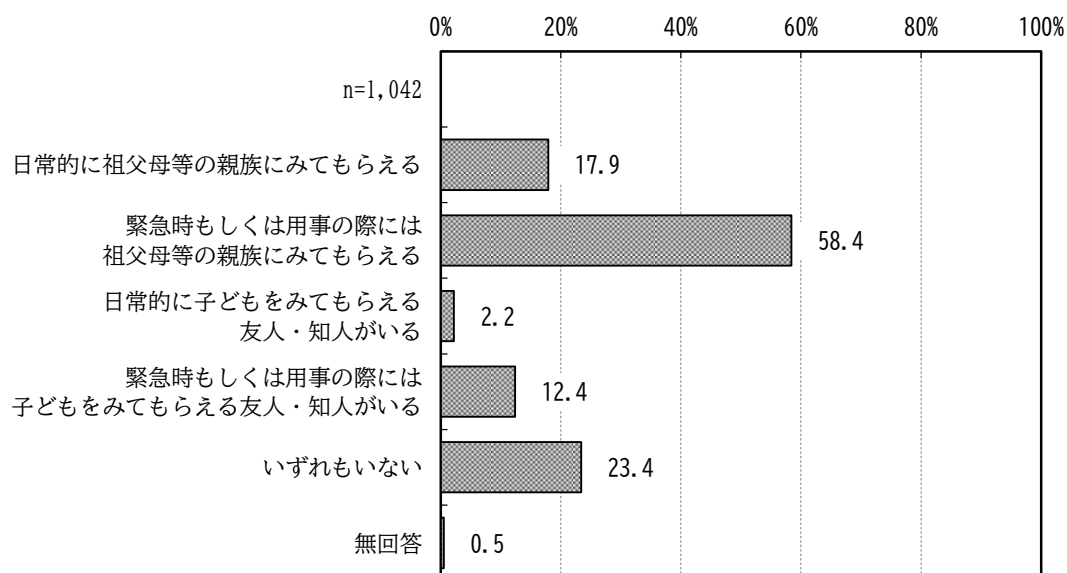
「家庭」が97.1%と最も多く、次いで「保育園（認定こども園を除く）」が60.0%、「地域」が35.1%となっている。



(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 58.4%と最も多く、次いで「いずれもない」が 23.4%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 17.9%となっている。

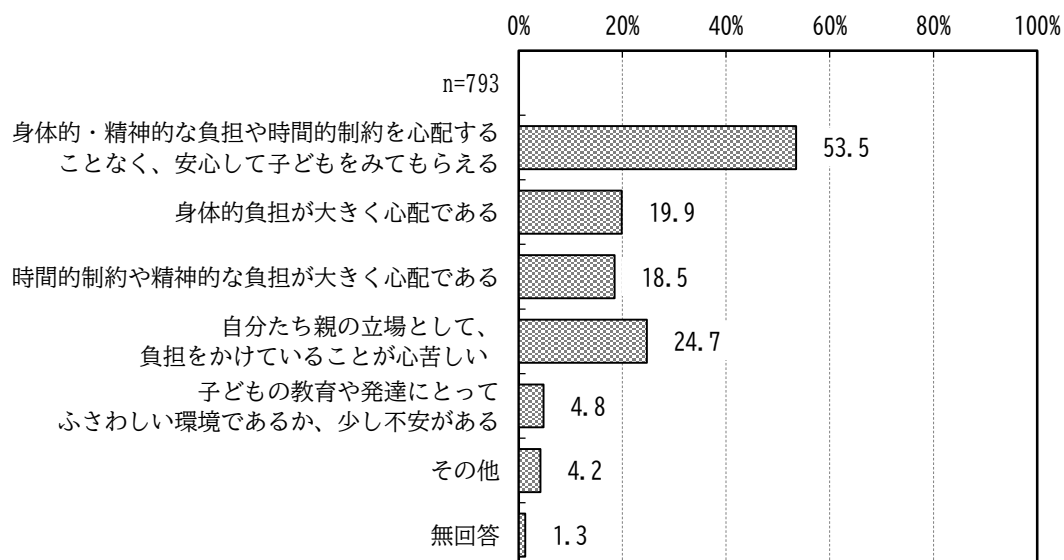


(4) 子どもをみてもらえる親族・知人の負担等

問9-1は、問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」～「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」のいずれかを選択した方が回答。

問9-1 祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

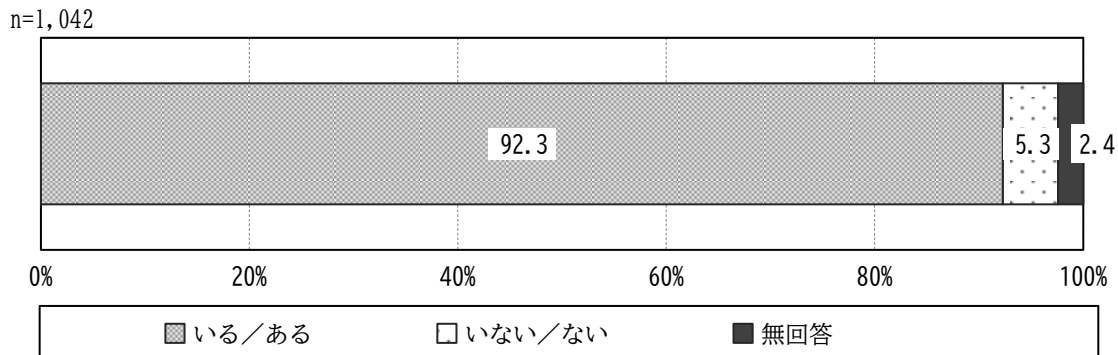
「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 53.5%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 24.7%、「身体的負担が大きく心配である」が 19.9%となっている。



(5) 気軽に相談できる人の有無

問10 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」が92.3%、「いない／ない」が5.3%となっている。

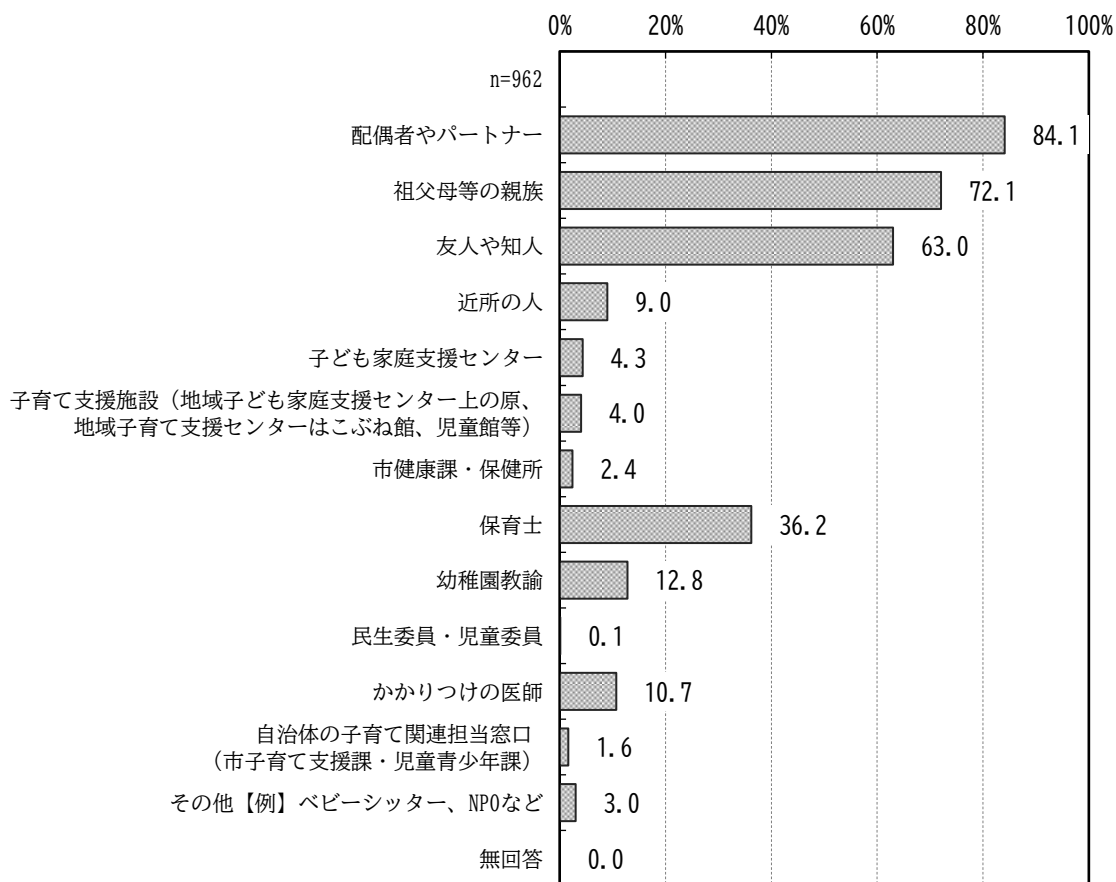


(6) 気軽に相談できる人や機関

問10-1は、問10で「1. いる／ある」を選択した方が回答。

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者やパートナー」が84.1%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が72.1%、「友人や知人」が63.0%となっている。



(7) 子育てをする上で必要な支援

問 11 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

424 名の方から自由意見が寄せられた。一部の意見を掲載する（文意を変えない程度に、表記等を整理しています）。

【子どもの保育や預け先について】

- ・現状も祖母にサポートしてもらっているが、子供を連れて行けない病院に受診に行く際の子守りはとても助かります。
- ・病気の際のサポート、病児保育場所の増加等。今、市である所は遠く、使うことができない。
- ・0歳児でも一時預りができる施設が増えてくれると嬉しいです。気持ちが楽になりそうです。
- ・（親が祝日仕事のため）祝日も気軽に預けられるサポートがあれば、ありがたいです。
- ・緊急の時、急用の際に見てもらえる環境ではないので（実家が遠い）、家族にお願いできるくらいの気軽さで依頼できると嬉しい。（有料なのは当然として）
- ・養育者が体調不良の時に子どもの保育を手助けしてくれるサービスがあればいいと思います。あと、ファミサポやシッターサービスの利用料の補助が少しでもあれば助かります。

【相談先・相談方法について】

- ・子供の発達状況や個性について気軽に相談できる会があると便利だと考える。
- ・日常的に軽い会話で気にかけてほしい。
- ・休日でも開いている相談窓口があるといいなと思うことがあります。

【経済的支援について】

- ・明石市みたいな制度（おむつ無料化など）
- ・サービスの補助金が出てほしい。（東京都ベビーシッター、一時預かり）保育園の一時預かりを、いつでも気軽に使えるようにしてほしい。

【同世代の子どもや保護者の交流の場について】

- ・東久留米で助産師さんが行ってきている初産の人向けの集会にとっても助けられました。しかし第二子の時はないので、そのような会があってもいいと思います。
- ・ただ話を聞いてもらえるだけで良いときもあるので、気軽にお茶しながら話しを出来るって感じの気軽なイベントなど。

【子育て家庭への支援について】

- ・母追い（母親に抱っこして欲しがる）があるので、食事の準備が困難。夫も手伝ってくれるが、料理をして作り置きをしてくれるサービスがあると助かります。
- ・子どもへの理解。あたたかく見守ってくださると嬉しい。

4. 保護者の働き方について

(1) 保護者の就労状況

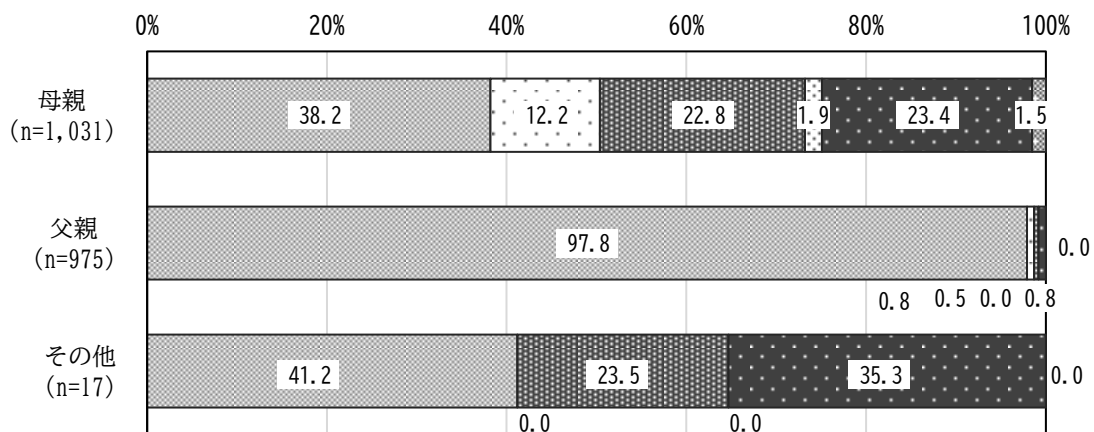
① 就労状況

問 12(1) 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方(自営業、家族従事者含む)を
うかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親は、「フルタイムで就労している」が38.2%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.4%、「パート・アルバイト等で就労している」が22.8%となっている。

父親は、「フルタイムで就労している」が97.8%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.8%となっている。

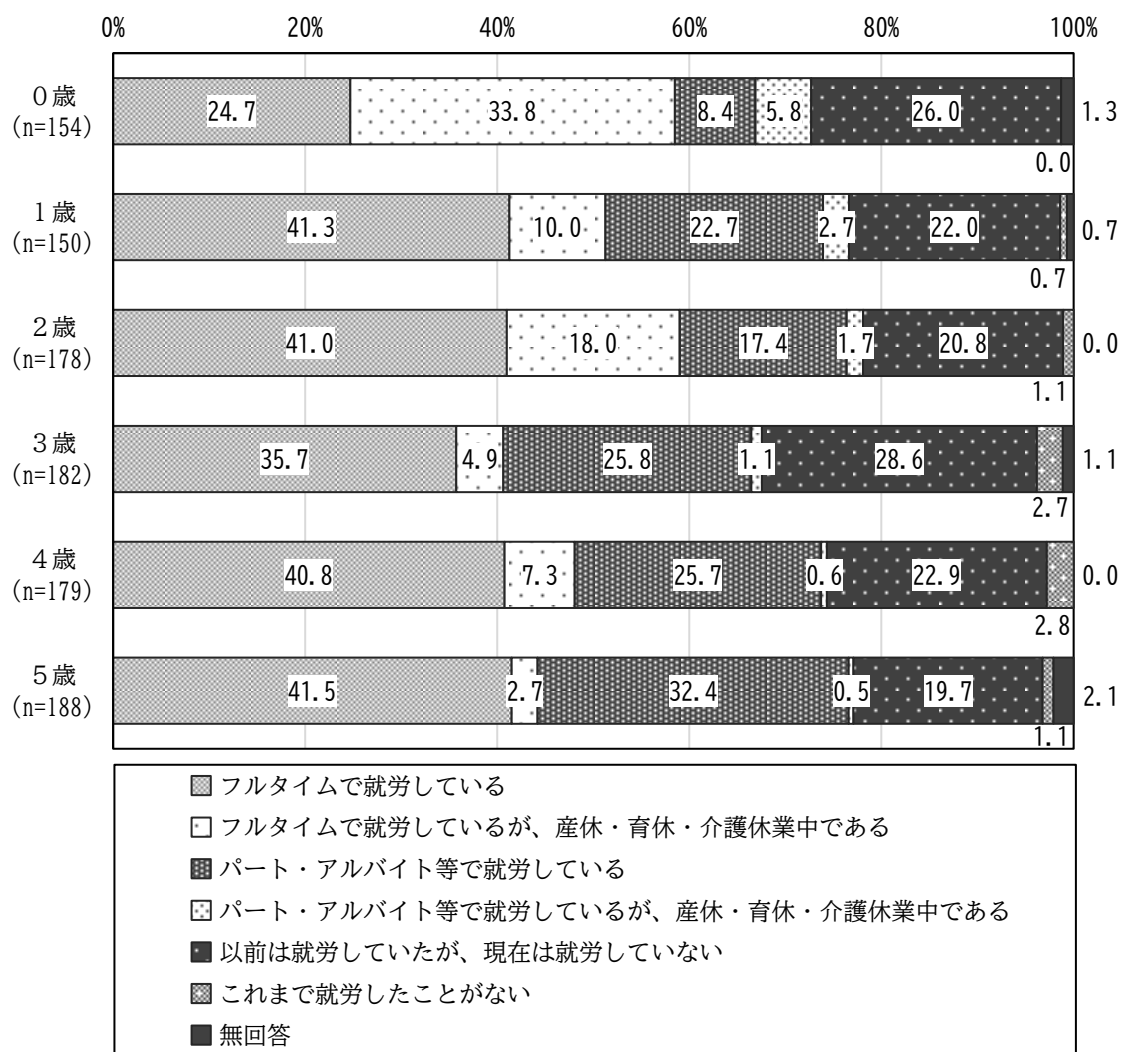
その他の保護者は、「フルタイムで就労している」が41.2%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が35.3%、「パート・アルバイト等で就労している」が23.5%となっている。



- フルタイムで就労している
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労している
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

【母親の就労状況－子どもの年齢（学年齢）別】

母親の就労状況を子どもの年齢（学年齢）別にみると、0歳～1歳では産休・育休・介護休業中を含めた「フルタイム」の割合が5割を超えて多くなっている。年齢が上がるにつれて「フルタイム」の割合が少なくなる傾向がみられるが、5歳でも4割以上が「フルタイム」となっている。



② 就労日数・就労時間

問12(2)と問12(3)は、問12(1)で「1.フルタイムで就労している」から「4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選択した方が回答。

問12(2) 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

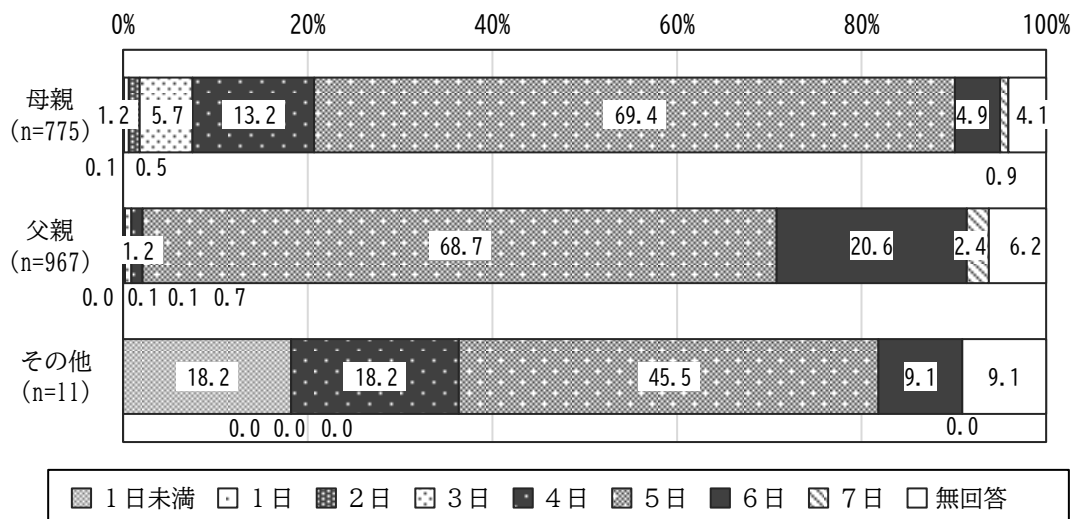
【週当たりの就労日数】

母親は、「5日」が69.4%と最も多く、次いで「4日」が13.2%、「3日」が5.7%となっている。

父親は、「5日」が68.7%と最も多く、次いで「6日」が20.6%、「7日」が2.4%となっている。

その他の保護者は、「5日」が45.5%と最も多く、次いで「1日未満」と「4日」が18.2%となっている。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



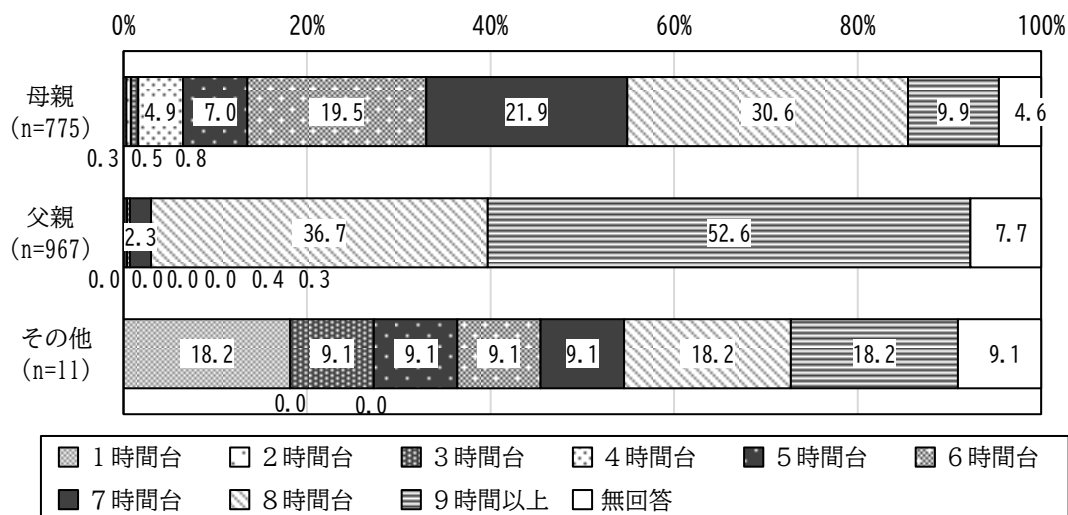
【1日当たりの就労時間（残業時間も含む）】

母親は、「8時間台」が30.6%と最も多く、次いで「7時間台」が21.9%、「6時間台」が19.5%となっている。

父親は、「9時間以上」が52.6%と最も多く、次いで「8時間台」が36.7%、「7時間台」が2.3%となっている。

その他の保護者は、「1時間台」と「8時間台」と「9時間以上」が18.2%と最も多く、次いで「3時間台」「5時間台」「6時間台」「7時間台」が9.1%となっている。

※ “その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



③ 家を出る時間と帰宅時間

問 12 (3) 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

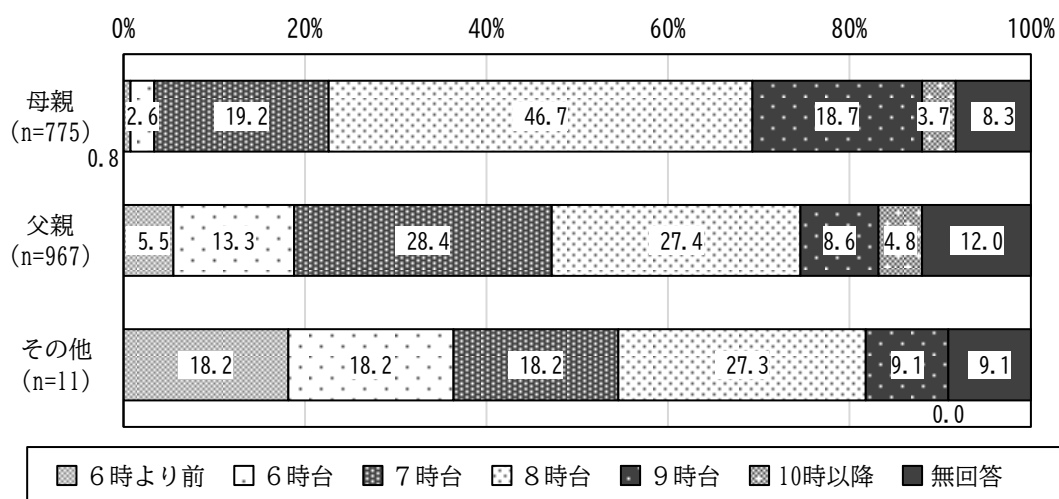
【家を出る時間】

母親は、「8時台」が46.7%と最も多く、次いで「7時台」が19.2%、「9時台」が18.7%となっている。

父親は、「7時台」が28.4%と最も多く、次いで「8時台」が27.4%、「6時台」が13.3%となっている。

その他の保護者は、「8時台」が27.3%と最も多く、次いで「6時より前」「6時台」「7時台」が18.2%となっている。

※ “その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



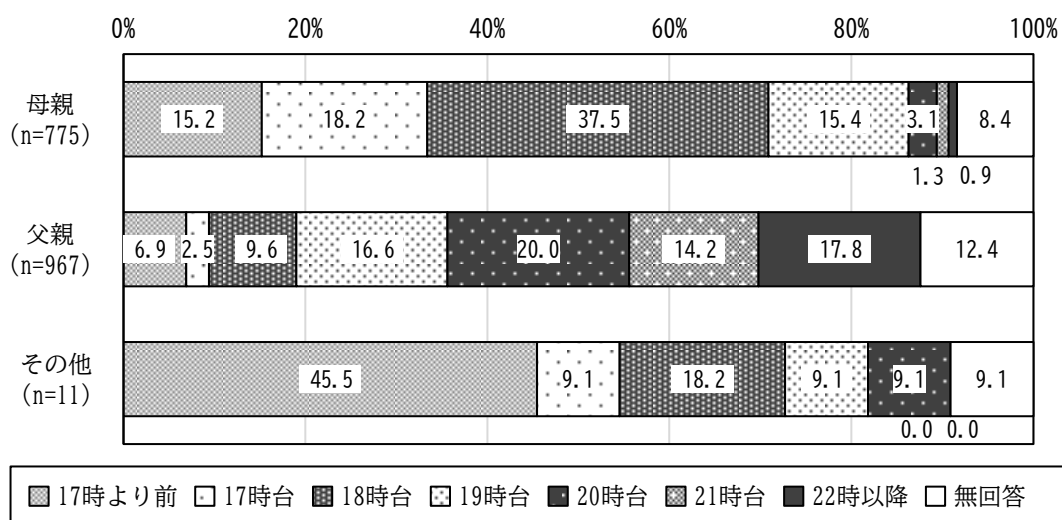
【帰宅時間】

母親は、「18時台」が37.5%と最も多く、次いで「17時台」が18.2%、「19時台」が15.4%となっている。

父親は、「20時台」が20.0%と最も多く、次いで「22時以降」が17.8%、「19時台」が16.6%となっている。

その他の保護者は、「17時より前」が45.5%と最も多く、次いで「18時台」が18.2%、「17時台」「19時台」「20時台」が9.1%となっている。

※ “その他” の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(2) フルタイムへの転換希望

問13は、問12(1)で「3.パート・アルバイト等で就労している」または「4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選択した方が回答。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

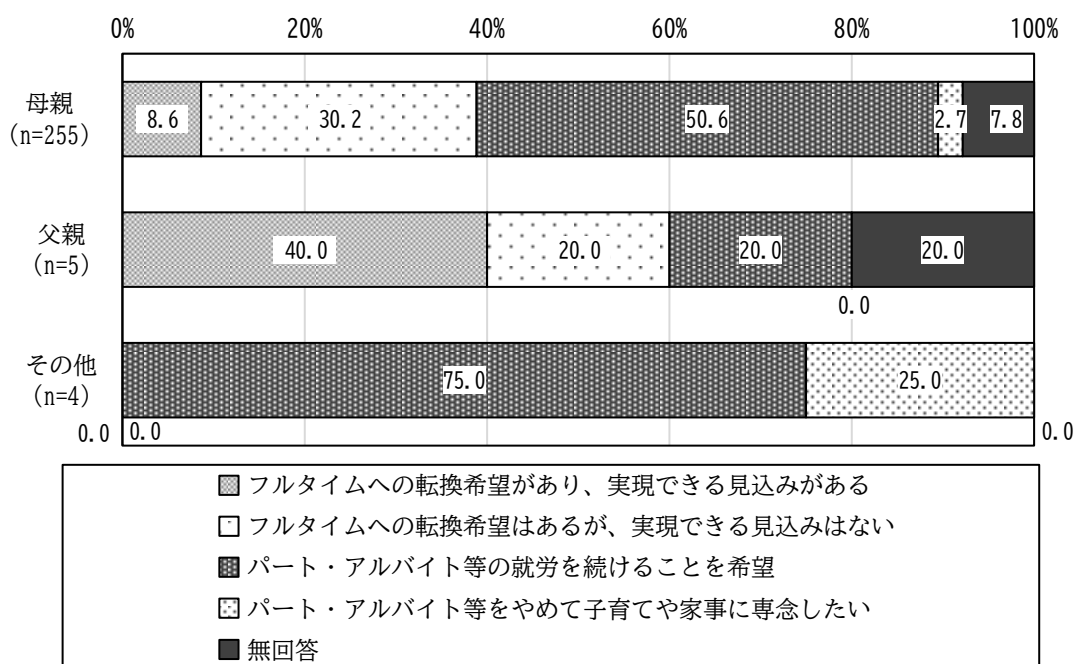
母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が50.6%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.6%となっている。

父親は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が40.0%と最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が20%となっている。

その他の保護者は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が75.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が25.0%となっている。

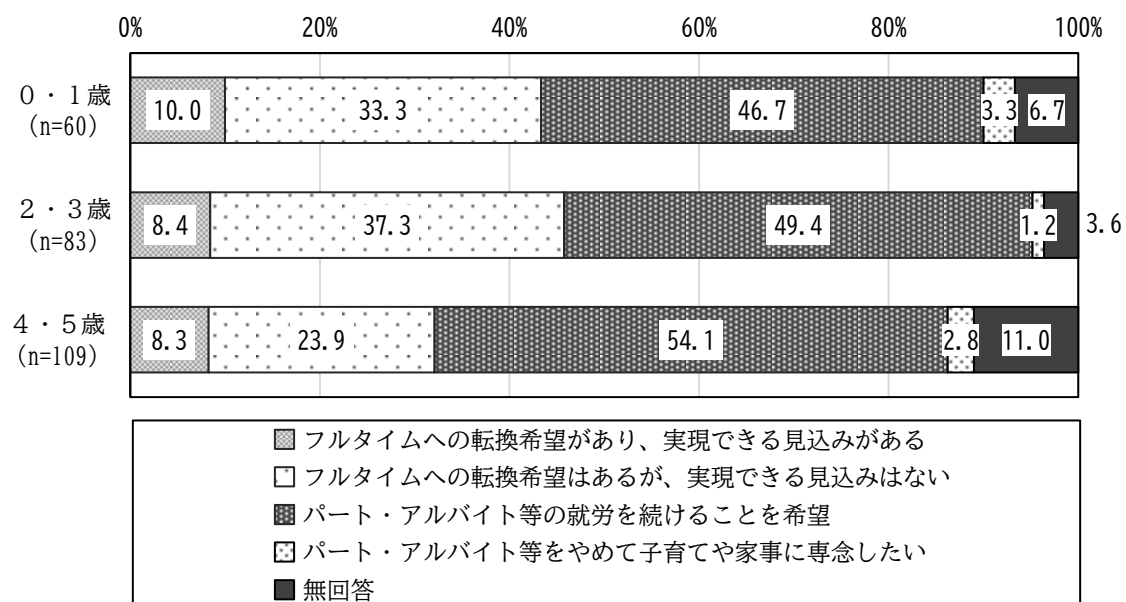
※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



【母親のフルタイムへの転換希望－子どもの年齢（学年齢）別】

母親のフルタイムへの転換希望を年齢（学年齢）別にみると、実現見込みの有無にかかわらず「転換希望あり」は0・1歳、2・3歳では4割以上となっているが、4・5歳になると3割程度になっている。また、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は4・5歳で最も多く、54.1%となっている。



(3) 就労希望

問 14 は、問 12(1)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」のいずれかを選択した方が回答。

問 14 就労したいという希望はありますか。
 当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

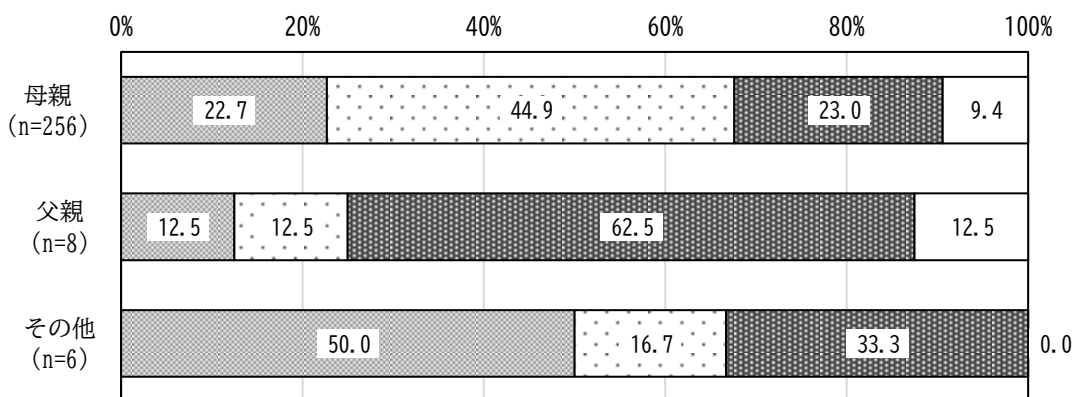
母親は、「1年より先、一番下の子どもが一定以上の年齢になったところに就労したい」が44.9%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が22.7%となっている。

父親は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が62.5%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」「1年より先、一番下の子どもが一定以上の年齢になったところに就労したい」が12.5%となっている。

その他の保護者は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が50.0%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が33.3%、「1年より先、一番下の子どもが一定以上の年齢になったところに就労したい」が16.7%となっている。

※ “父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

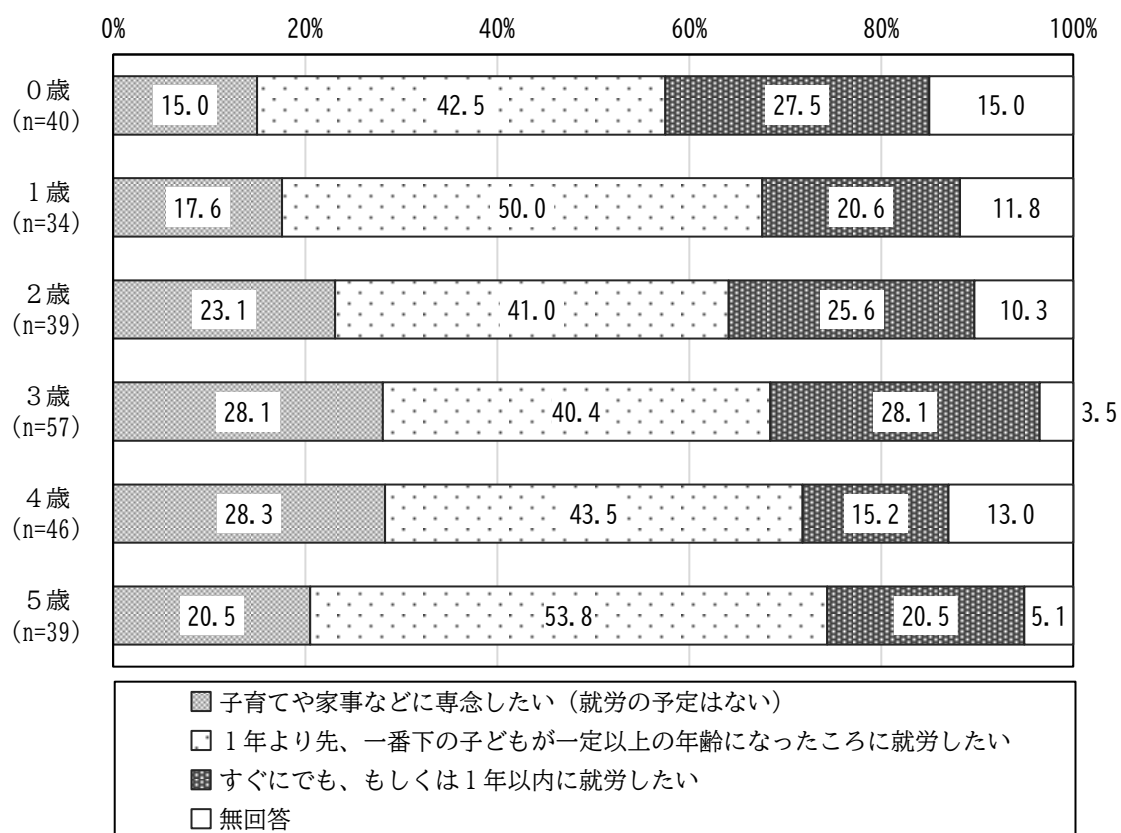
※ “その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子どもが一定以上の年齢になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

【母親の就労希望－子どもの年齢（学年齢）別】

母親の就労希望を年齢（学年齢）別にみると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は、年齢が上がるにつれて多くなる傾向がみられる。



① 一番下の子どもが何歳になった頃に仕事に就きたいか

「①一番下の子どもが何歳になった頃に仕事に就きたいか」は、問14で「2.1年より先、一番下の子どもが一定以上の年齢になったところに就労したい」を選択した方が回答。

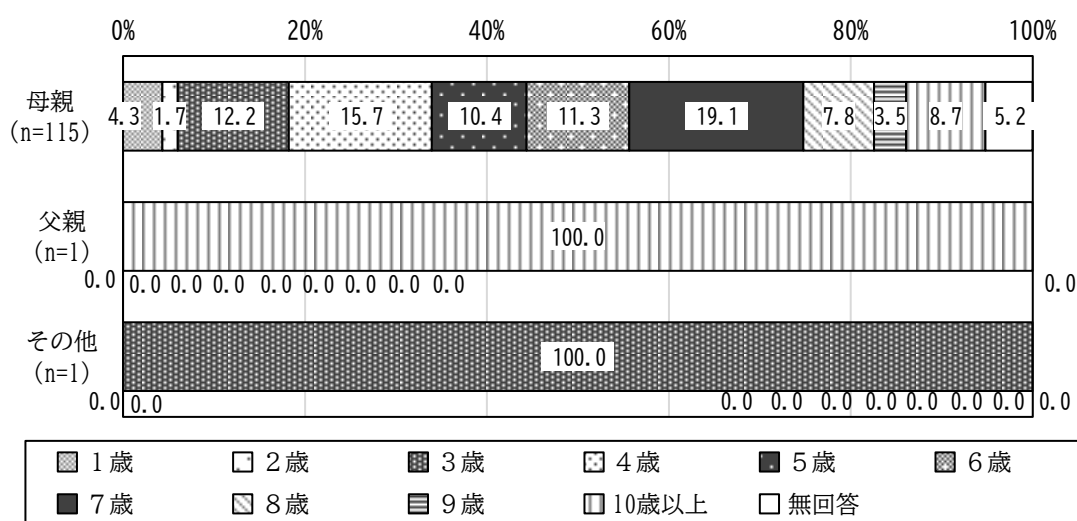
母親は、「7歳」が19.1%と最も多く、次いで「4歳」が15.7%、「3歳」が12.2%となっている。

父親は、「10歳以上」が100.0%となっている。

その他の保護者は、「3歳」が100.0%となっている。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



② 希望の就労形態

「②希望の就労形態」は、問14で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した方が回答。

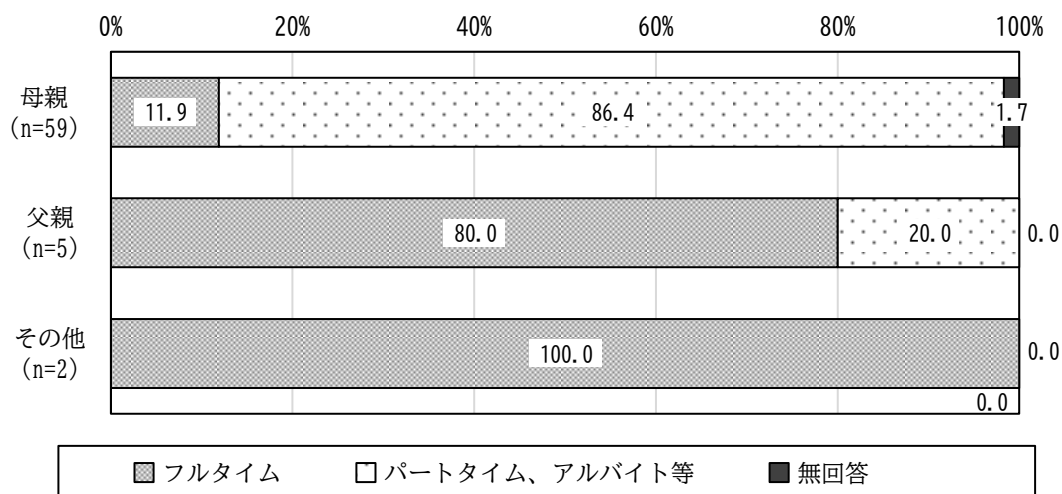
母親は、「フルタイム」が11.9%、「パートタイム、アルバイト等」が86.4%となっている。

父親は、「フルタイム」が80.0%と最も多く、次いで「パートタイム、アルバイト等」が20.0%となっている。

その他の保護者は、「フルタイム」が100.0%となっている。

※ “父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

※ “その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



③ 希望する週当たりの就労日数

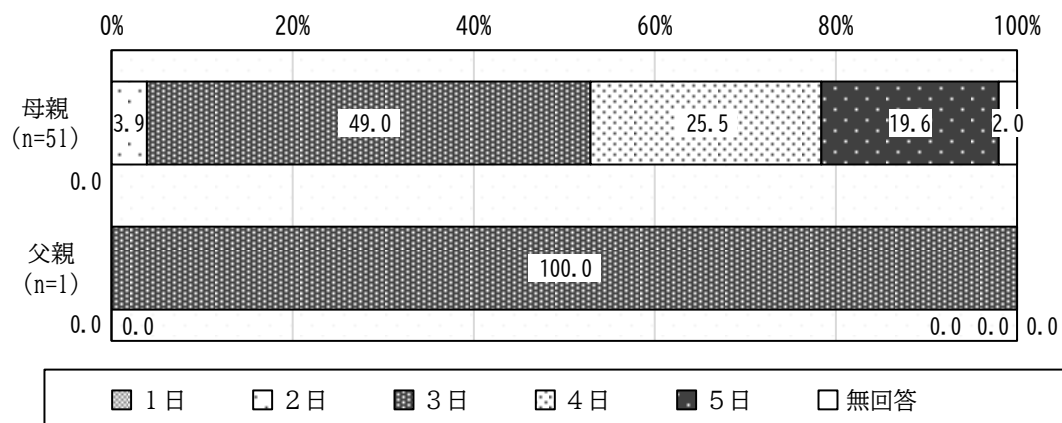
「③希望する週当たりの就労日数」は、「②希望の就労形態」で「2.パート・アルバイト等」を選択した方が回答。

母親は、「3日」が49.0%と最も多く、次いで「4日」が25.5%、「5日」が19.6%となっている。

父親は、「3日」が100.0%となっている。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



④ 希望する1日当たりの就労時間

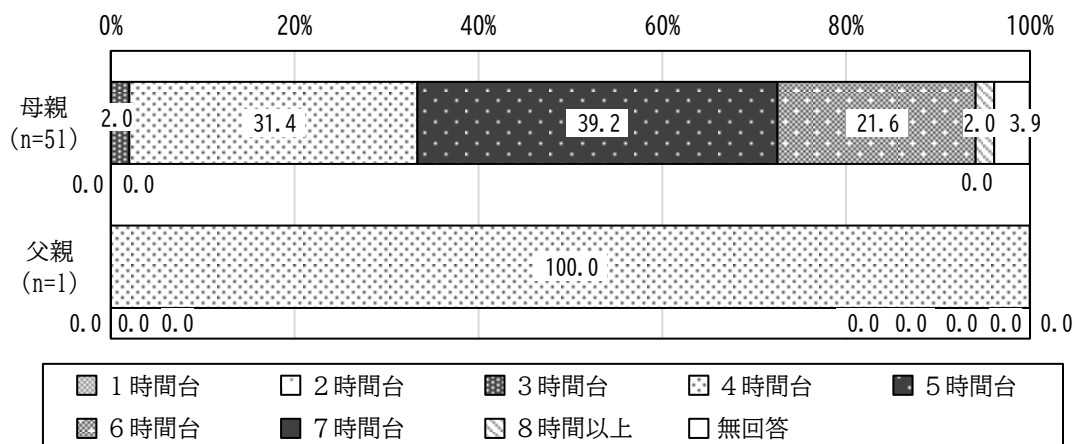
「④希望する1日当たりの就労時間」は、「②希望の就労形態」で「2.パート・アルバイト等」を選択した方が回答。

母親は、「5時間台」が39.2%と最も多く、次いで「4時間台」が31.4%、「6時間台」が21.6%となっている。

父親は、「4時間台」が100.0%となっている。

※“その他”は、回答対象者がいませんでした。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



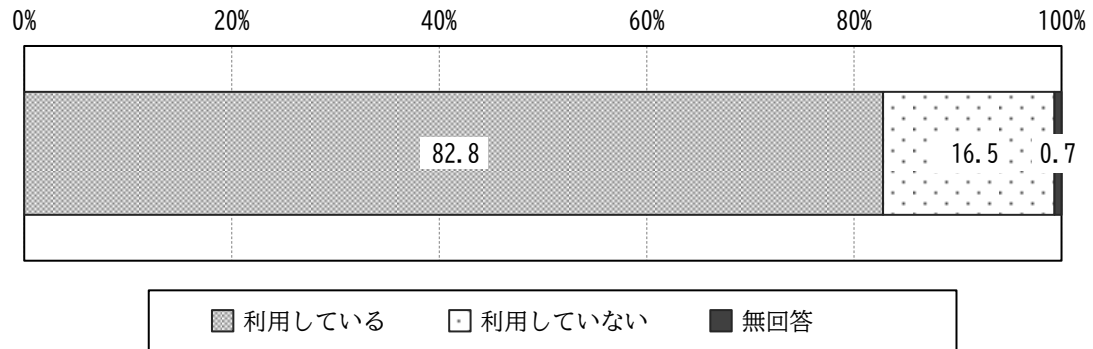
5. 平日（月～金）の定期的な幼稚園や保育園などの利用状況について

（1）利用の有無

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

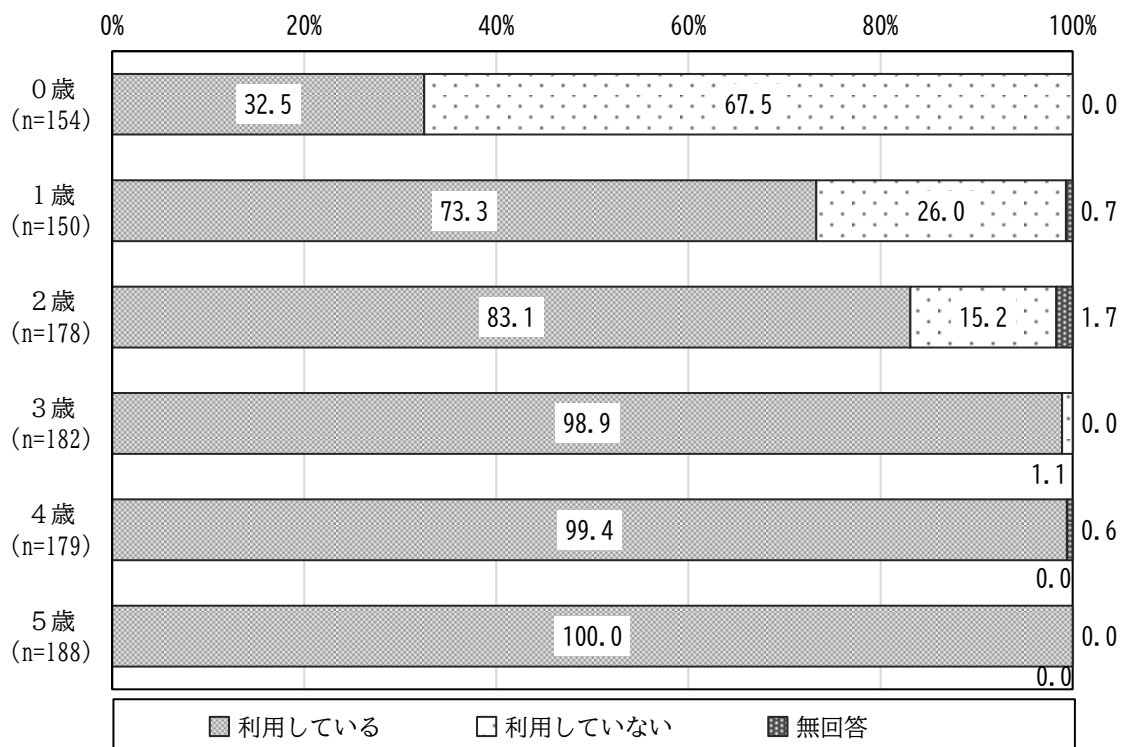
「利用している」が82.8%、「利用していない」が16.5%となっている。

n=1,042



【利用の有無－子どもの年齢（学年齢）別】

「利用している」は年齢（学年齢）が上がるほど多くなっている。0歳では32.5%、1歳では73.3%、2歳では83.1%、3歳以上は、ほぼすべての人が「利用している」と回答している。



(2) 現在の利用状況と今後の利用希望

問 15-1 から問 15-3 は、問 15 で「1. 利用している」を選択した方が回答。

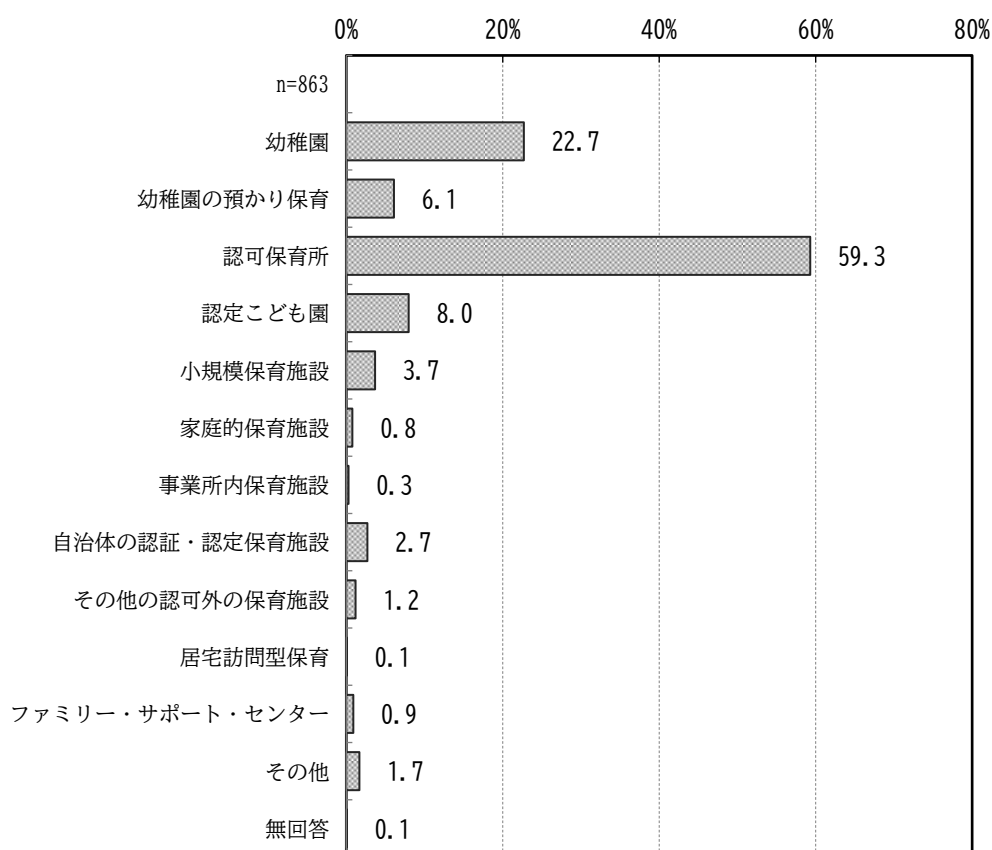
問 15-1 宛名のお子さんは、平日（月～金）、幼稚園や保育園などを利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、平日(月～金)、幼稚園や保育園などを定期的にどのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1 週当たり何日、1 日当たり何時間(何時から何時まで)かを、具体的な数字でご記入
ください。時間は、必ず「18」時のように24時間制でご記入ください。

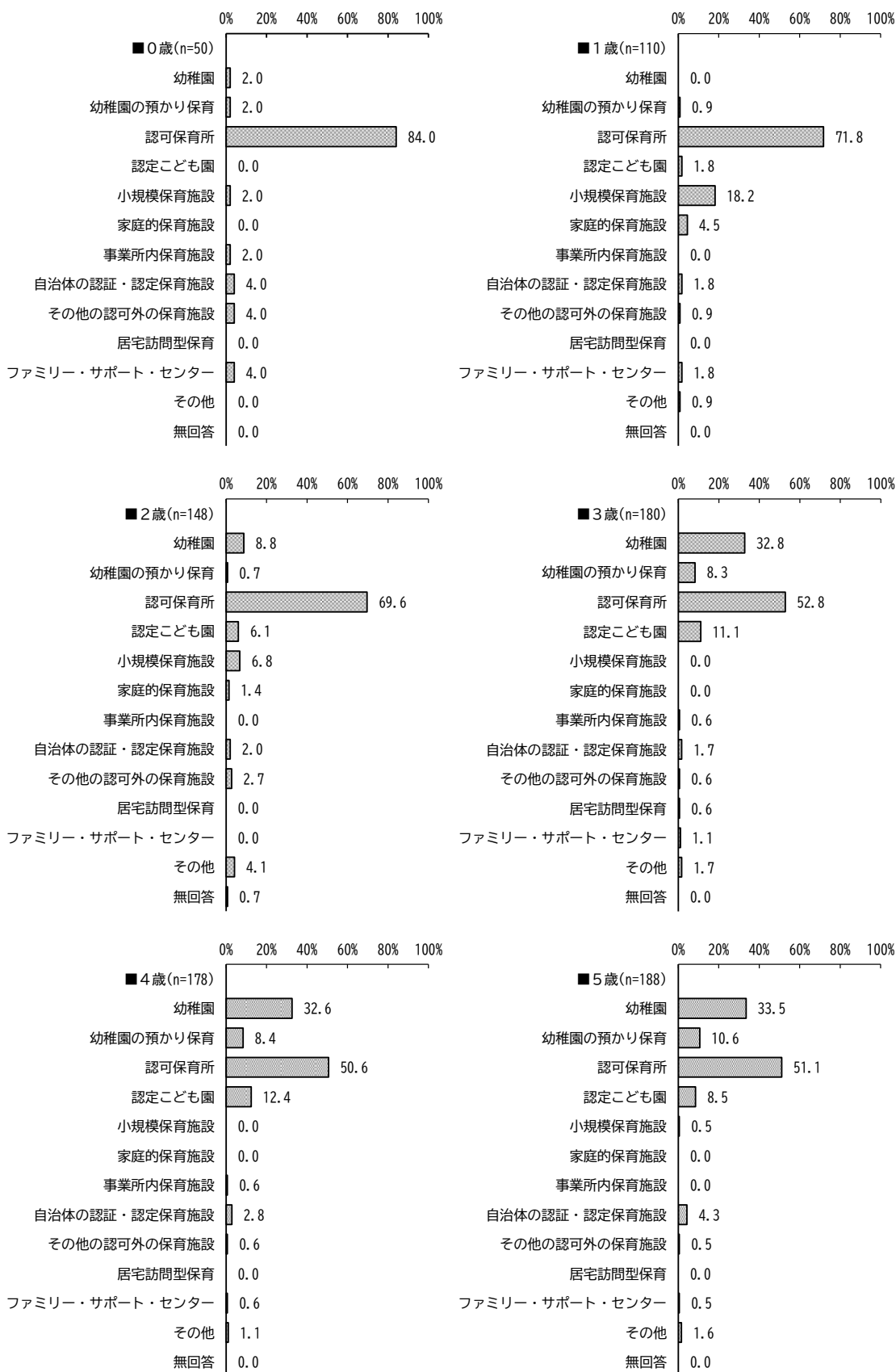
① 現在利用している事業

「認可保育所」が 59.3%と最も多く、次いで「幼稚園」が 22.7%、「認定こども園」が 8.0%となっている。



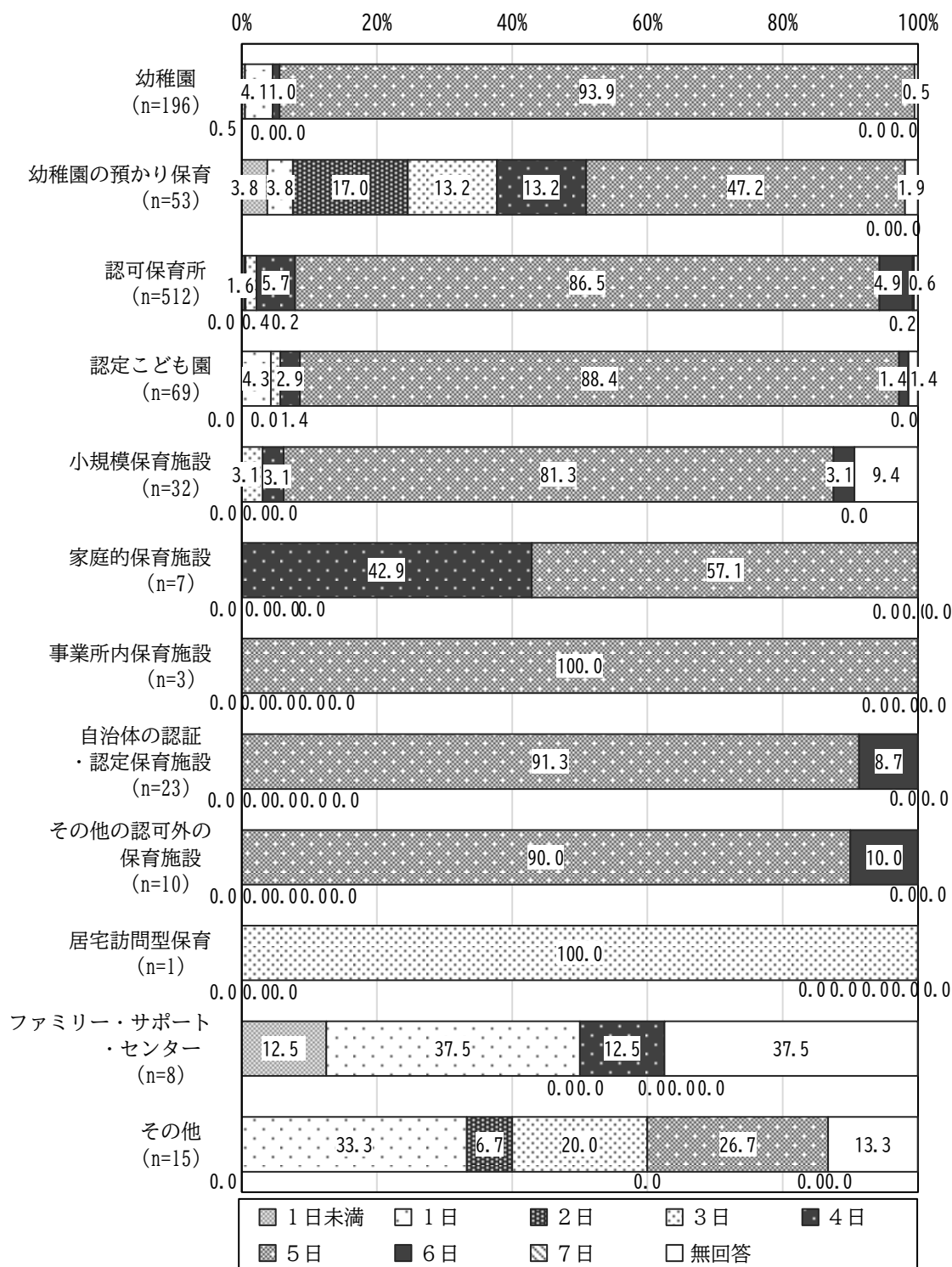
【現在利用している事業－子どもの年齢（学年齢）別】

現在利用している事業を年齢（学年齢）別にみると、0歳～3歳は、認可保育所が特に多くなっています。3歳～5歳では、認可保育所に次いで幼稚園が多くなっている。



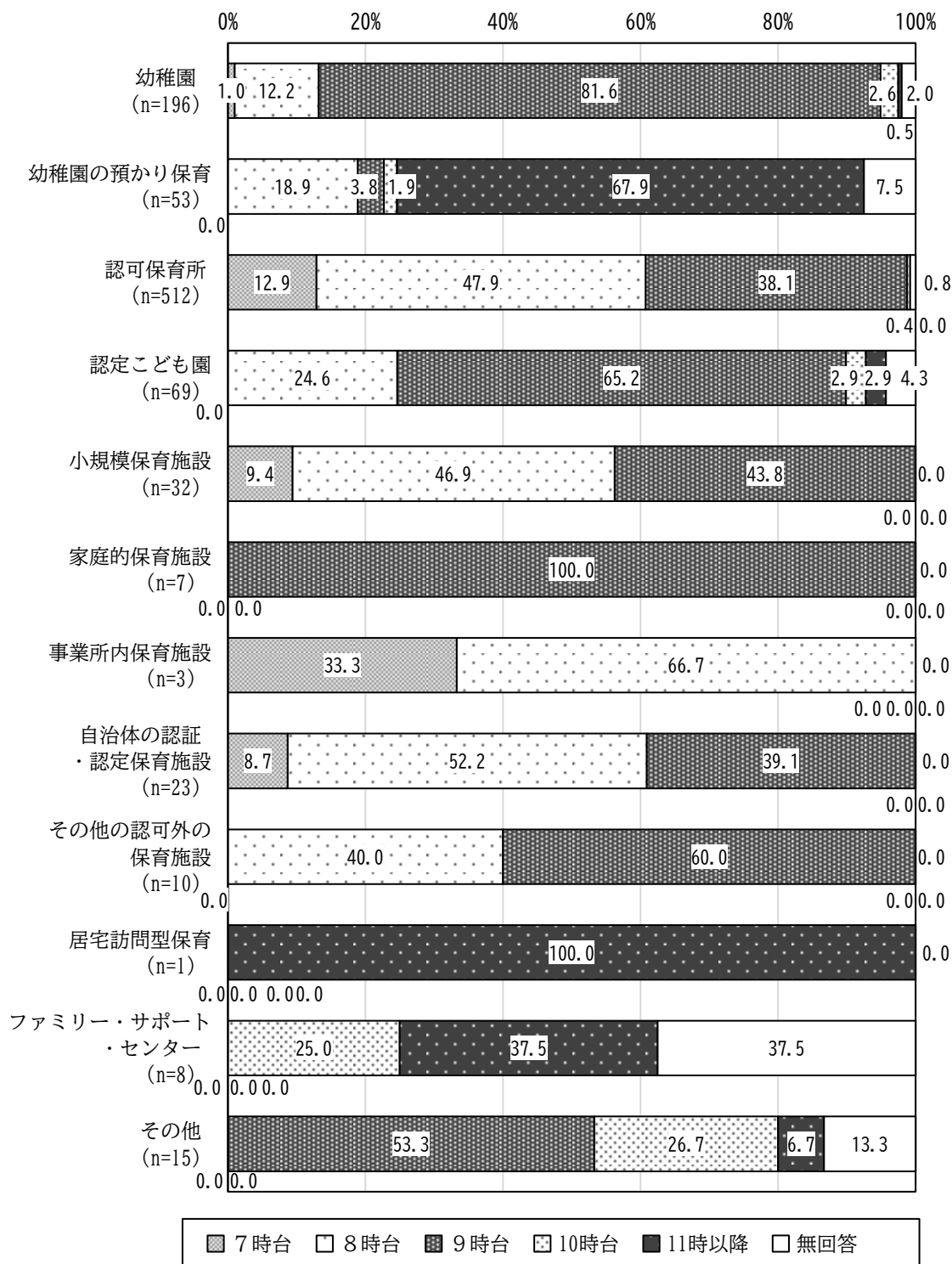
② 現在の利用状況：1週当たりの利用日数

幼稚園は、「5日」が93.9%と最も多く、次いで「1日」が4.1%、「4日」が1.0%となっている。認可保育所は、「5日」が86.5%と最も多く、次いで「4日」が5.7%、「6日」が4.9%となっている。認定こども園は、「5日」が88.4%と最も多く、次いで「1日」が4.3%、「4日」が2.9%となっている。



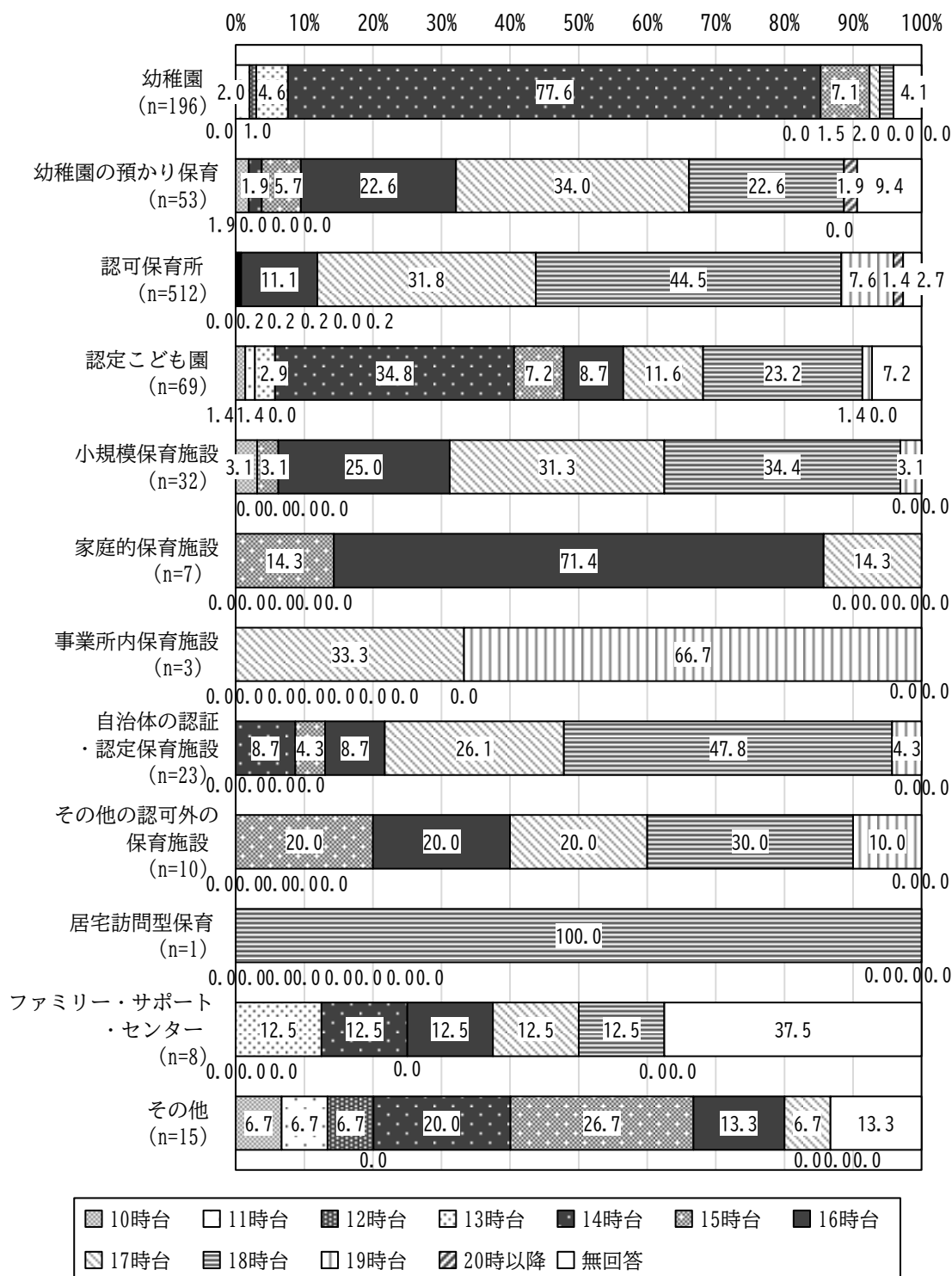
② 現在の利用状況：1日当たりの利用時間（開始時間）

幼稚園は「9時台」が81.6%と最も多く、次いで「8時台」が12.2%、「10時台」が2.6%となっている。認可保育所は、「8時台」が47.9%と最も多く、次いで「9時台」が38.1%、「7時台」が12.9%となっている。認定こども園は、「9時台」が65.2%と最も多く、次いで「7時台」が24.6%、「10時台」「11時以降」が2.9%となっている。



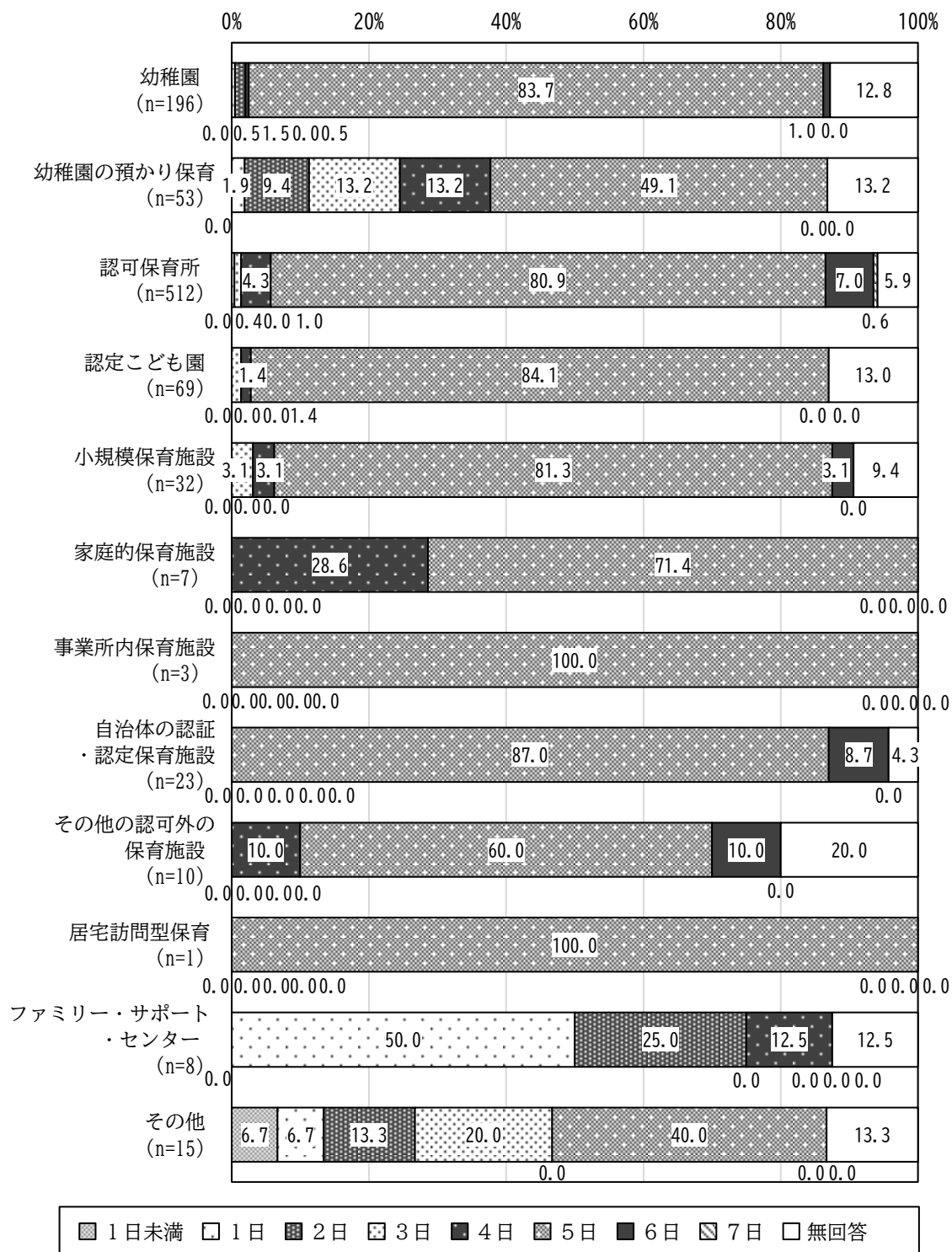
② 現在の利用状況：1日当たりの利用時間（終了時間）

幼稚園は、「14 時台」が 77.6%と最も多く、次いで「15 時台」が 7.1%、「13 時台」が 4.6%となっている。認可保育所は、「18 時台」が 44.5%と最も多く、次いで「17 時台」が 31.8%、「16 時台」が 11.1%となっている。認定こども園は、「14 時台」が 34.8%と最も多く、次いで「18 時台」が 23.2%、「17 時台」が 11.6%となっている。



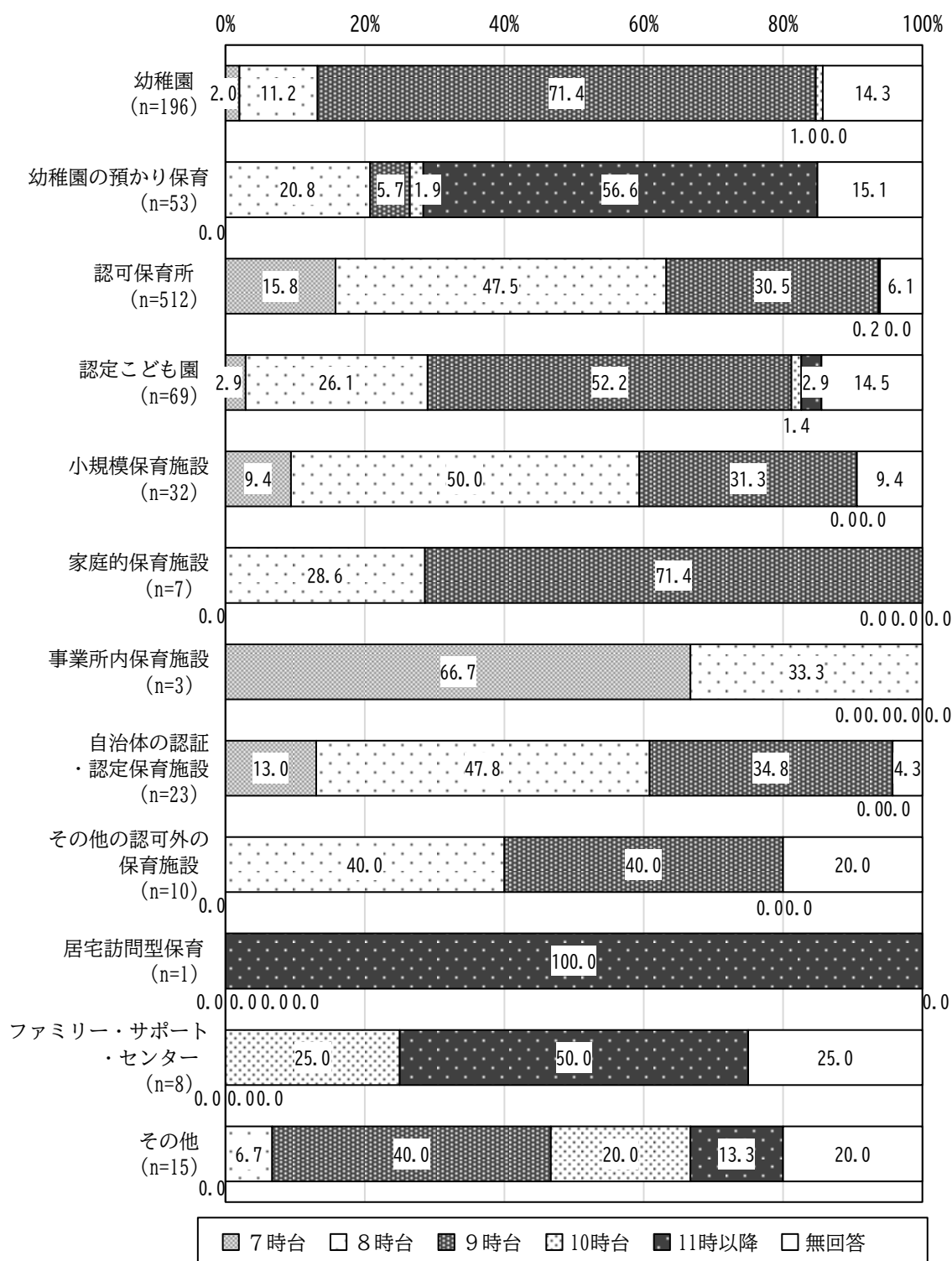
③ 今後の利用希望：1週当たりの利用日数

幼稚園は、「5日」が83.7%と最も多く、次いで「2日」が1.5%、「6日」が1.0%となっている。認可保育所は、「5日」が80.9%と最も多く、次いで「6日」が7.0%、「4日」4.3%となっている。認定こども園は、「5日」が84.1%と最も多く、次いで「3日」「4日」が1.4%となっている。



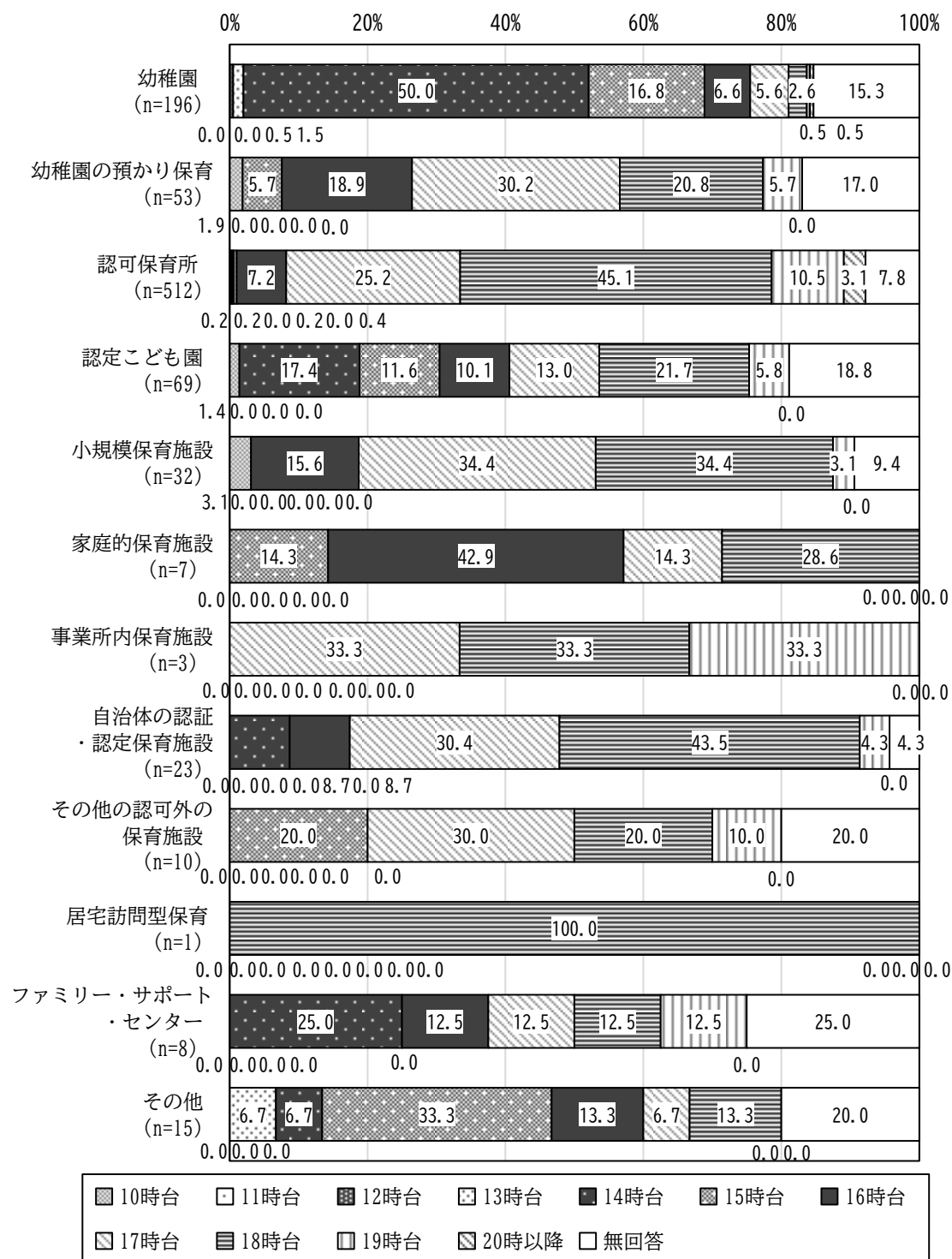
③ 今後の利用希望：1日当たりの利用時間（開始時間）

幼稚園は、「9時台」が71.4%と最も多く、次いで「8時台」が11.2%、「7時台」が2.0%となっている。認可保育所は、「8時台」が47.5%と最も多く、次いで「9時台」が30.5%、「7時台」が15.8%となっている。認定こども園は、「9時台」が52.2%と最も多く、次いで「8時台」が26.1%、「7時台」「11時以降」が2.9%となっている。



③ 今後の利用希望：1日当たりの利用時間（終了時間）

幼稚園は、「14時台」が50.0%と最も多く、次いで「15時台」が16.8%、「16時台」が6.6%となっている。認可保育所は、「18時台」が45.1%と最も多く、次いで「17時台」が25.2%、「19時台」が10.5%となっている。認定こども園は、「18時台」が21.7%と最も多く、次いで「14時台」が17.4%、「16時台」が10.1%となっている。

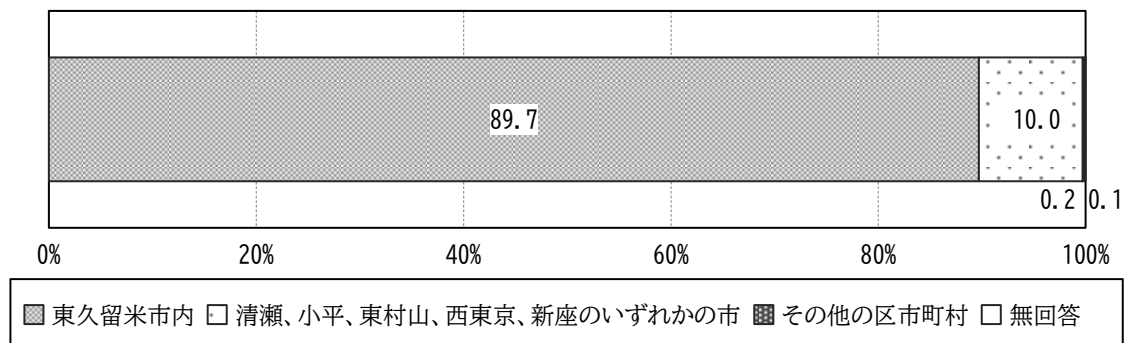


(3) 利用場所

問 15-2 現在、上記のような幼稚園や保育園などの利用場所についてうかがいます。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「東久留米市内」が89.7%と最も多く、次いで「清瀬、小平、東村山、西東京、新座のいずれかの市」が10.0%、「その他の区市町村」が0.2%となっている。

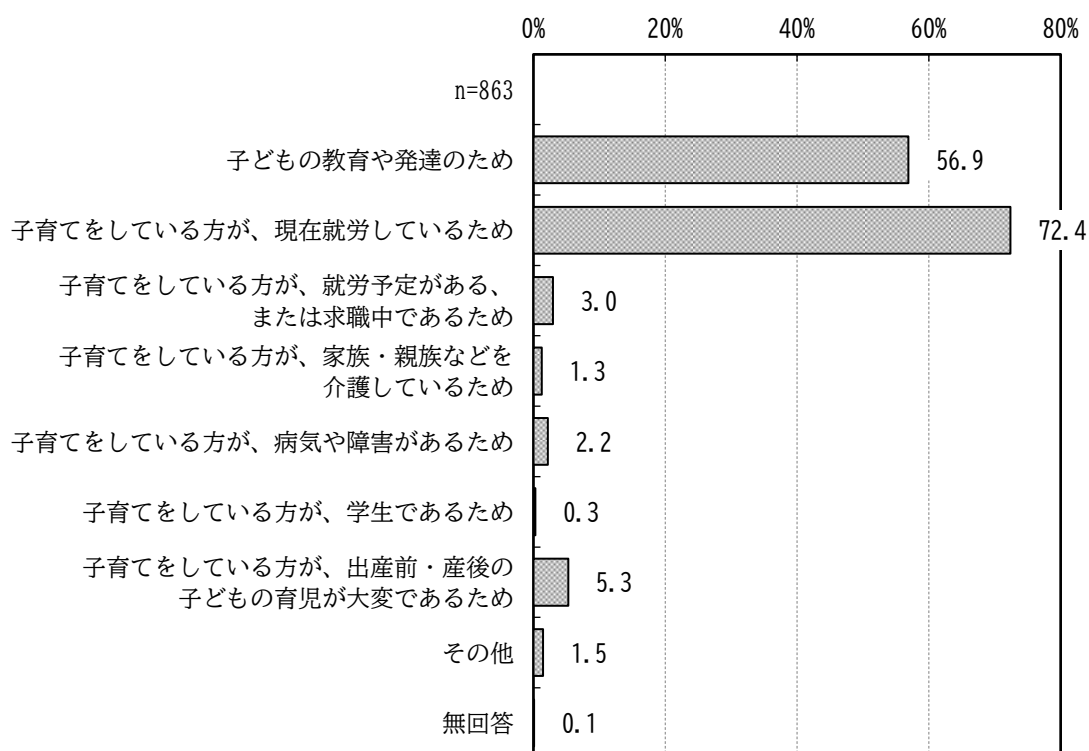
n=863



(4) 利用している理由

問 15-3 子育てをしている方が、平日(月～金)に定期的に幼稚園や保育園などを利用されている理由についてうかがいます。
 主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てをしている方が、現在就労しているため」が72.4%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が56.9%、「子育てをしている方が、出産前・産後の子どもの育児が大変であるため」が5.3%となっている。



(5) 利用していない理由

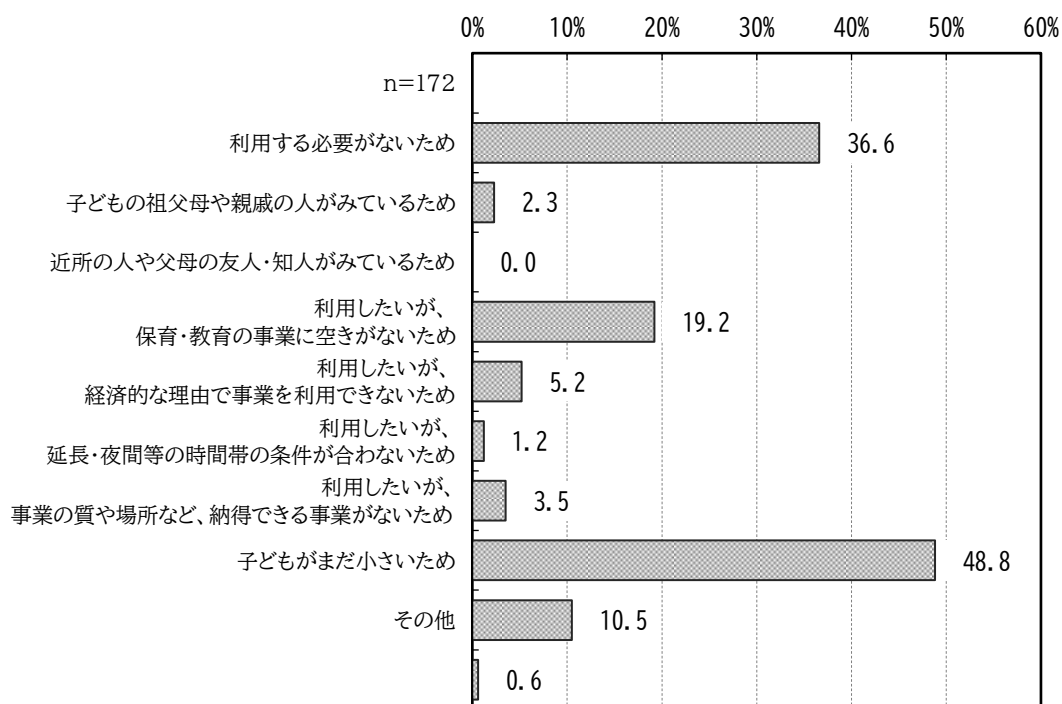
問 15-4 は、問 15 で「2. 利用していない」を選択した方が回答。

問 15-4 利用していない理由は何ですか。

主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「8. 子どもがまだ小さいため」を選んだ場合は、下線部に年齢を数字でご記入ください。

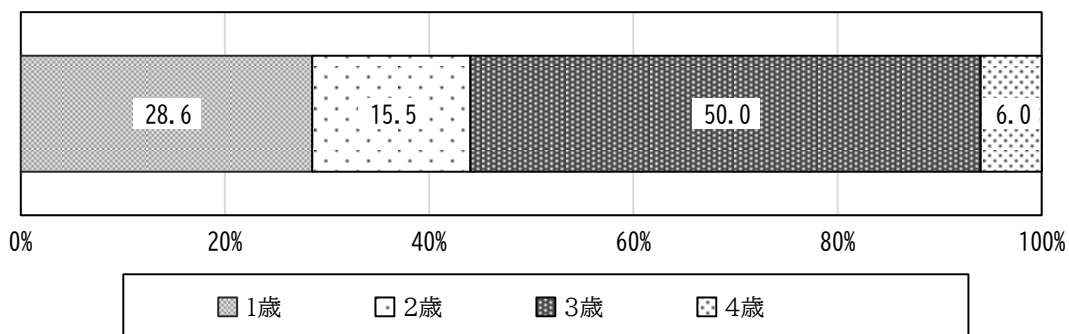
「子どもがまだ小さいため」が 48.8% と最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、あるいは子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がないため) が 36.6%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため」が 19.2% となっている。



① 子どもが何歳くらいになったら利用したいか

「3歳」が 50.0% と最も多く、次いで「1歳」が 28.6%、「2歳」が 15.5% となっている。

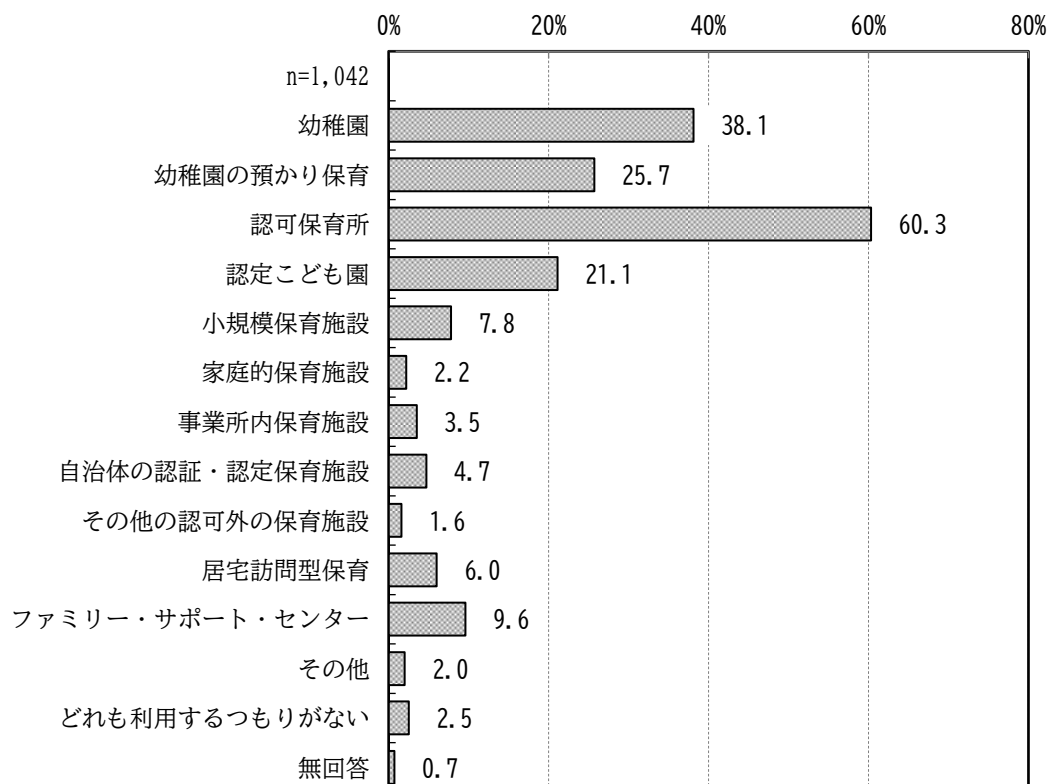
n=84



(6) 定期的な教育・保育事業の利用希望

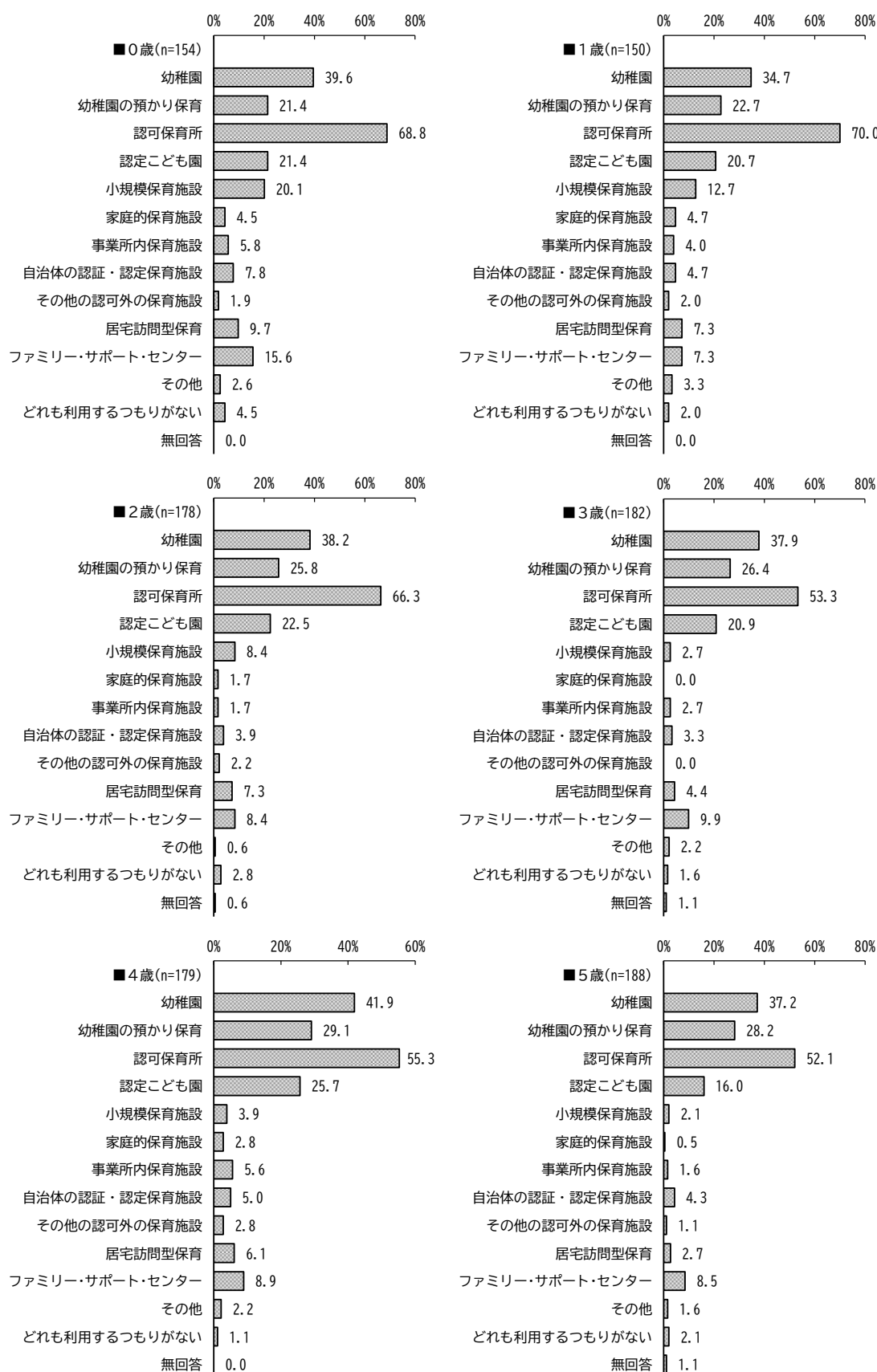
問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日(月～金)の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」が60.3%と最も多く、次いで「幼稚園」が38.1%、「幼稚園の預かり保育」が25.7%となっている。



【定期的な教育・保育事業の利用希望－子どもの年齢（学年齢）別】

定期的な教育・保育事業の利用希望を年齢（学年齢）別にみると、いずれの年齢でも「認可保育所」が最も多く、次いで「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」が多くなっている。

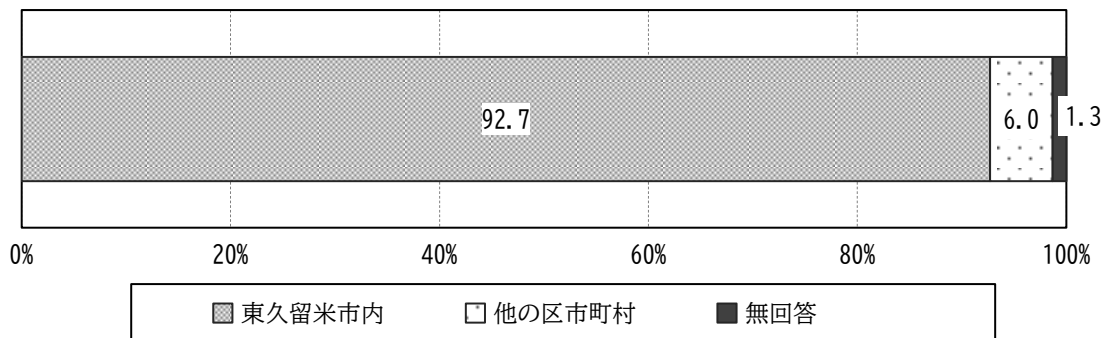


(7) 定期的な教育・保育事業を利用したい場所

問 16-1 上記のような幼稚園や保育園などを利用したい場所についてうかがいます。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「東久留米市内」が92.7%、「他の区市町村」が6.0%となっている。

n=1,042



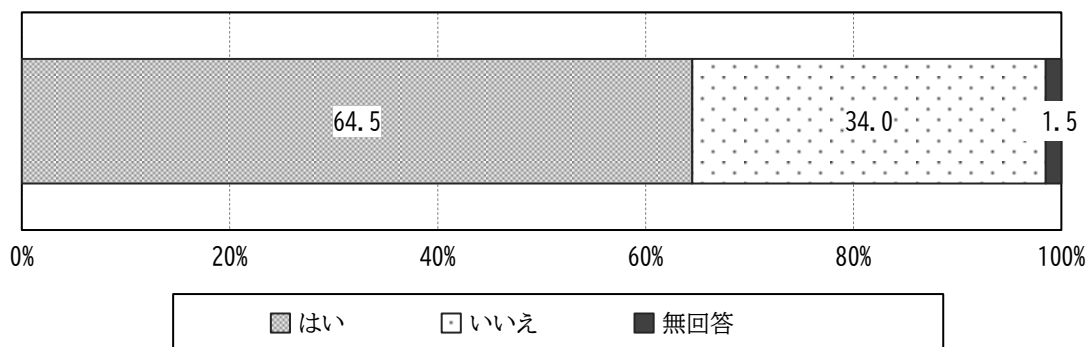
(8) 幼稚園を利用したい強い希望の有無

問 16-2 は、問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ「3. 認可保育所」から「1 2. その他」のいずれかも選択した方が回答。

問 16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」が64.5%、「いいえ」が34.0%となっている。

n=203



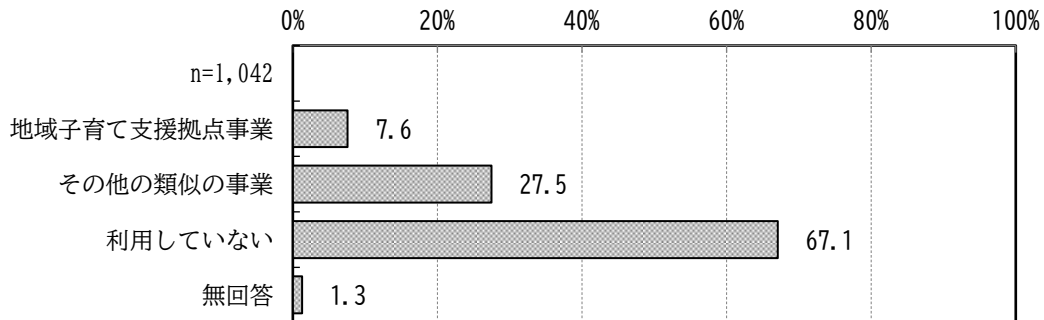
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（当市では「子育てひろば（地域子ども家庭支援センター上の原・地域子育て支援センターはこぶね館）」、「健康課の育児相談」が該当します）や児童館を利用していますか。
 次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。
 また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

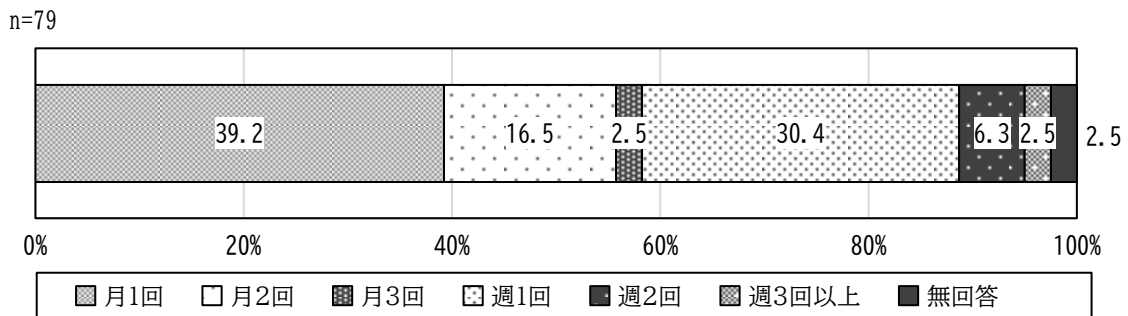
① 利用状況

「利用していない」が67.1%と最も多く、次いで「その他の類似の事業」が27.5%、「地域子育て支援拠点事業」が7.6%となっている。



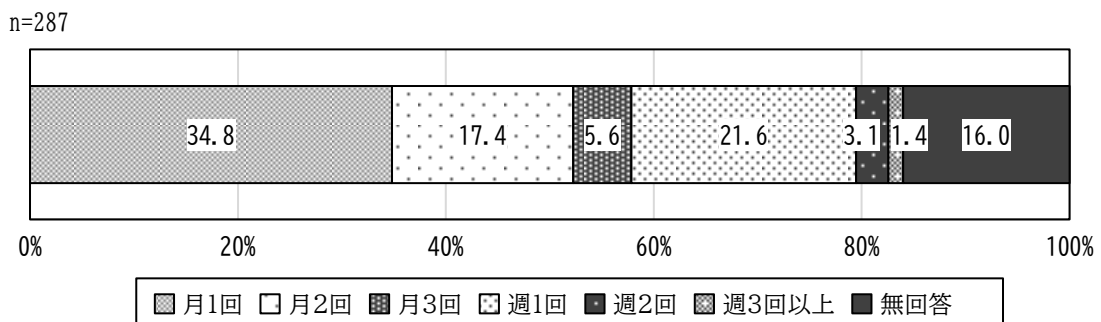
② 地域子育て支援拠点事業の利用頻度

「月1回」が39.2%と最も多く、次いで「週1回」が30.4%、「月2回」が16.5%となっている。



③ その他の類似の事業の利用頻度

「月1回」が34.8%と最も多く、次いで「週1回」が21.6%、「月2回」が17.4%となっている。



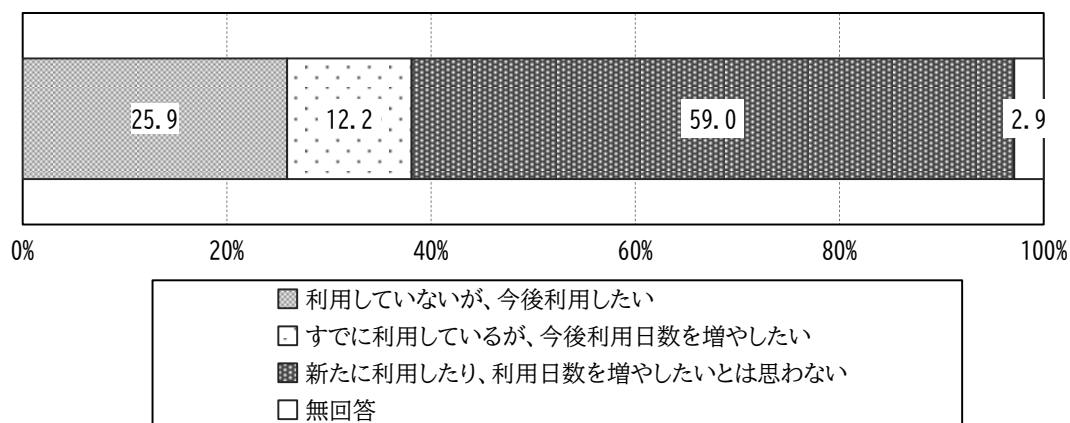
(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

① 利用意向

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 59.0%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 25.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 12.2%となっている。

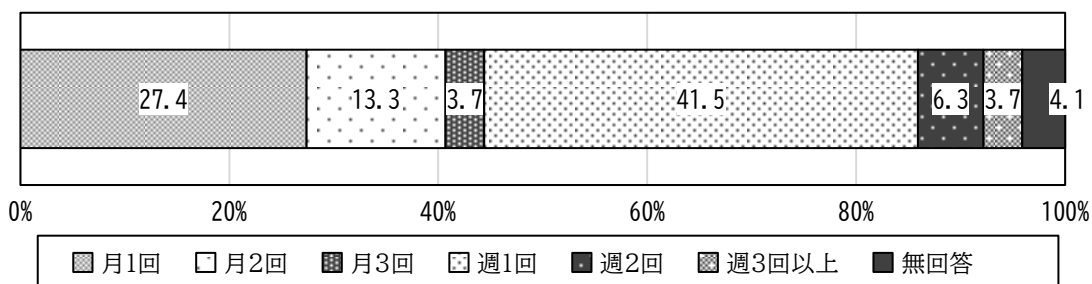
n=1,042



② 今後利用したい日数

「週1回」が 41.5%と最も多く、次いで「月1回」が 27.4%、「月2回」が 13.3%となっている。

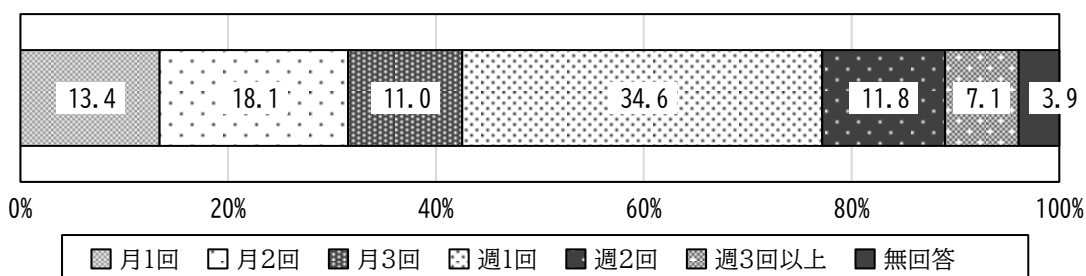
n=270



③ 利用日数を増やしたい回数

「週1回」が 34.6%と最も多く、次いで「月2回」が 18.1%、「月1回」が 13.4%となっている。

n=127



(3) 子育て支援事業の認知状況・利用状況・利用意向

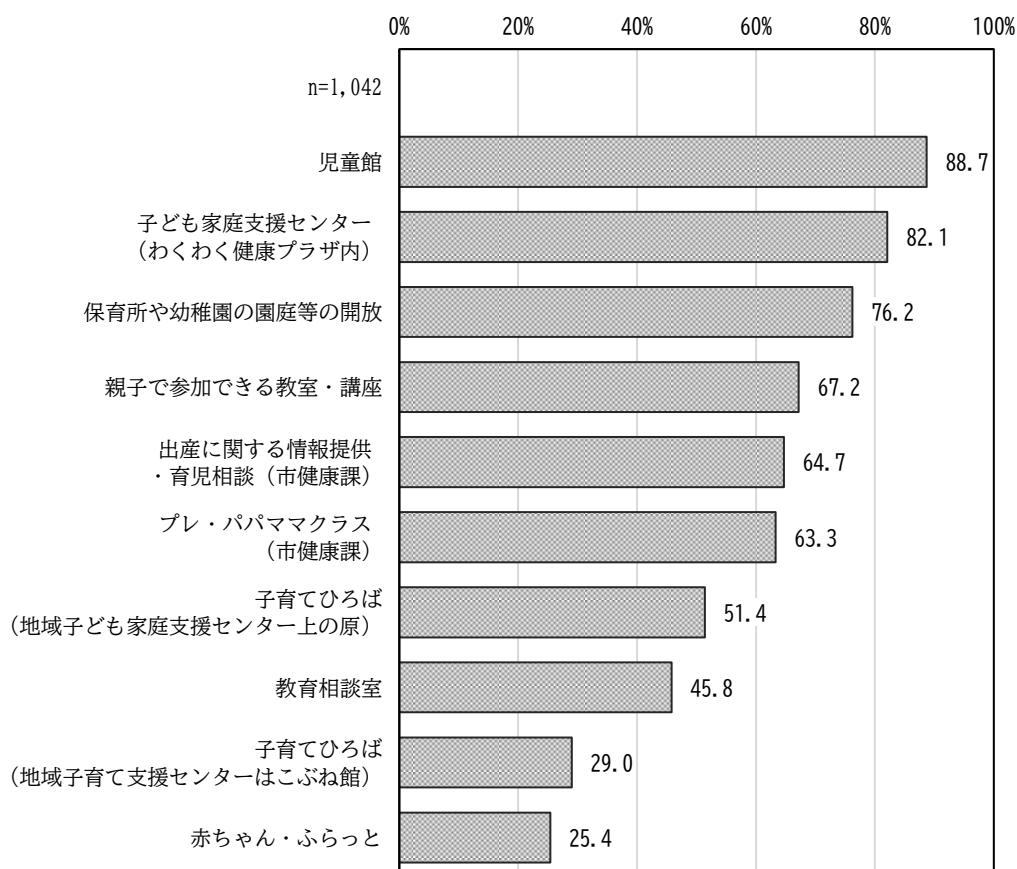
問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

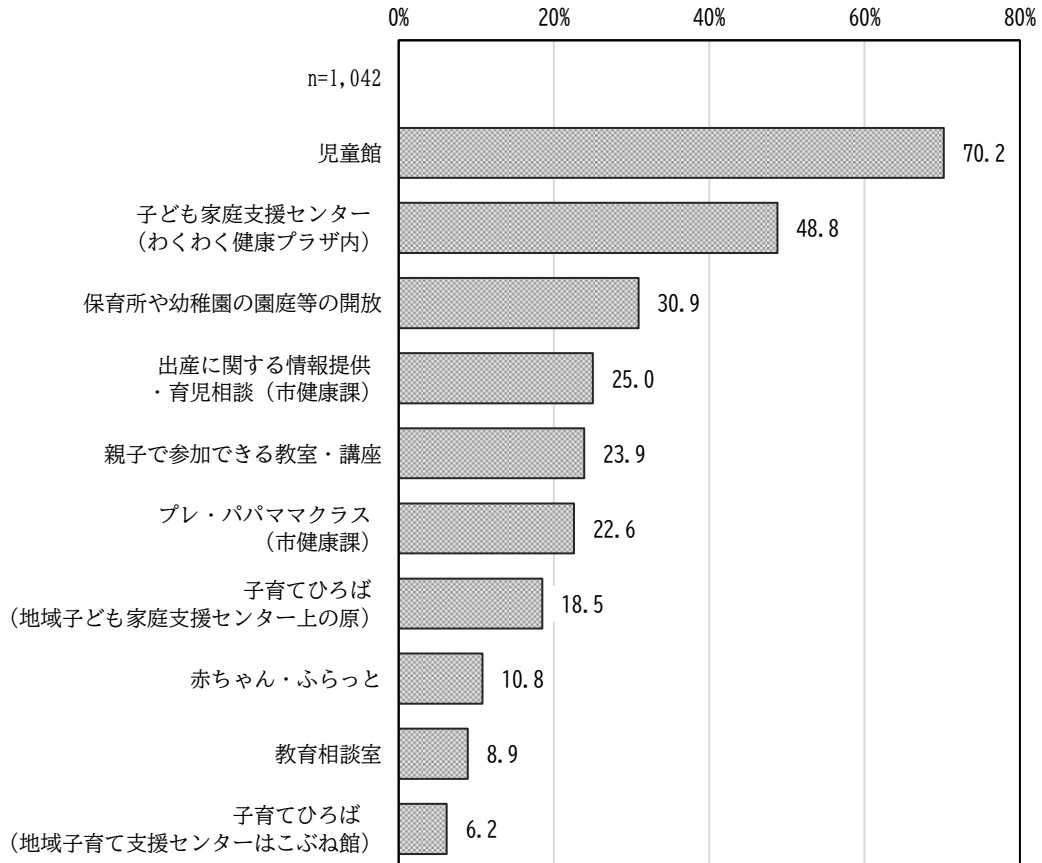
① 認知状況

「児童館」が 88.7%と最も多く、次いで「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が 82.1%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 76.2%となっている。



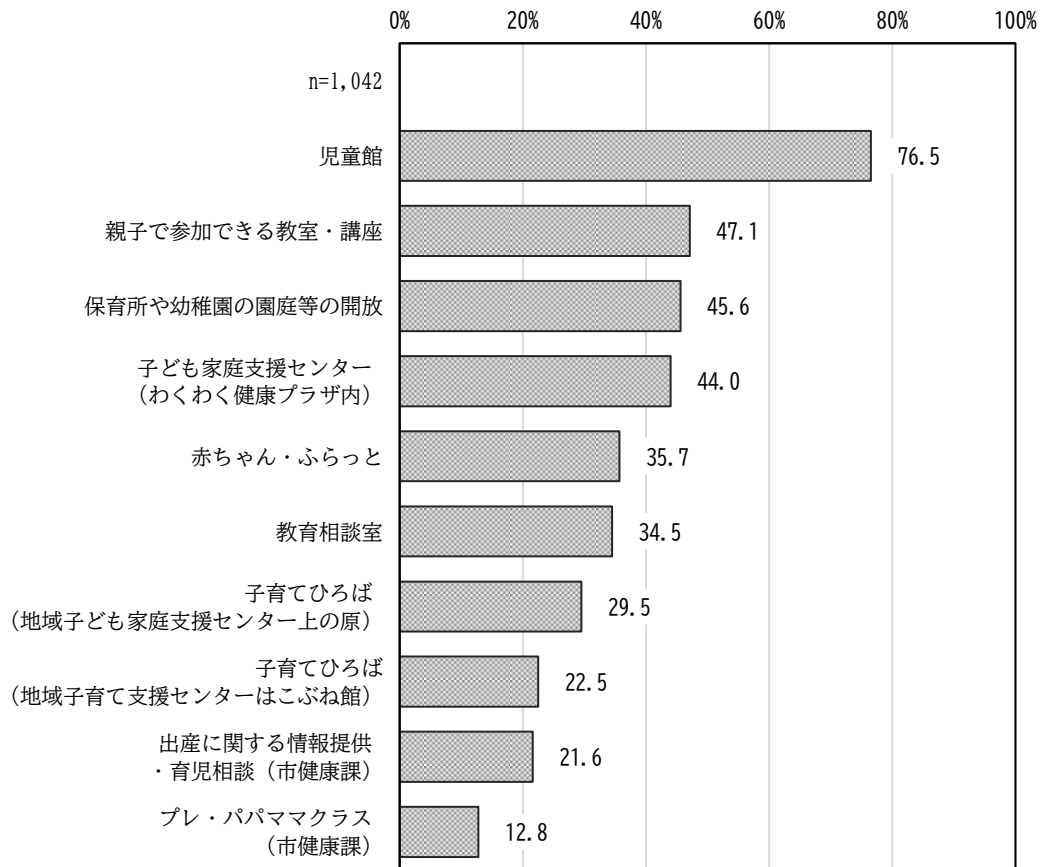
② 利用状況

「児童館」が 70.2%と最も多く、次いで「子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）」が 48.8%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 30.9%となっている。



③ 利用意向

「児童館」が76.5%と最も多く、次いで「親子で参加できる教室・講座」が47.1%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が45.6%となっている。



7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

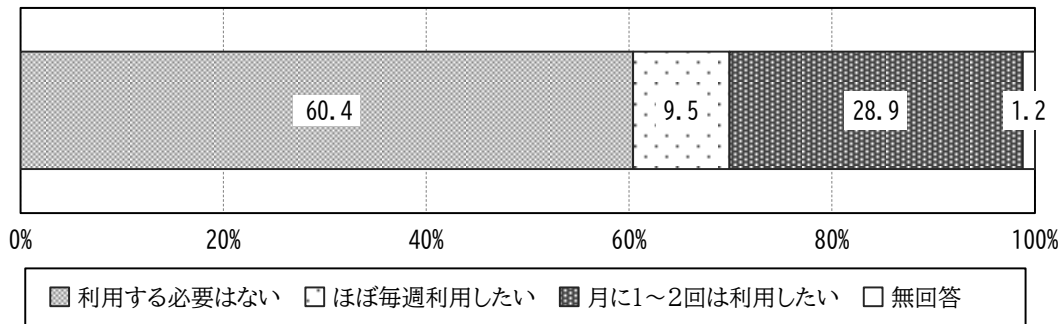
問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。
 ※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

① 土曜日

【利用希望】

「利用する必要はない」が60.4%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が28.9%、「ほぼ毎週利用したい」が9.5%となっている。

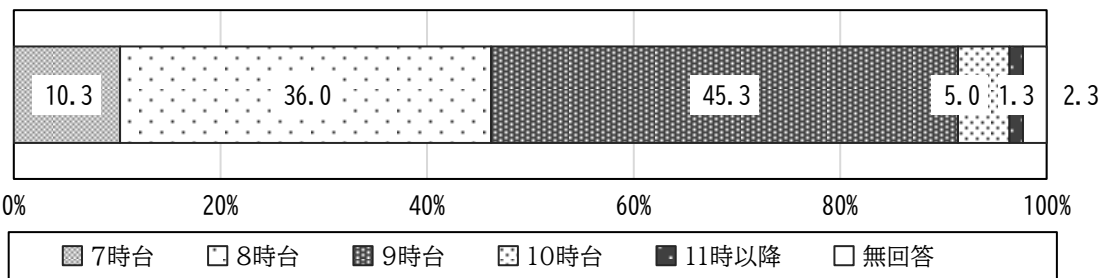
n=1,042



【利用開始時間】

「9時台」が45.3%と最も多く、次いで「8時台」が36.0%、「7時台」が10.3%となっている。

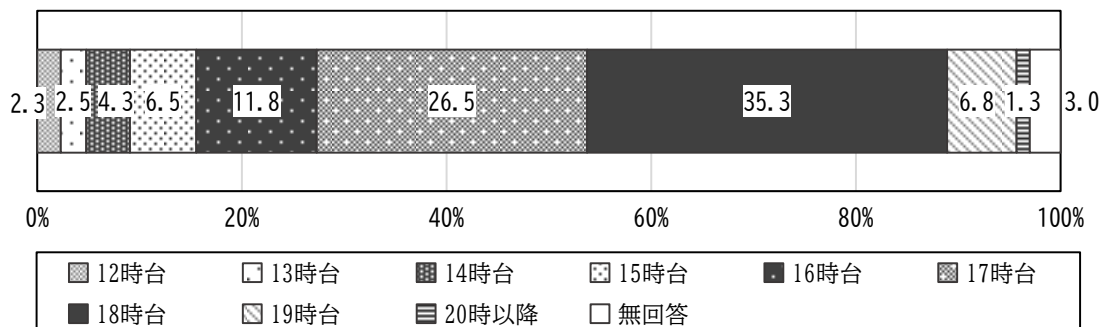
n=400



【利用終了時間】

「18時台」が35.3%と最も多く、次いで「17時台」が26.5%、「16時台」が11.8%となっている。

n=400

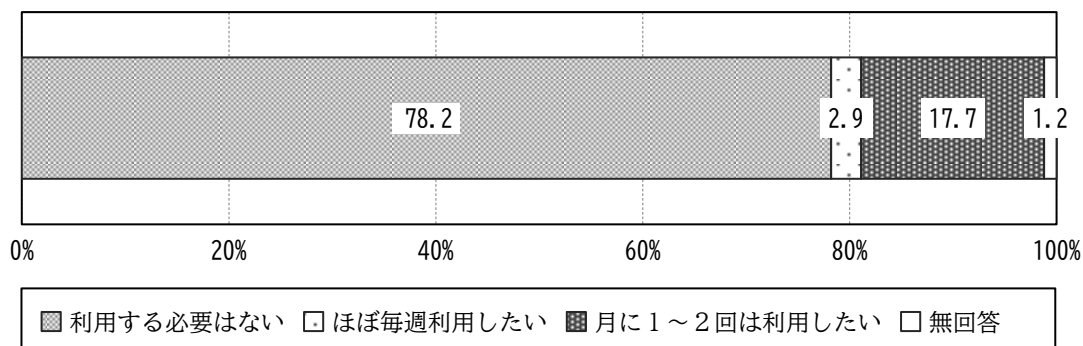


② 日曜・祝日

【利用希望】

「利用する必要はない」が78.2%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が17.7%、「ほぼ毎週利用したい」が2.9%となっている。

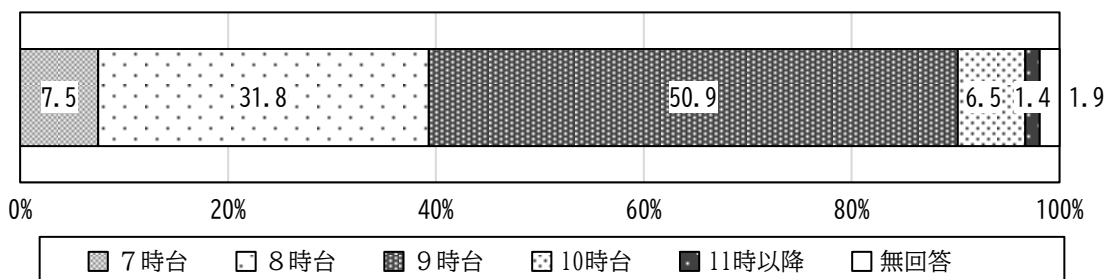
n=1,042



【利用開始時間】

「9時台」が50.9%と最も多く、次いで「8時台」が31.8%、「7時台」が7.5%となっている。

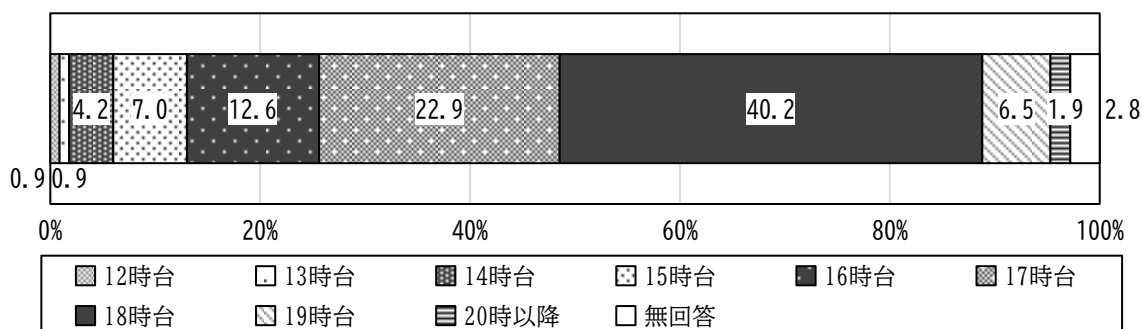
n=214



【利用終了時間】

「18時台」が40.2%と最も多く、次いで「17時台」が22.9%、「16時台」が12.6%となっている。

n=214

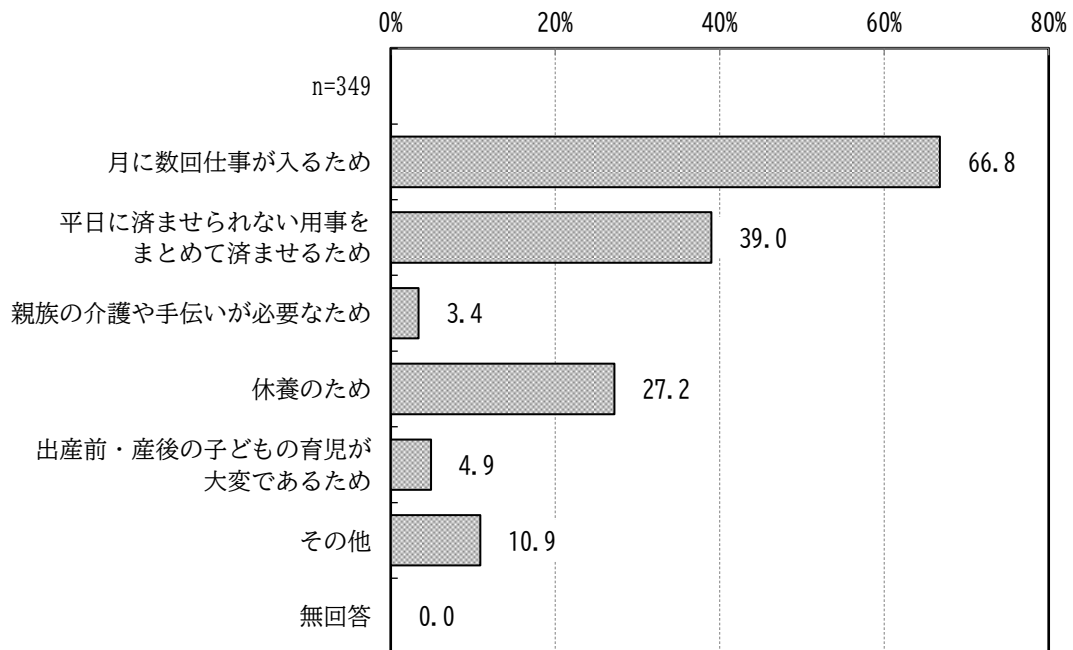


(2) 土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業をたまに利用したい理由

問 20-1 は、問 20 の(1)土曜日もしくは(2)日曜・祝日で「3.月に1～2回は利用したい」を選択した方が回答。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」が 66.8%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 39.0%、「休養のため」が 27.2%となっている。



(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

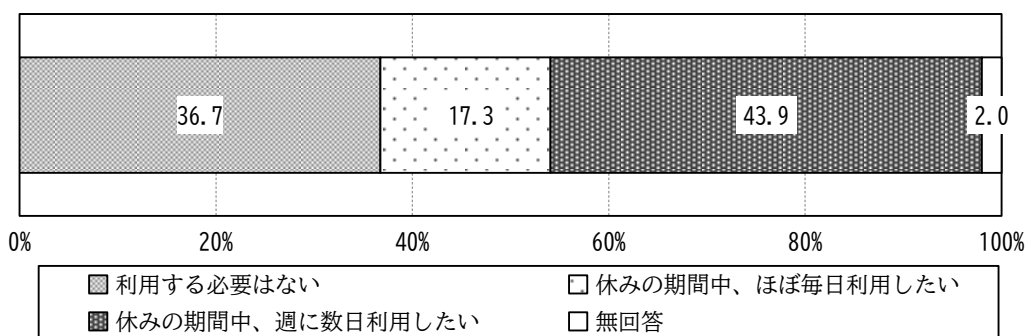
問 21 は、「幼稚園」を利用されている方が回答。

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。
希望がある場合は、利用したい時間帯を「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

① 利用希望

「休みの期間中、週に数日利用したい」が 43.9%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が 36.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 17.3%となっている。

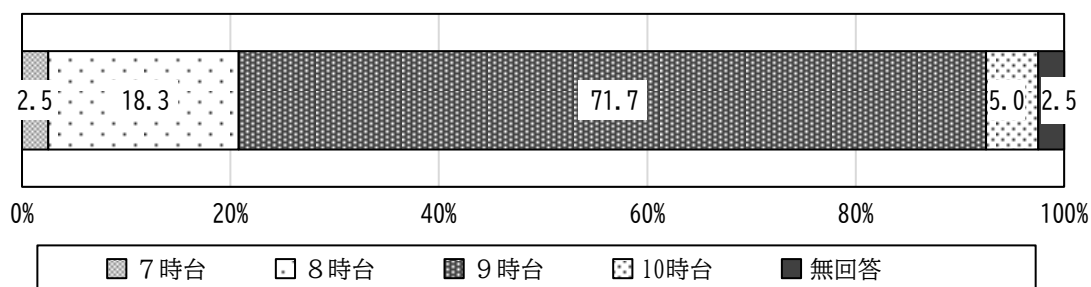
n=196



② 利用開始時間

「9時台」が 71.7%と最も多く、次いで「8時台」が 18.3%、「10時台」が 5.0%となっている。

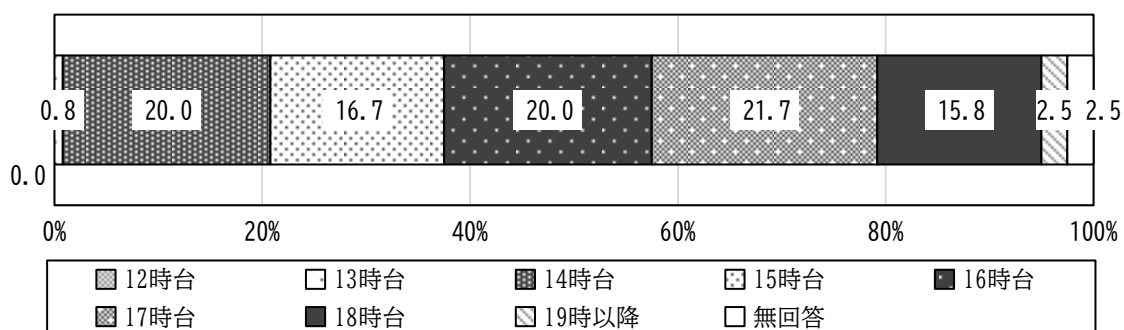
n=120



③ 利用終了時間

「17時台」が 21.7%と最も多く、次いで「14時台」「16時台」が 20.0%となっている。

n=120

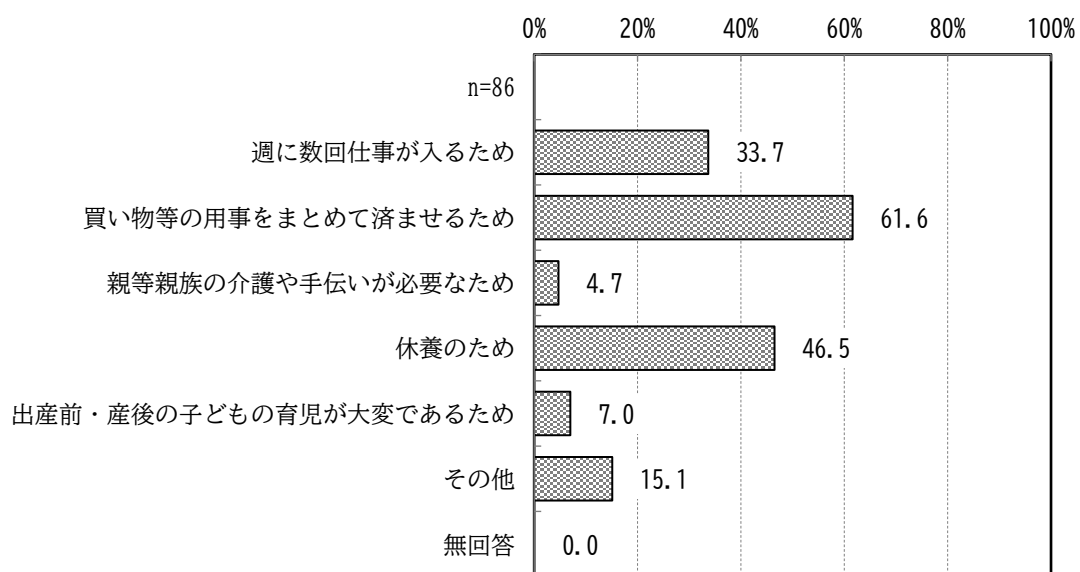


(4) 長期休暇中に教育・保育事業をたまに利用したい理由

問 21-1 は、問 21 で「3. 週に数日利用したい」を選択した方が回答。

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が61.6%と最も多く、次いで「休養のため」が46.5%、「週に数回仕事が入るため」が33.7%となっている。



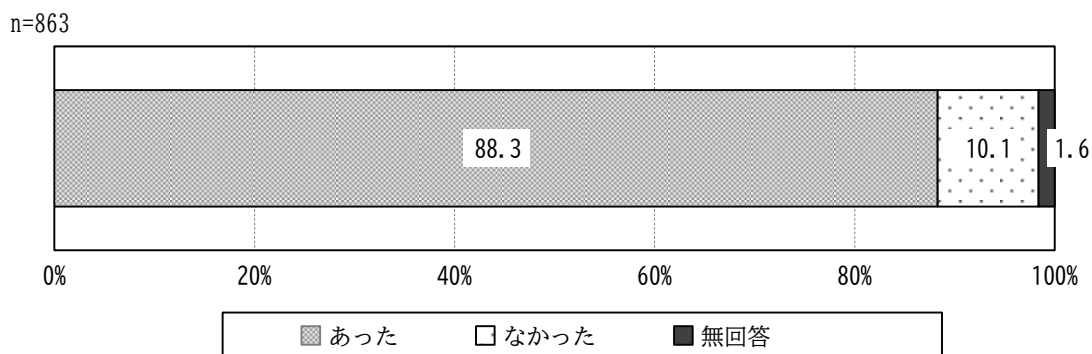
8. お子さんの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかったことの有無

問 22 は、平日（月～金）、定期的に幼稚園や保育園などを利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1. 利用している」を選択した方）のみ回答。

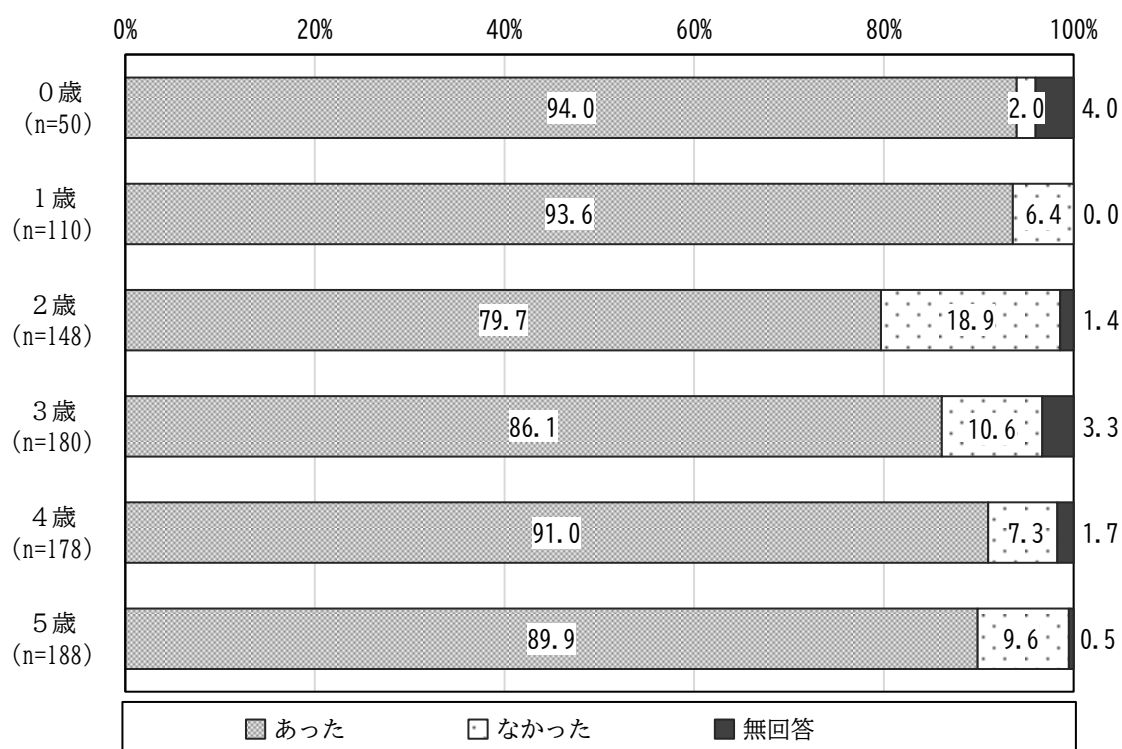
問 22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などを利用できなかったことはありますか。

「あった」が88.3%、「なかった」が10.1%となっている。



【病気やケガで事業を利用できなかったことの有無－子どもの年齢（学年齢）別】

病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかったことの有無を子どもの年齢（学年齢）別にみると、「あった」は0歳で最も多く、94.0%となっている。次いで、1歳で93.6%、4歳で91.0%と続いている。



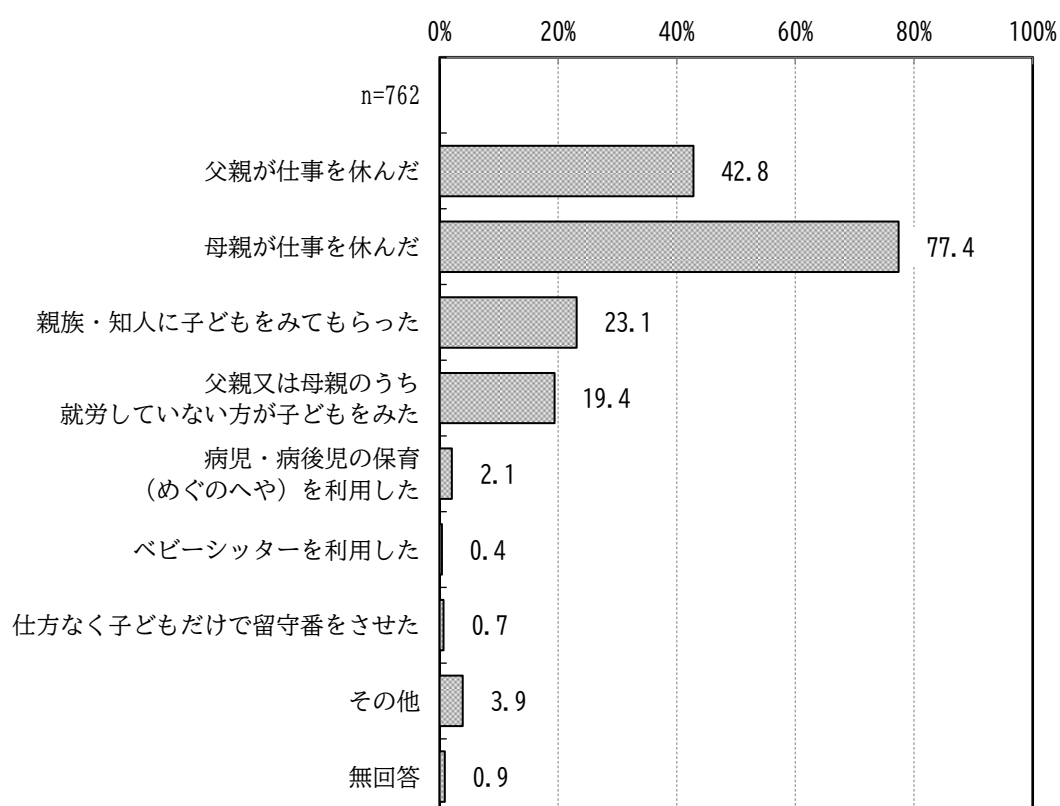
(2) 病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかった場合の対処方法と日数

問 22-1 は、問 22 で「1. あった」を選択した方が回答。

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがでふだん利用している幼稚園や保育園などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

① 対処方法

「母親が仕事を休んだ」が77.4%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が42.8%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が23.1%となっている。

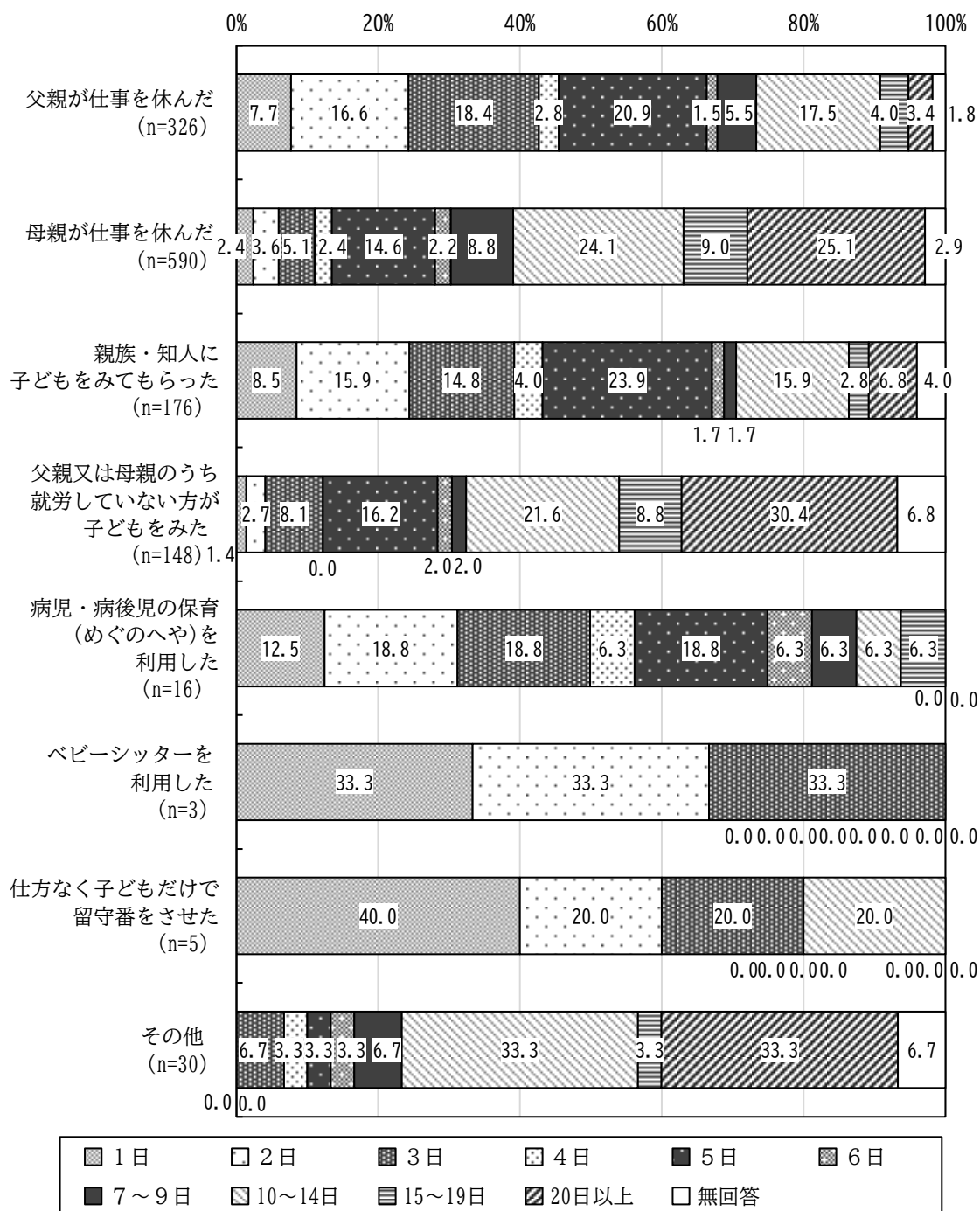


② 日数

「父親が仕事を休んだ」は、「5日」が20.9%と最も多く、次いで「3日」が18.4%、「10～14日」が17.5%となっている。

「母親が仕事を休んだ」は、「20日」が25.1%と最も多く、次いで「10～14日」が24.1%、「5日」が14.6%となっている。

「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった」は、「5日」が23.9%と最も多く、次いで「2日」「10～14日」が15.9%となっている。



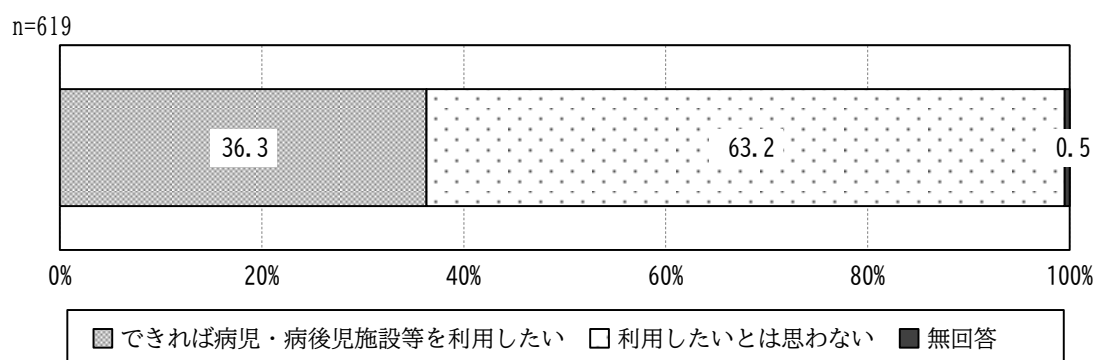
(3) 病児・病後児施設等の利用意向と利用希望日数

問 22-2 は、問 22-1 で「ア. 父親が仕事を休んだ」または「イ. 母親が仕事を休んだ」のいずれかを選択した方が回答。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。
 ※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

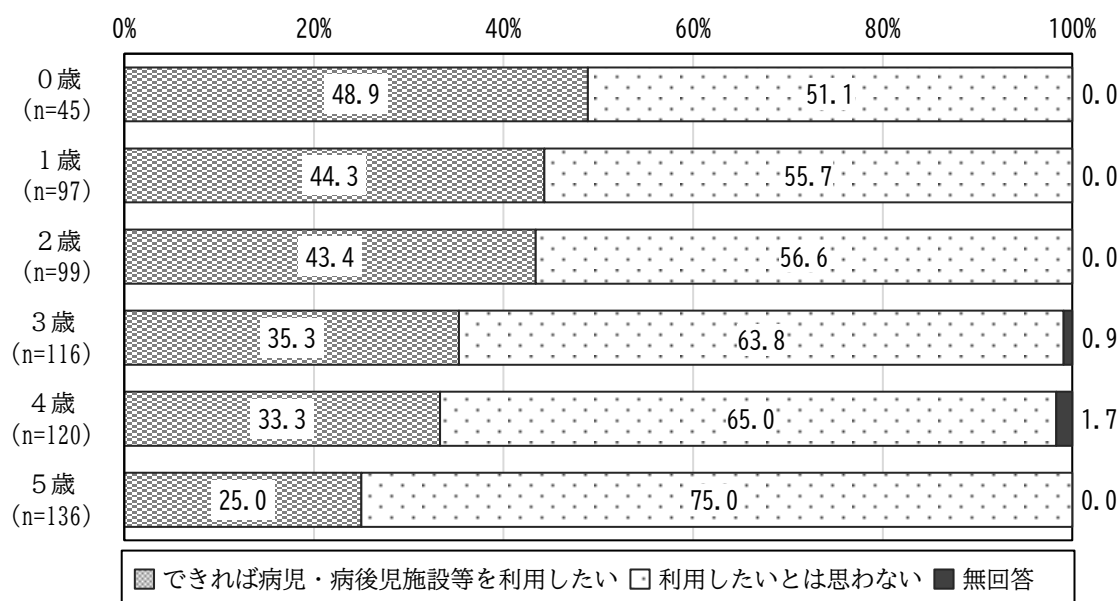
① 利用意向

「できれば病児・病後児施設等を利用したい」が 36.3%、「利用したいとは思わない」が 63.2%となっている。



【病児・病後児施設等の利用意向－子どもの年齢（学年齢）別】

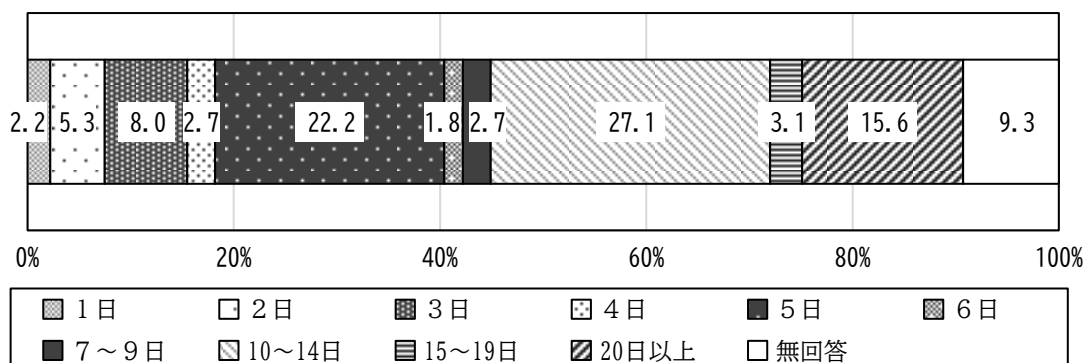
病児・病後児施設等の利用意向を子どもの年齢（学年齢）別にみると、「できれば病児・病後児施設等を利用したい」は0歳で最も多く、5割程度となっており、年齢が上がるにつれて少なくなる傾向がみられる



② 利用希望日数

「10～14日」が27.1%と最も多く、次いで「5日」が22.2%、「20日以上」が15.6%となっている。

n=225

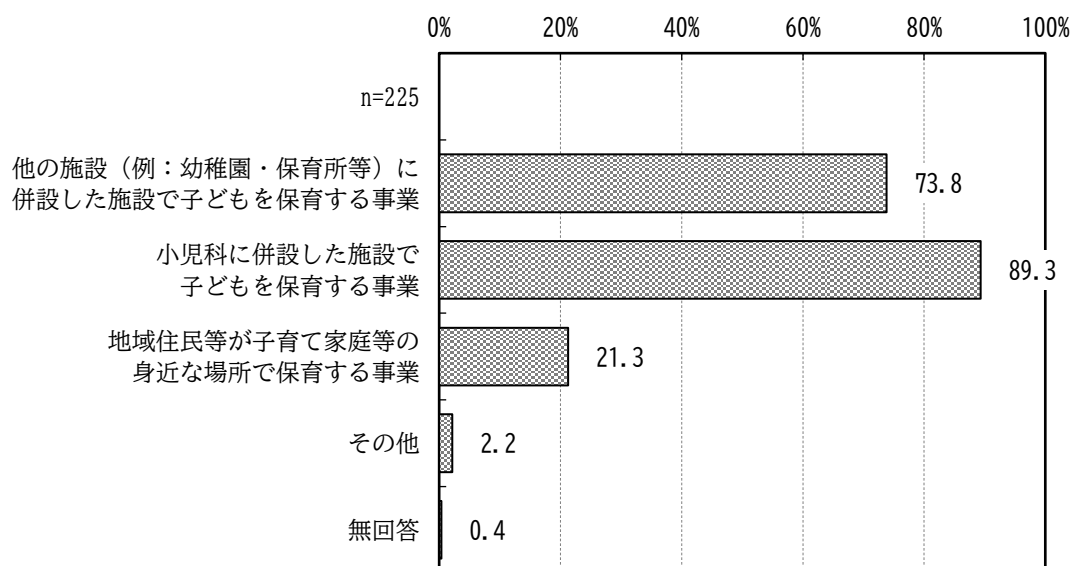


(4) 病児・病後児施設等の事業形態

問22-3は、問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択した方が回答。

問22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が89.3%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が73.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が21.3%となっている。

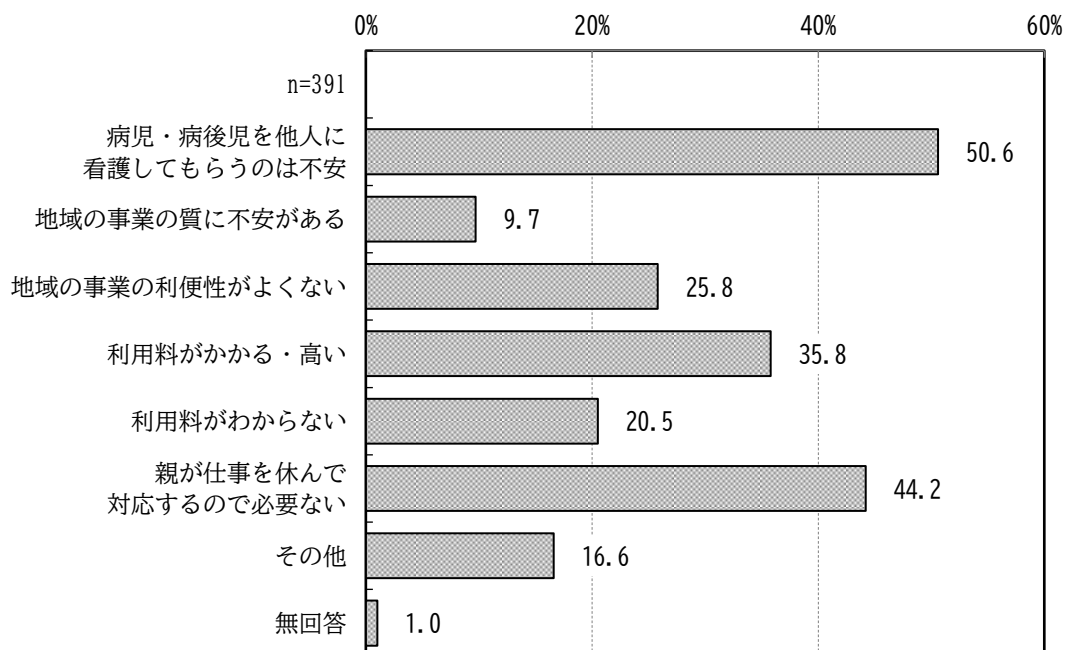


(5) 病児・病後児施設等を利用したいと思わない理由

問 22-4 は、問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」を選択した方が回答。

問 22-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が 50.6%と最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応するので必要ない」が 44.2%、「利用料がかかる・高い」が 35.8%となっている。



(6) 子どもの看護のための休暇取得希望と日数

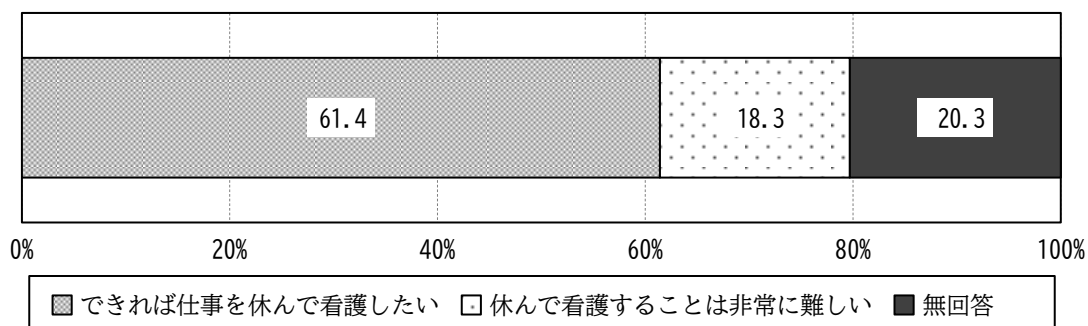
問 22-5 は、問 22-1 で「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク. その他」のいずれかを選択した方が回答。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「ク. その他」の日数のうち、仕事を休んで看護したかった日数についても数字でご記入ください。

① 休暇取得希望

「できれば仕事を休んで看護したい」が 61.4%、「休んで看護することは非常に難しい」が 18.3%となっている。

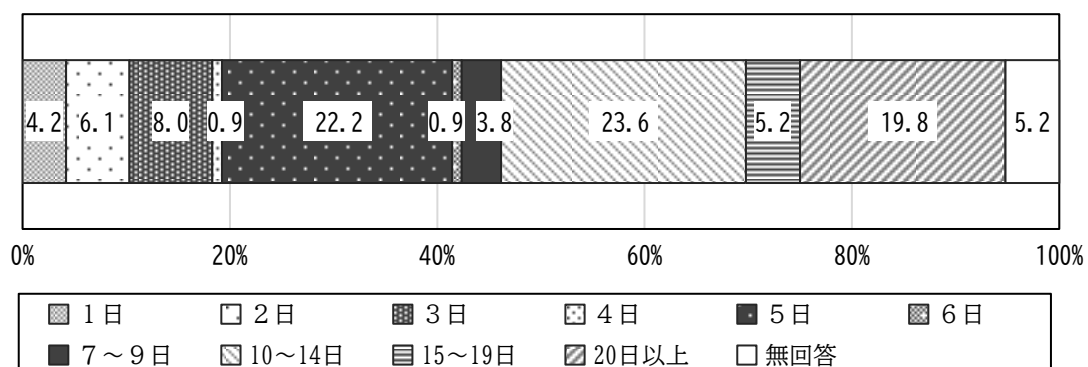
n=345



② 日数

「10~14日」が 23.6%と最も多く、次いで「5日」が 22.2%、「20日以上」が 19.8%となっている。

n=212

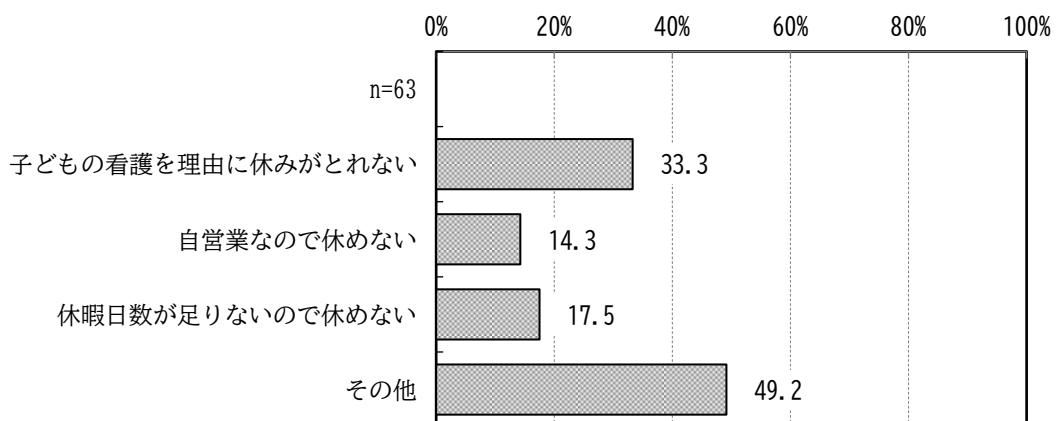


(7) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

問 22-6 は、問 22-5 で「2. 休んで看護することは非常に難しい」を選択した方が回答。

問 22-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 33.3%と最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が 17.5%、「自営業なので休めない」が 14.3%となっている。



【その他の内容】(31件) ※上位3項目を抜粋

・仕事が忙しいため (11件)	・職場に迷惑がかかるため (5件)
・人手不足のため (4件)	・配偶者が看病をするため (4件)

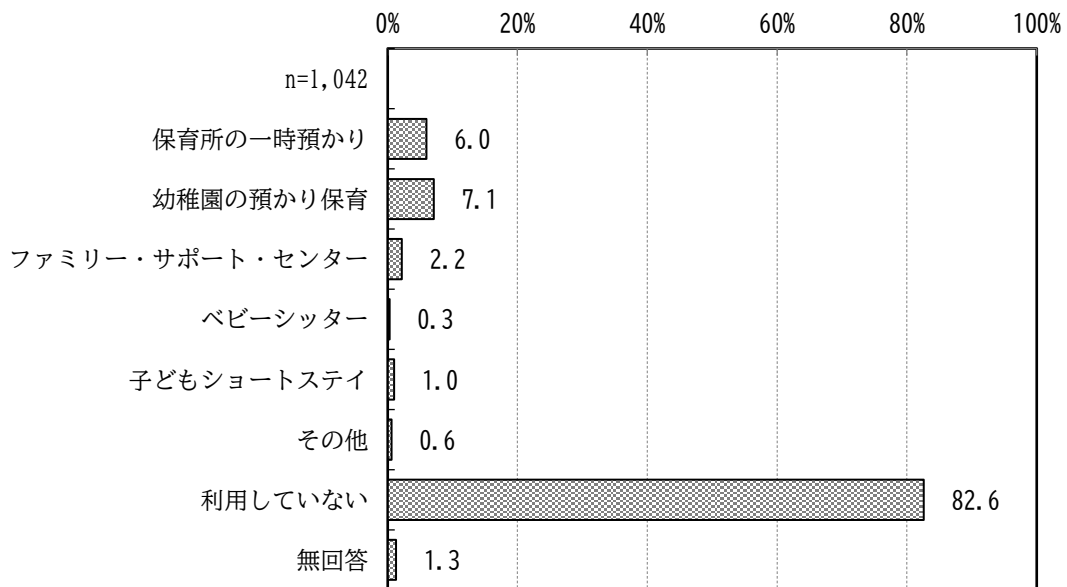
9. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 不特定の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況と日数

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育利用以外に、保護者の私用、通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
ある場合は当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

① 利用状況

「利用していない」が82.6%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が7.1%、「保育所の一時的預かり」が6.0%となっている。

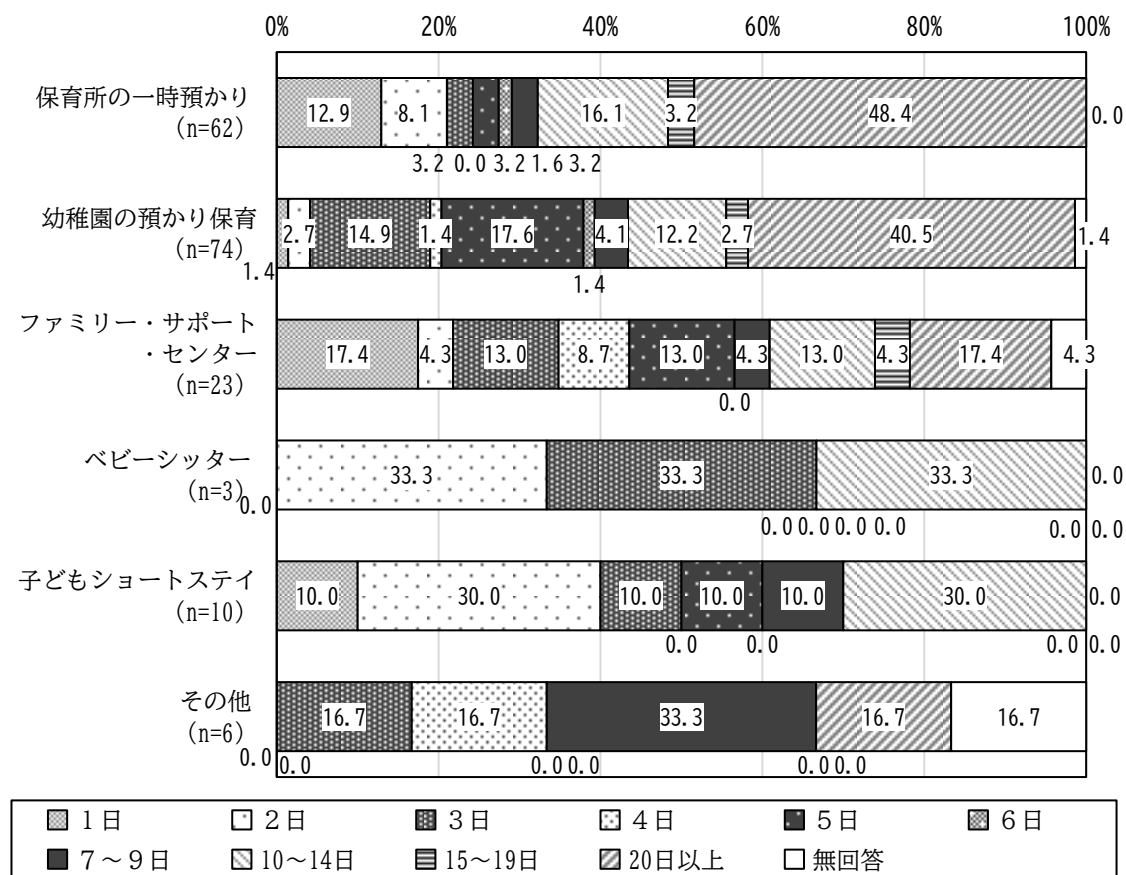


② 日数

「保育所の一時預かり」は、「20日以上」が48.4%と最も多く、次いで「10～14日」が16.1%、「1日」が12.9%となっている。

「幼稚園の預かり保育」は、「20日以上」が40.5%と最も多く、次いで「5日」が17.6%、「3日」が14.9%となっている。

「ファミリー・サポート・センター」は、「1日」と「20日以上」が17.4%と最も多く、次いで「3日」「5日」「10～14日」が13.0%となっている。



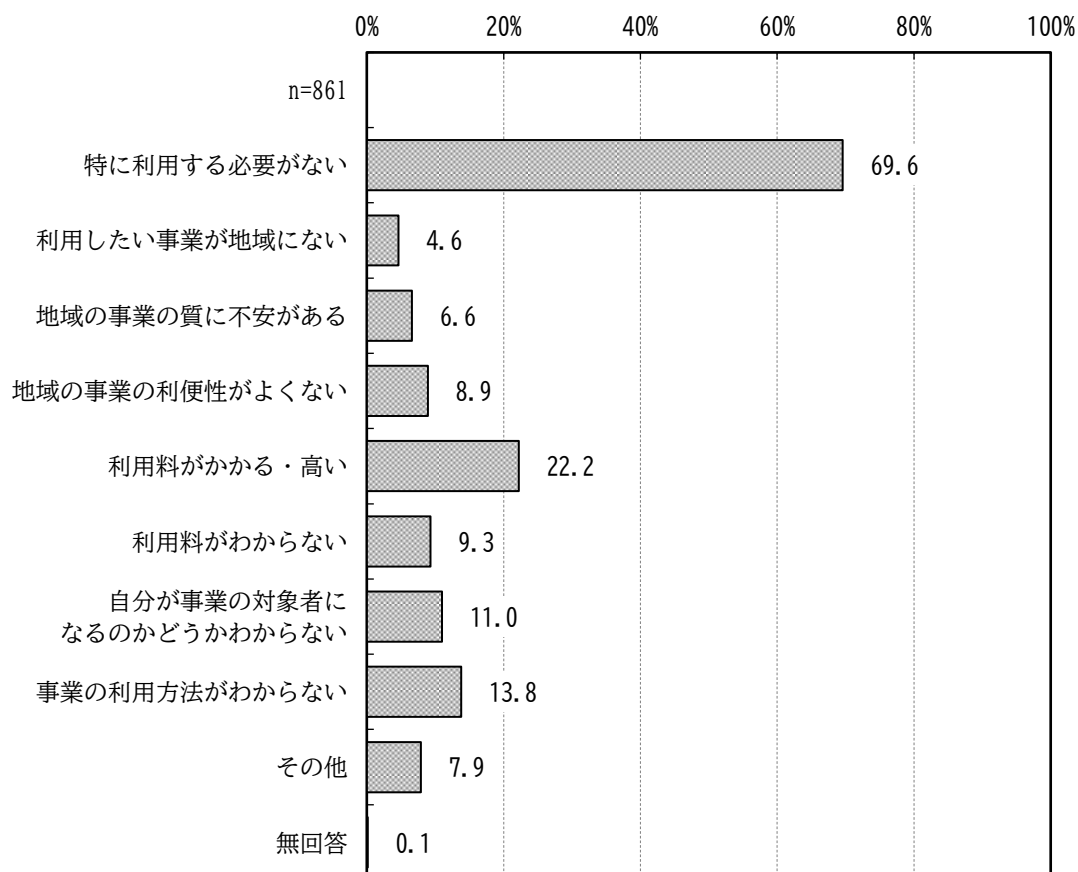
(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

問 23-1 は、問 23 で「7. 利用していない」を選択した方が回答。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が 69.6%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が 22.2%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 13.8%となっている。



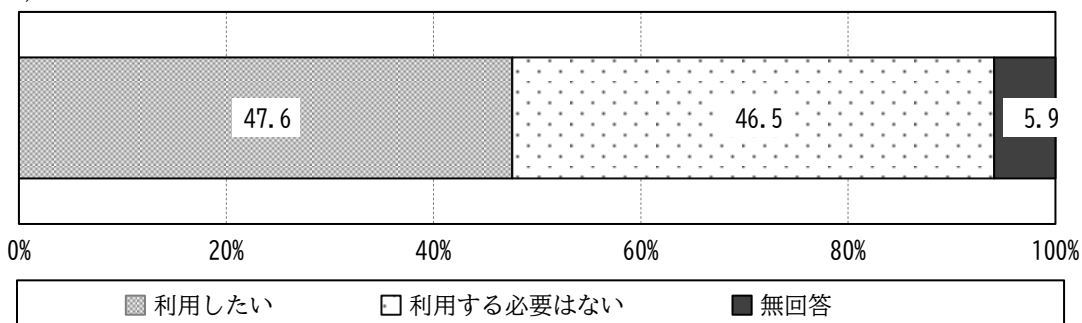
(3) 不特定の教育・保育事業の利用希望と日数

問 24 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。
 利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください）。

① 利用希望

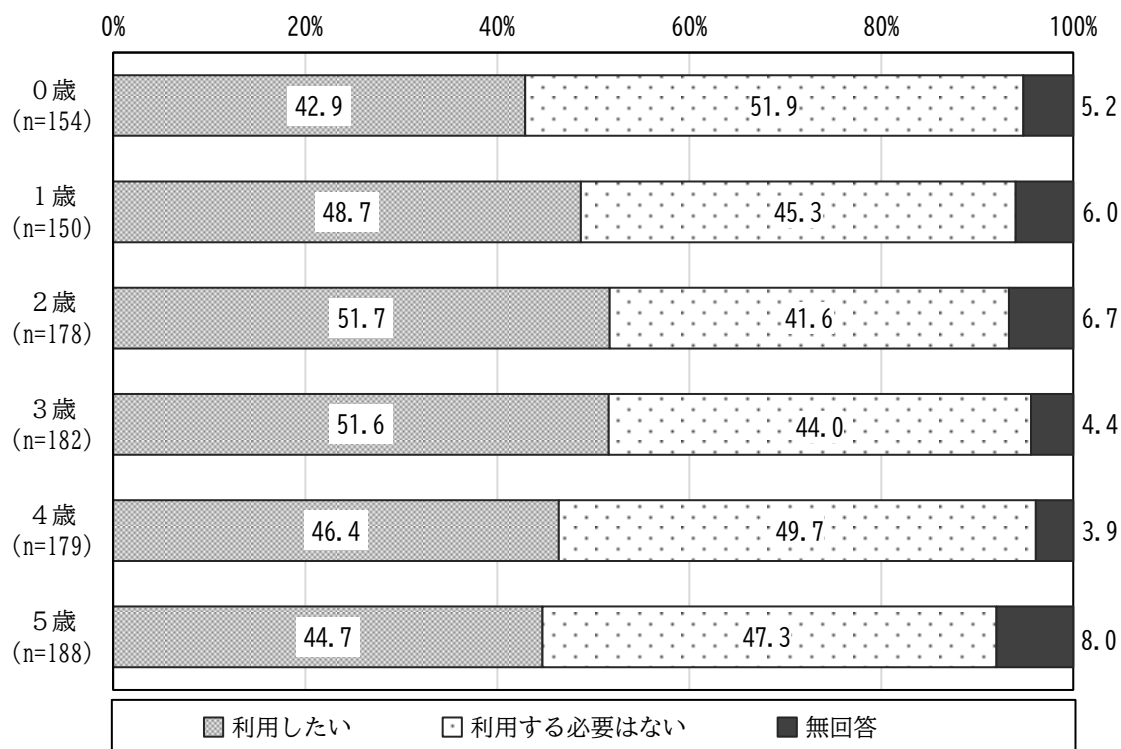
「利用したい」が47.6%、「利用する必要はない」が46.5%となっている。

n=1,042



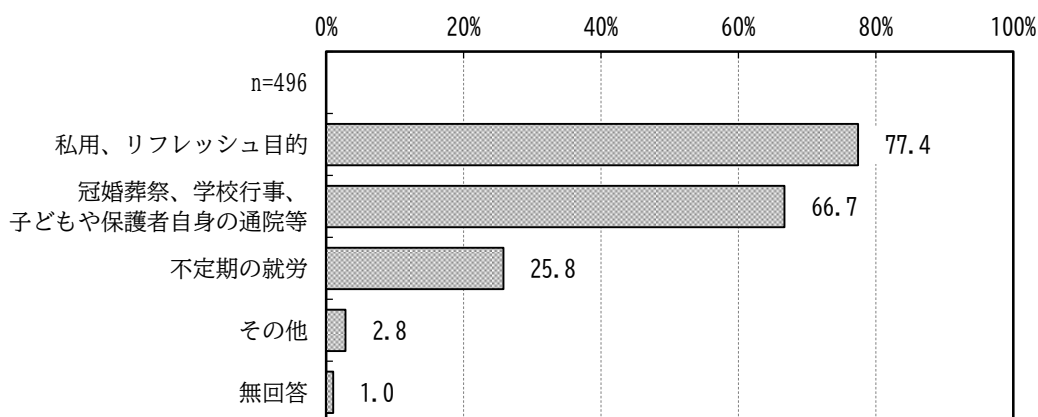
【不特定の教育・保育事業の利用希望－子どもの年齢（学年齢）別】

不特定の教育・保育事業の利用希望を子どもの年齢（学年齢）別にみると、2歳、3歳で「利用したい」が5割を超えている。



② 利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」が77.4%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院等」が66.7%、「不定期の就労」が25.8%となっている。

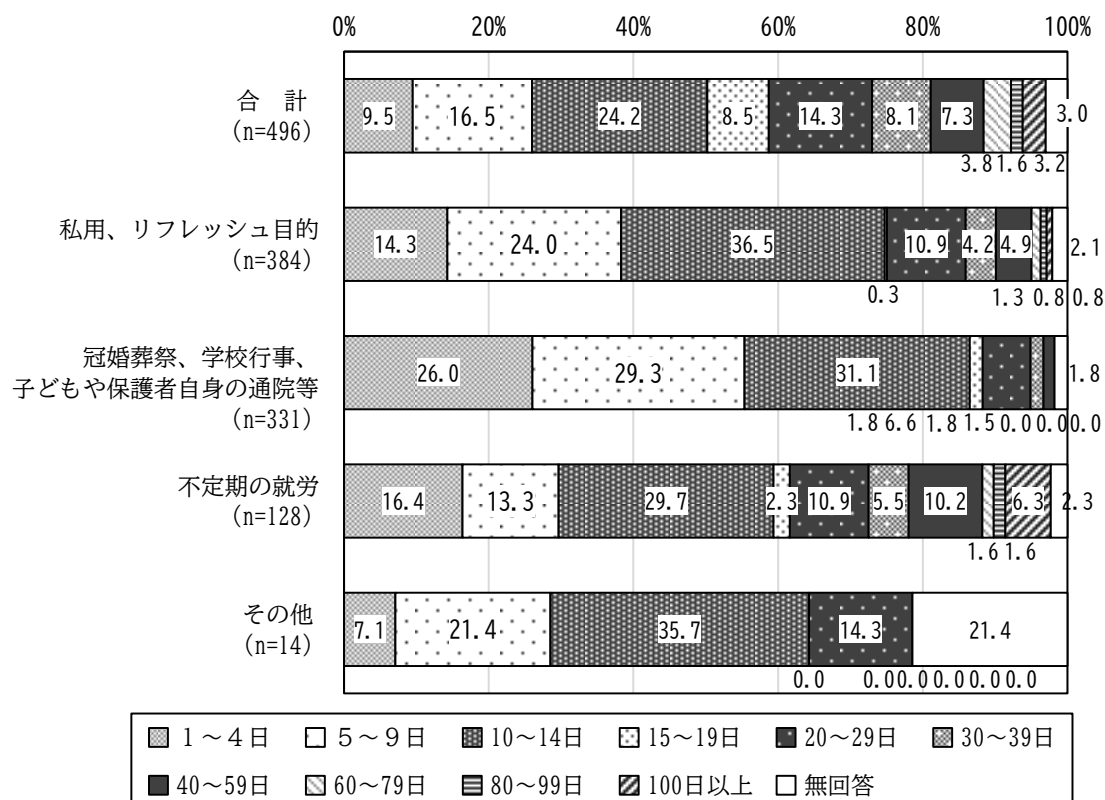


③ 日数

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」は、「10～14日」が36.5%と最も多く、次いで「5～9日」が24.0%、「1～4日」が14.3%となっている。

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院等」は、「10～14日」が31.1%と最も多く、次いで「5～9日」が29.3%、「1～4日」が26.0%となっている。

「不定期の就労」は「10～14日」が29.7%と最も多く、次いで「1～4日」が16.4%、「5～9日」が13.3%となっている。

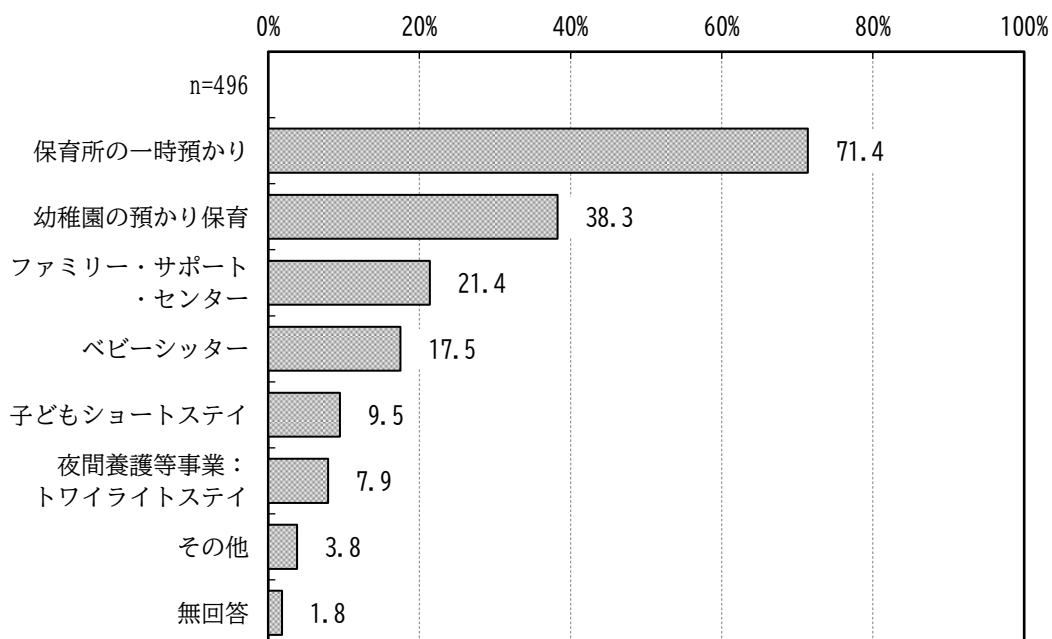


(4) 不定期の教育・保育事業の利用形態

問 24-1 は、問 24 で「1. 利用したい」を選択した方が回答。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育所の一時預かり」が71.4%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が38.3%、「ファミリー・サポート・センター」が21.4%となっている。



(5) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

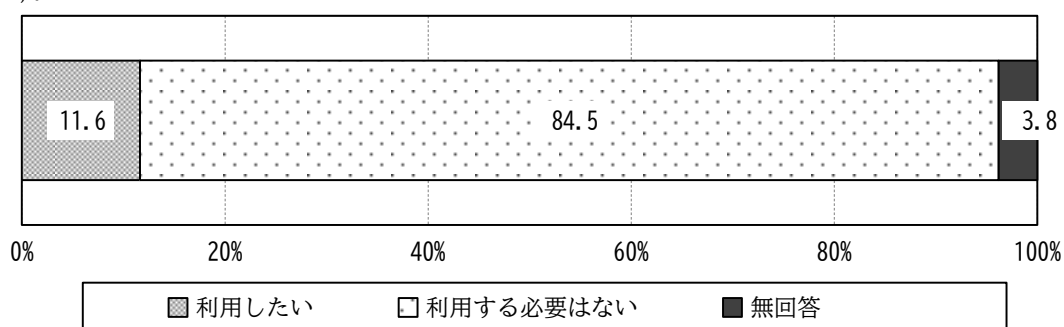
短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を数字でご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を数字でご記入ください）。

なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

① 利用希望

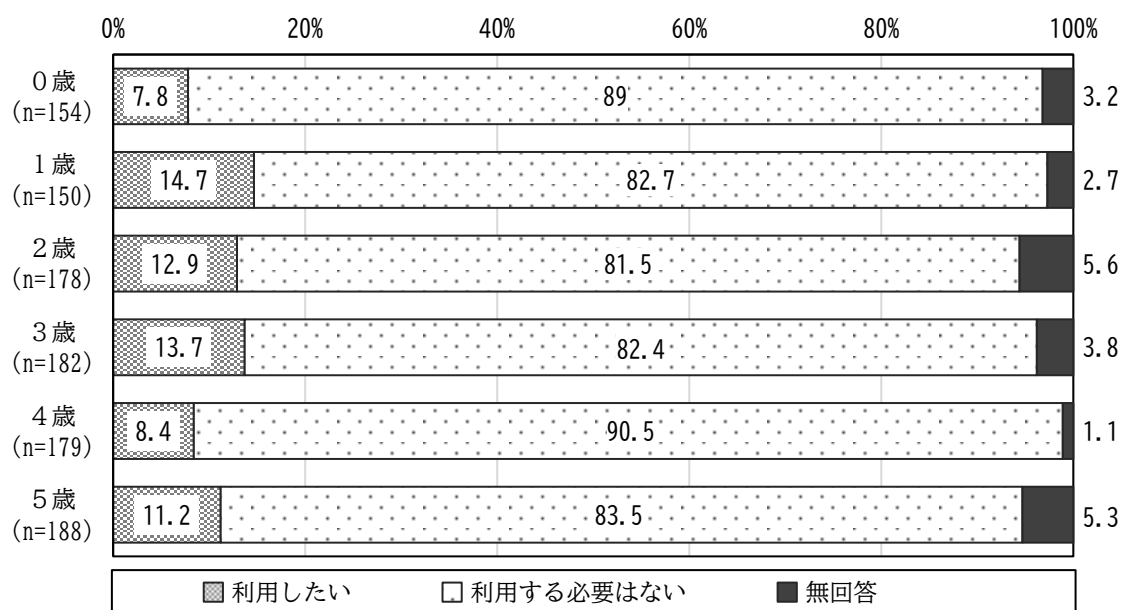
「利用したい」が11.6%、「利用する必要はない」が84.5%となっている。

n=1,042



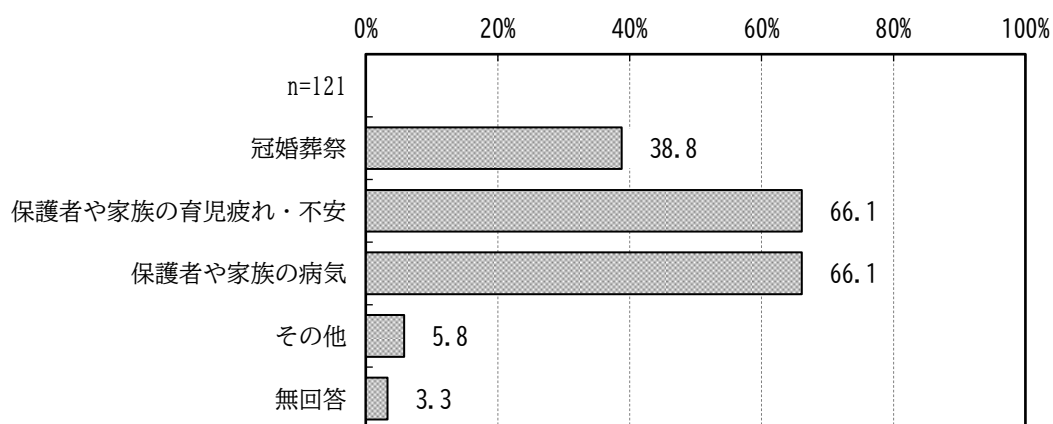
【宿泊を伴う一時預かりの有無－子どもの年齢（学年齢）別】

宿泊を伴う一時預かりの有無を子どもの年齢（学年齢）別にみると、「利用したい」は、1歳で最も多く、14.7%となっている。1～3歳で「利用したい」が多い傾向がみられる。



② 利用目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」と「保護者や家族の病気」が66.1%と最も多く、次いで「冠婚葬祭」が38.8%となっている。

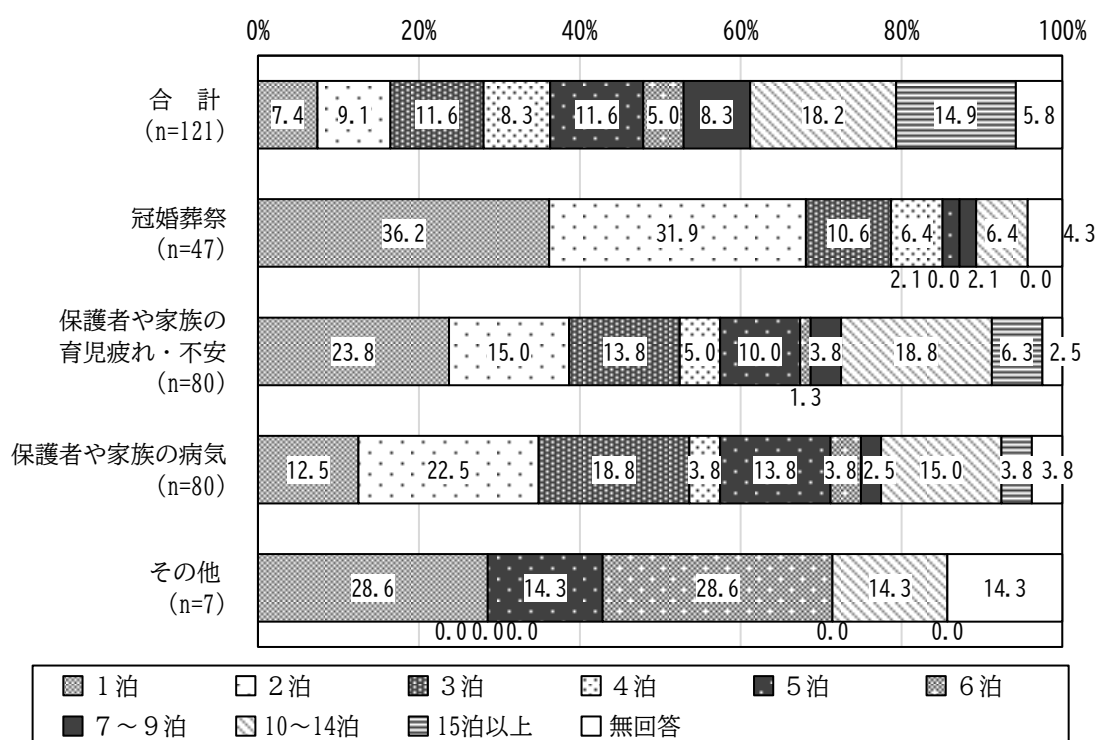


③ 泊数

「冠婚葬祭」は、「1泊」が36.2%と最も多く、次いで「2泊」が31.9%、「3泊」が10.6%となっている。

「保護者や家族の育児疲れ・不安」は、「1泊」が23.8%と最も多く、次いで「10～14泊」が18.8%、「2泊」が15.0%となっている。

「保護者や家族の病気」は、「2泊」が22.5%と最も多く、次いで「3泊」が18.8%、「10～14泊」が15.0%となっている。



10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

「10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について」は、2017年(平成29年)4月2日～2018年(平成30年)4月1日生まれのお子さんについて回答。

(1) 小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

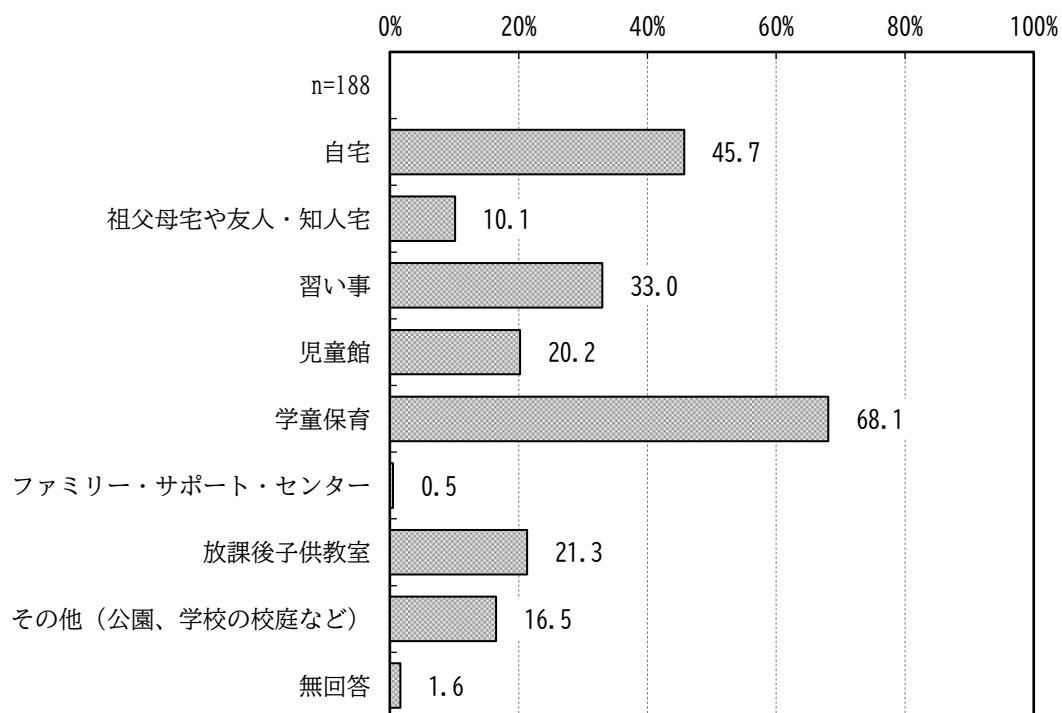
問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日(月～金)の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「5.学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時 のように24時間制でご記入ください。

① 希望する放課後の過ごし方

「学童保育」が68.1%と最も多く、次いで「自宅」が45.7%、「習い事」が33.0%となっている。

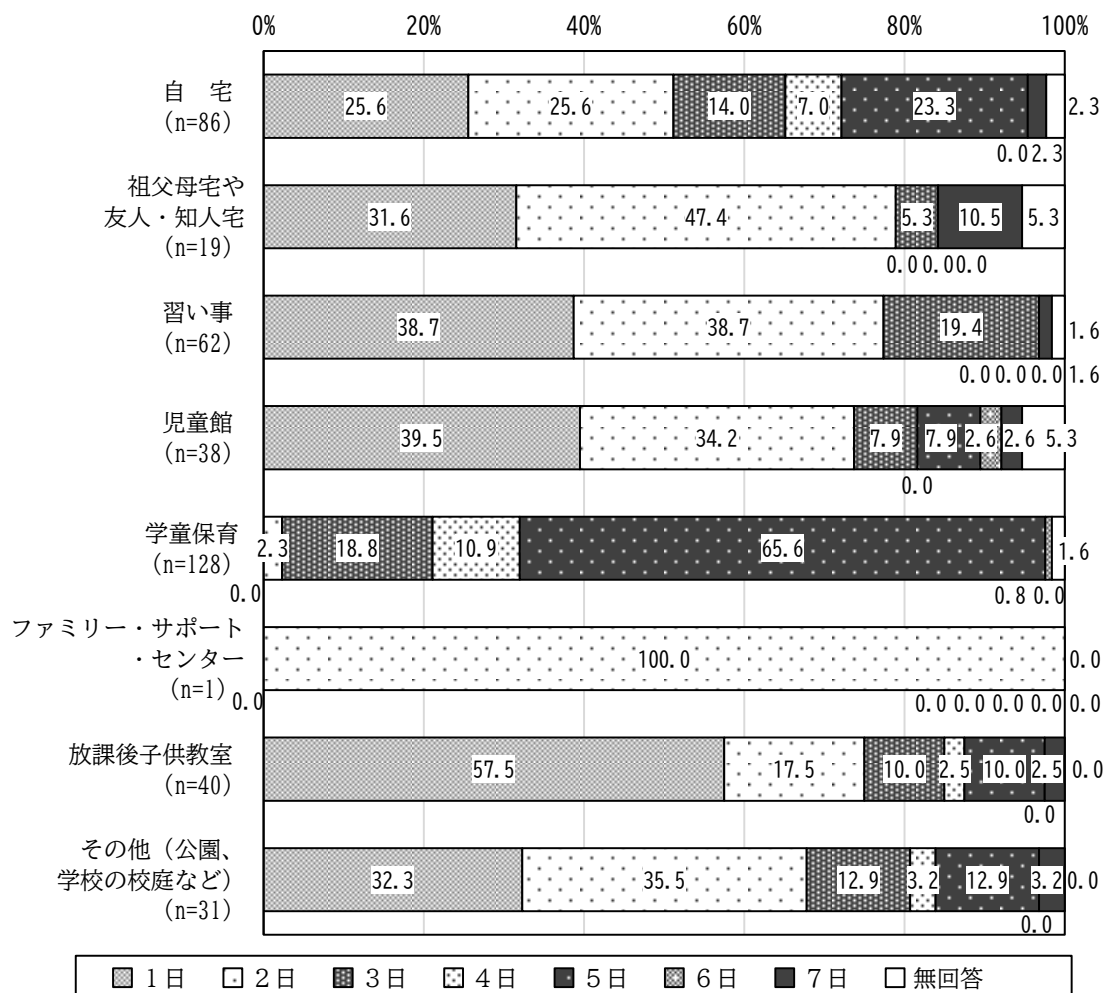


② 1週当たりの日数

「自宅」は、「1日」と「2日」が25.6%と最も多く、次いで「5日」が23.3%となっている。

「習い事」は、「1日」と「2日」が38.7%と最も多く、「3日」が19.4%となっている。

「学童保育」は、「5日」が65.6%と最も多く、次いで「3日」が18.8%、「4日」が10.9%となっている。

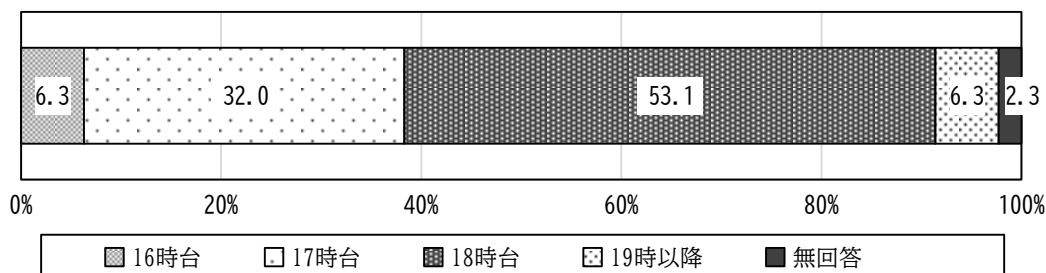


「③学童保育を下校時間から何時まで利用したいか」は、問26で「5.学童保育」を選択した方が回答。

③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

「18時台」が53.1%と最も多く、次いで「17時台」が32.0%、「16時台」「19時台」が6.3%となっている。

n=128

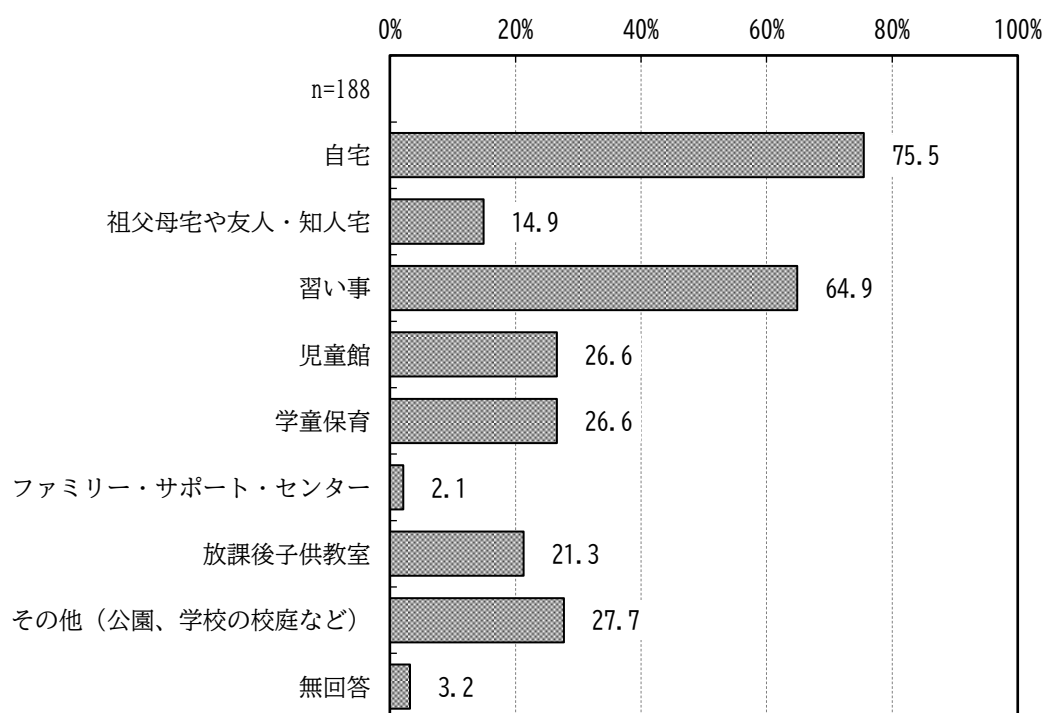


(2) 小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日(月～金)の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。
また、「5.学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。
時間は、必ず(例) 18時 のように24時間制でご記入ください。

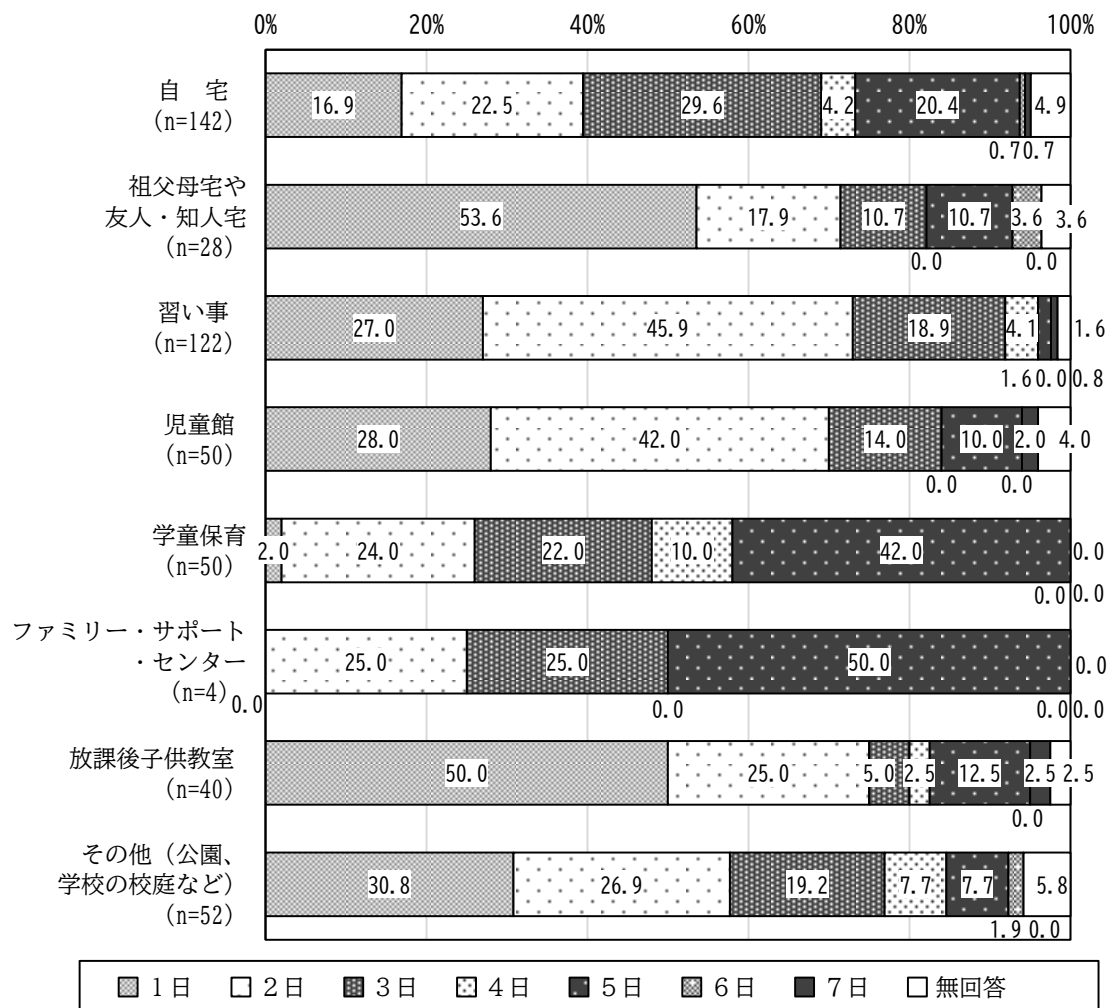
① 希望する放課後の過ごし方

「自宅」が75.5%と最も多く、次いで「習い事」が64.9%、「児童館」「学童保育」が26.6%となっている。



② 1週当たりの日数

「自宅」は、「3日」が29.6%と最も多く、次いで「2日」が22.5%、「5日」が20.4%となっている。「習い事」は、「2日」が45.9%と最も多く、次いで「1日」が27.0%、「3日」が18.9%となっている。「児童館」は、「2日」が42.0%と最も多く、次いで「1日」が28.0%、「3日」が14.0%となっている。「学童保育」は、「5日」が42.0%と最も多く、次いで「2日」が24.0%、「3日」が22.0%となっている。

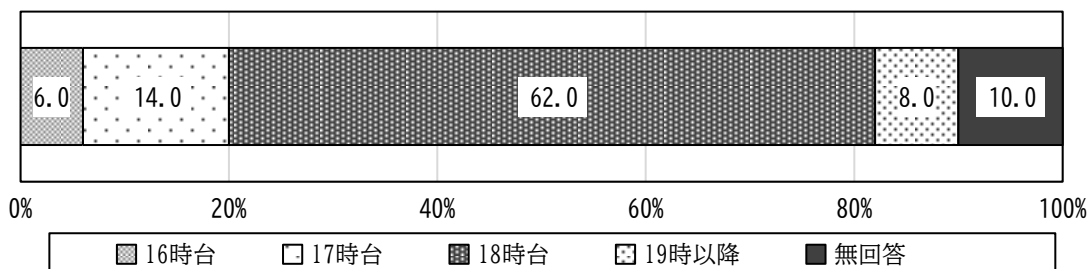


「③学童保育を下校時間から何時まで利用したいか」は、問27で「5.学童保育」を選択した方が回答。

③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

「18時台」が62.0%と最も多く、次いで「17時台」が14.0%、「19時台」が8.0%となっている。

n=50



(3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望

問 28 と問 29 は、問 26 または問 27 で「5. 学童保育」を選択した方が回答。

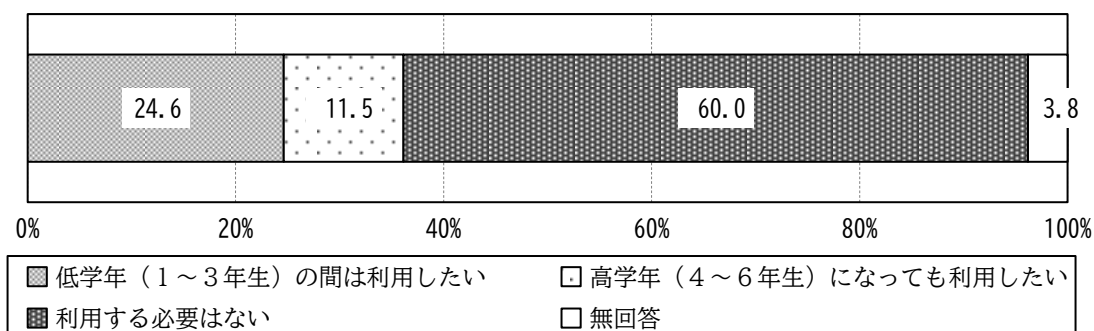
問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。
 (1) (2) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
 また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように 24 時間制でご記入
 ください。

【土曜日】

① 利用希望

「利用する必要はない」が60.0%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が24.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が11.5%となっている。

n=130

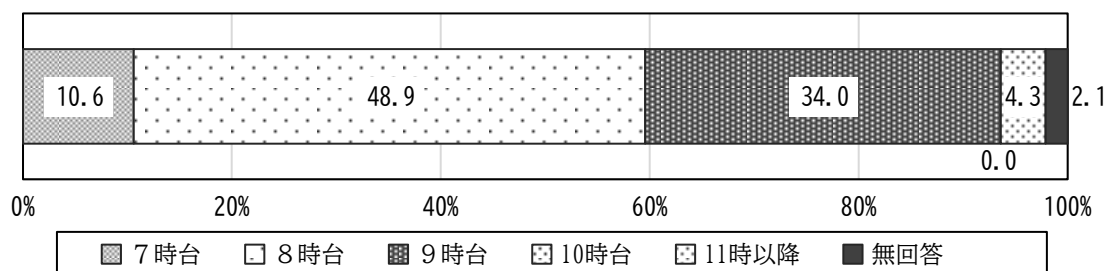


②利用開始時間と③利用終了時間は、①利用希望で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「高学年（4～6年生）になっても利用したい」のいずれかを選択した方が回答。

② 利用開始時間

「8時台」が48.9%と最も多く、次いで「9時台」が34.0%、「7時台」が10.6%となっている。

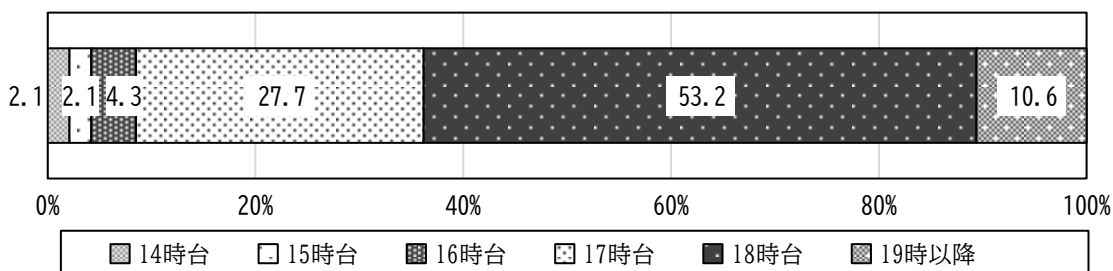
n=47



③ 利用終了時間

「18時台」が53.2%と最も多く、次いで「17時台」が27.7%、「19時台」が10.6%となっている。

n=47

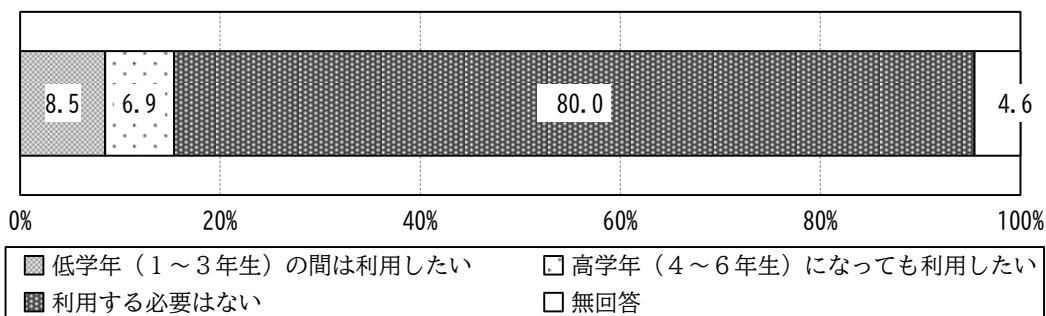


【日曜・祝日】

① 利用希望

「利用する必要はない」が80.0%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が8.5%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が6.9%となっている。

n=130

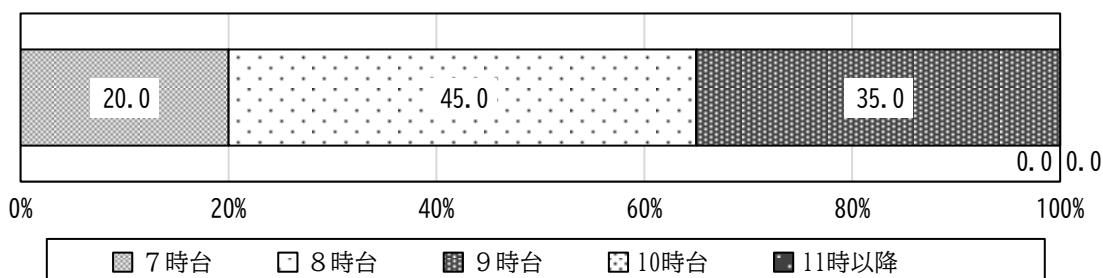


②利用開始時間と③利用終了時間は、①利用希望で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「高学年（4～6年生）になっても利用したい」のいずれかを選択した方が回答。

② 利用開始時間

「8時台」が45.0%と最も多く、次いで「9時台」が35.0%、「7時台」が20.0%となっている。

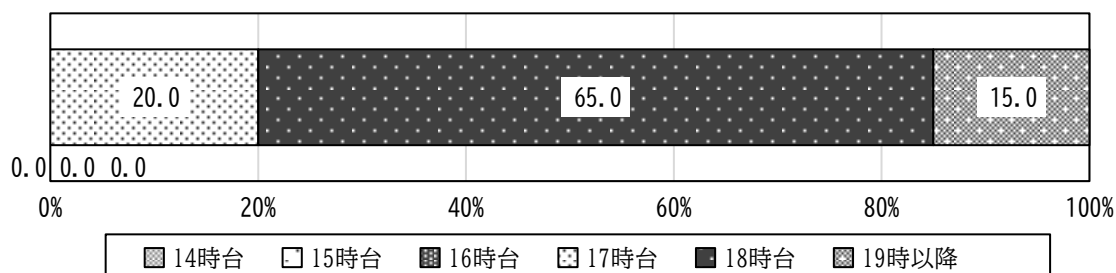
n=20



③ 利用終了時間

「18時台」が65.0%と最も多く、次いで「17時台」が20.0%、「19時以降」が15.0%となっている。

n=20



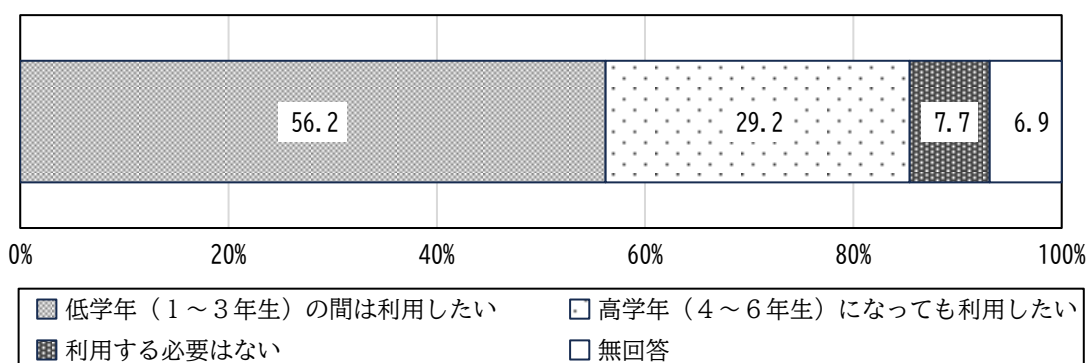
(4) 長期期間中の学童保育の利用希望

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

① 利用希望

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が56.2%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が29.2%、「利用する必要はない」が7.7%となっている。

n=130

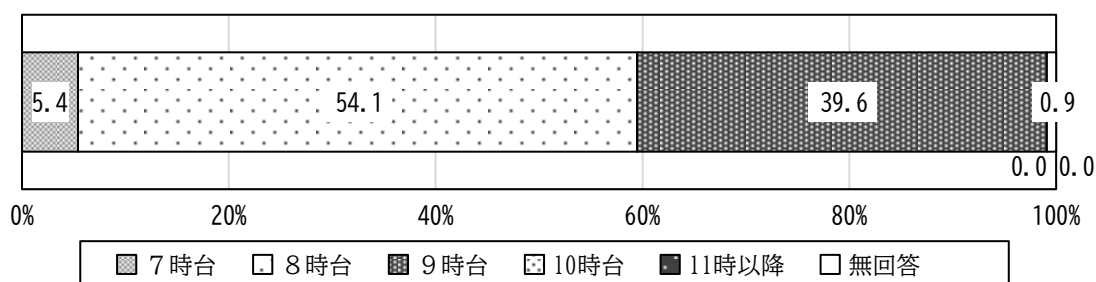


②利用開始時間と③利用終了時間は、①利用希望で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「高学年（4～6年生）になっても利用したい」のいずれかを選択した方が回答。

② 利用開始時間

「8時台」が54.1%と最も多く、次いで「9時台」が39.6%、「7時台」が5.4%となっている。

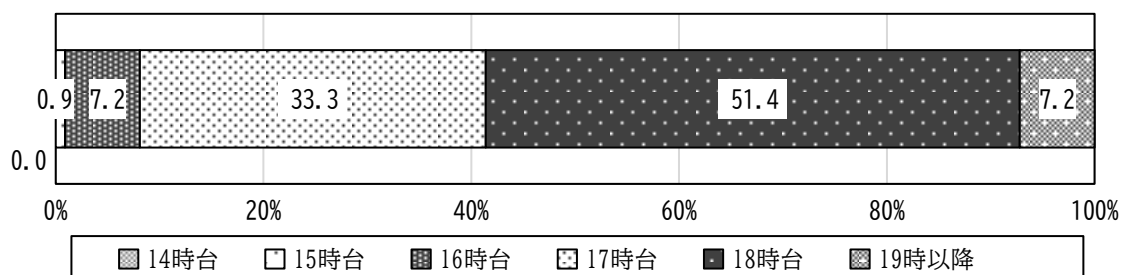
n=111



③ 利用終了時間

「18時台」が51.4%と最も多く、次いで「17時台」が33.3%、「16時台」「19時以降」が7.2%となっている。

n=111



11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況・取得していない理由

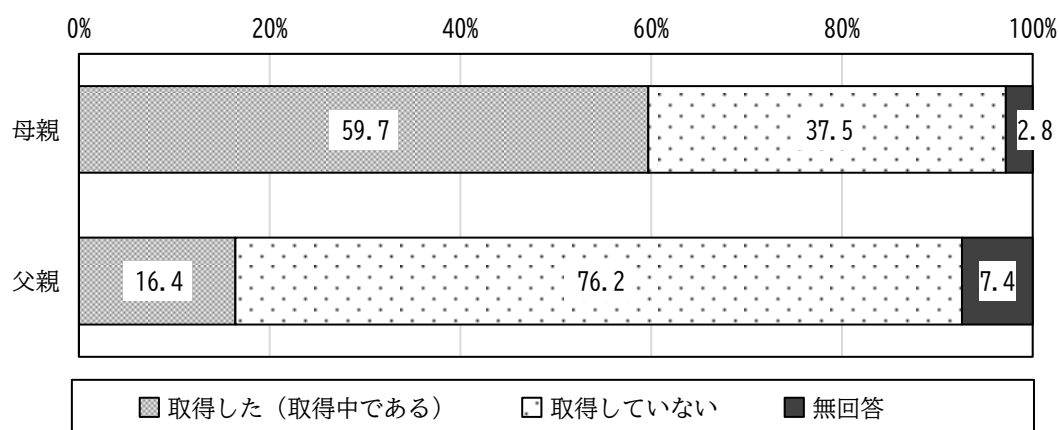
問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3.取得していない」を選んだ方はその理由を選択肢から選び、あてはまるものすべてをご記入ください。

① 育児休業を取得したか

母親では、「取得した(取得中である)」が59.7%、「取得していない」が37.5%となっている。

父親では、「取得した(取得中である)」が16.4%、「取得していない」が76.2%となっている。

n=1,042

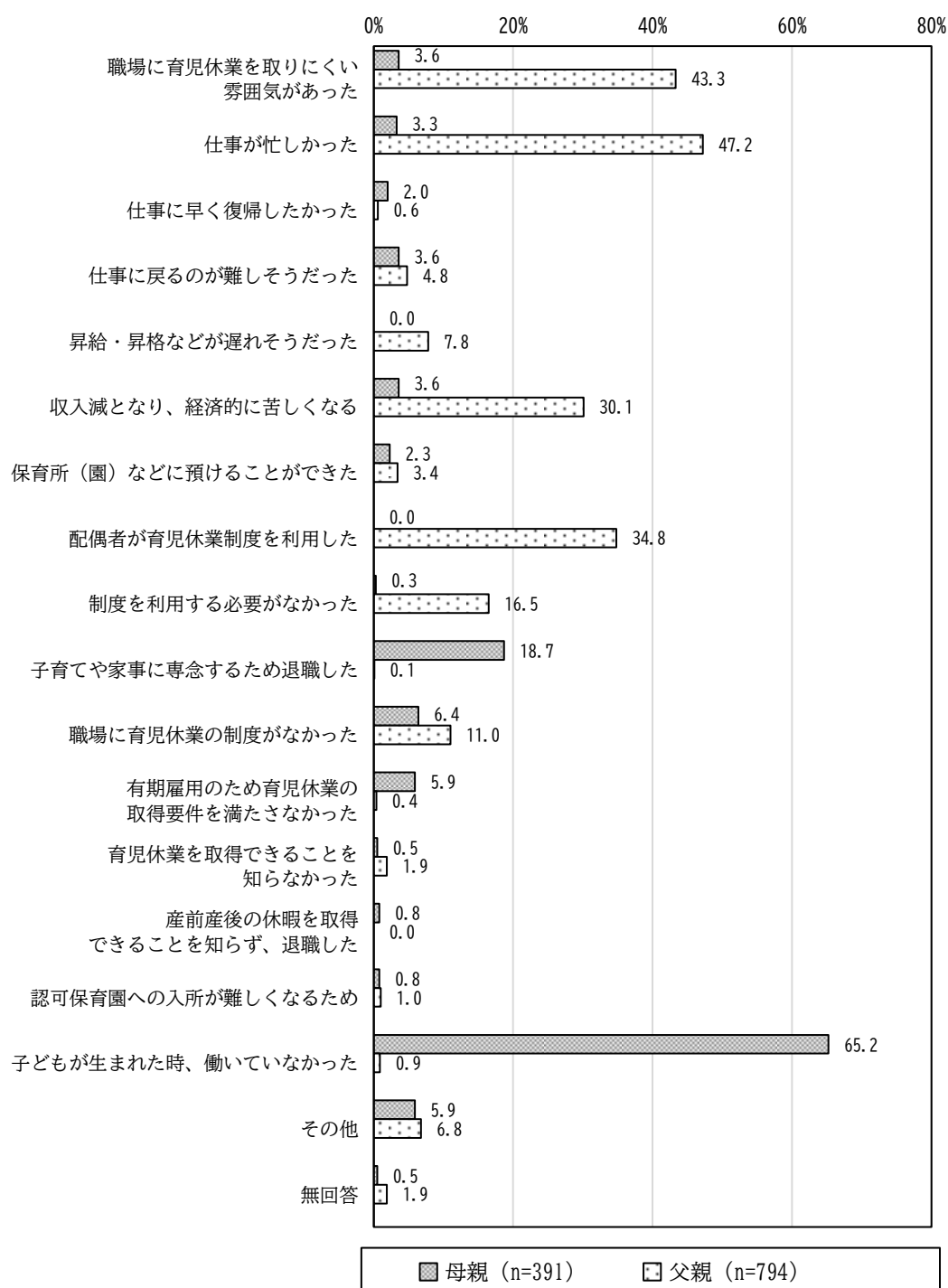


②取得していない理由は、①育児休業を取得したかで「2.取得していない」を選択した方が回答。

② 取得していない理由

母親は、「子どもが生まれた時、働いていなかった」が65.2%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が18.7%、「職場に育児休業の制度がなかった（（自営業等により）就業規則に定めがなかった）」が6.4%となっている。

父親は、「仕事が忙しかった」が47.2%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が43.3%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が34.8%となっている。

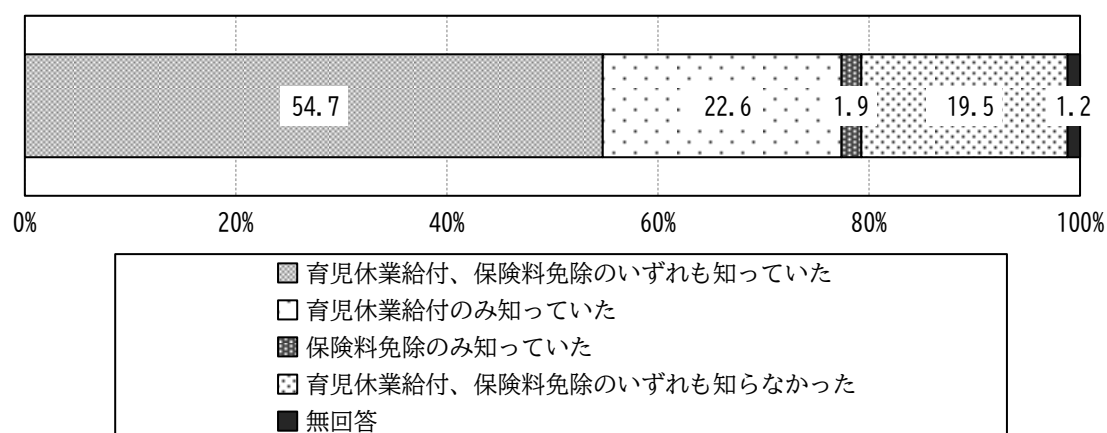


(2) 育児休業給付・保育料免除の認知状況

問 30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が54.7%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が22.6%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が19.5%となっている。

n=1,042



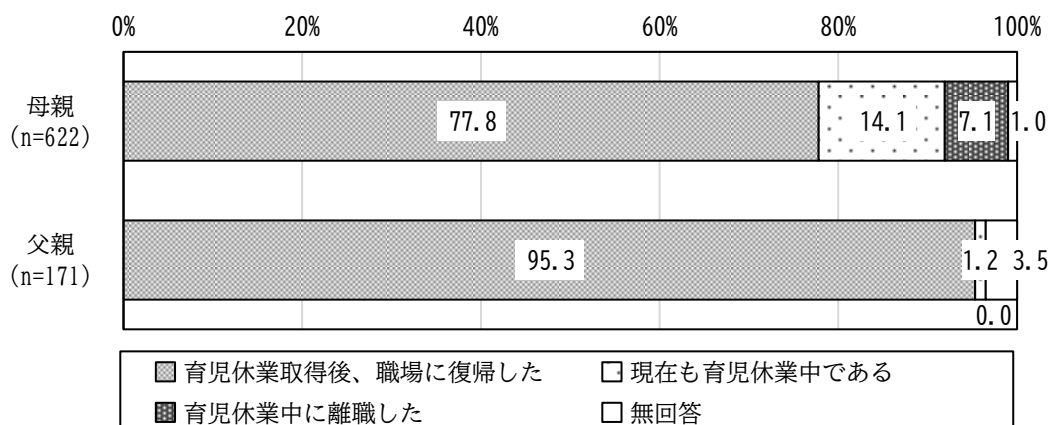
(3) 育児休業取得後の職場復帰

問 30-2 は、問 30①育児休業を取得したかで「1.取得した(取得中である)」を選択した方が回答。

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が77.8%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が14.1%、「育児休業中に離職した」が7.1%となっている。

父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が95.3%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が1.2%となっている。



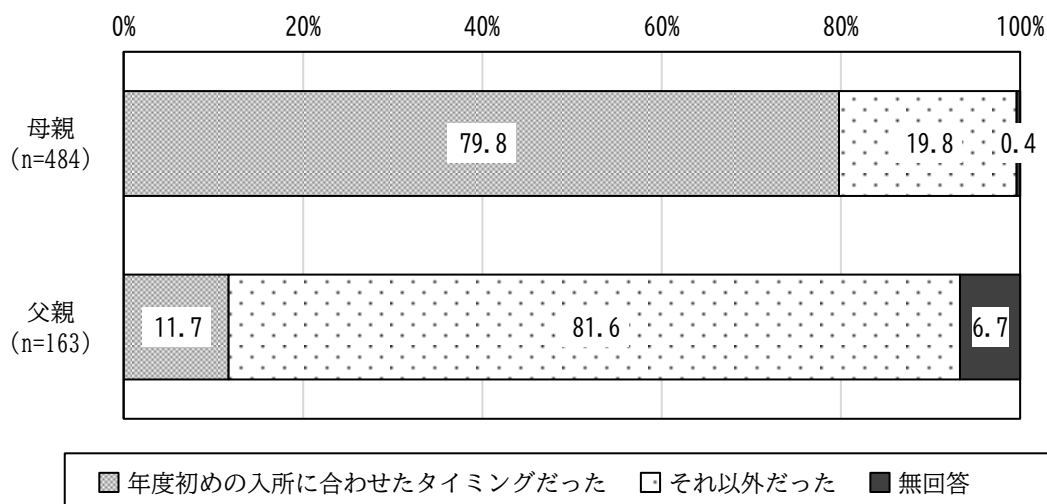
(4) 職場復帰の時期

問 30-3 から問 30-5 は、問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方が回答。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。
また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 79.8%、「それ以外だった」が 19.8%となっている。

父親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 11.7%、「それ以外だった」が 81.6%となっている。



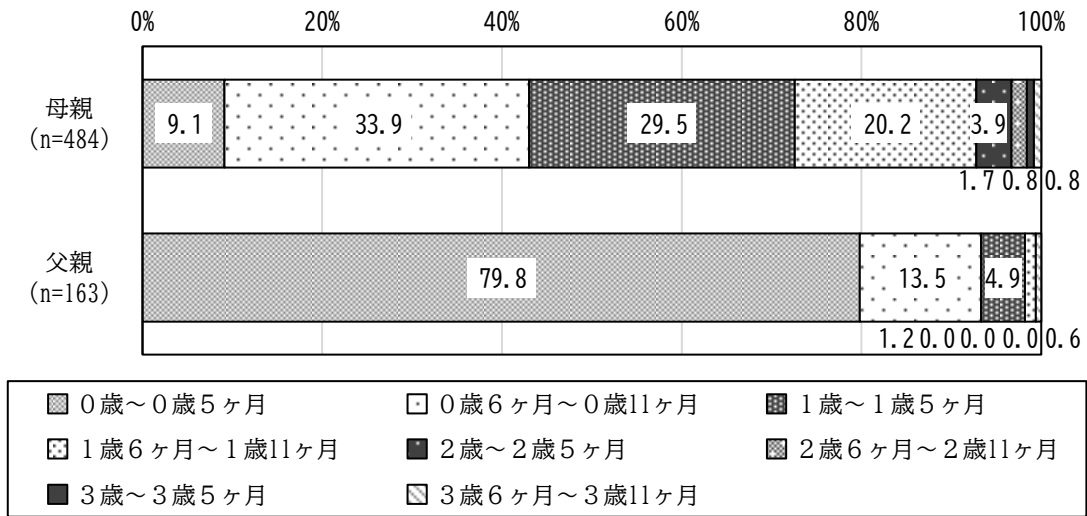
(5) 職場復帰時の子どもの年齢と希望時期

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。
1ヵ月未満の場合は日数をご記入ください。

① 実際の復帰時期

母親は、「0歳6ヶ月～0歳11ヶ月」が33.9%と最も多く、次いで「1歳～1歳5ヶ月」が29.5%、「1歳6ヶ月～1歳11ヶ月」が20.2%となっている。

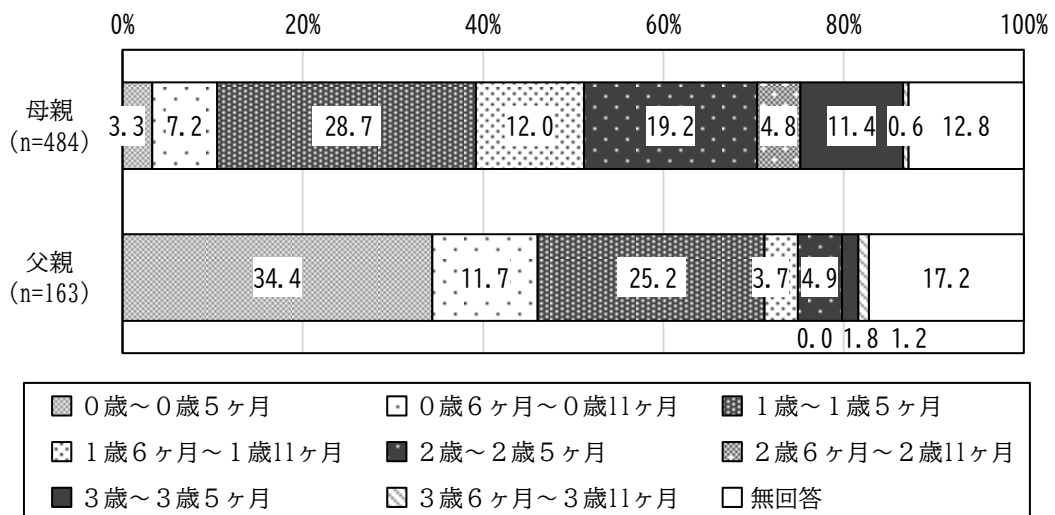
父親は、「0歳～0歳5ヶ月」が79.8%と最も多く、次いで「0歳6ヶ月～0歳11ヶ月」が13.5%、「1歳～1歳5ヶ月」が4.9%となっている。



② 希望の復帰時期

母親は、「1歳～1歳5ヶ月」が28.7%と最も多く、次いで「2歳～2歳5ヶ月」が19.2%、「1歳6ヶ月～1歳11ヶ月」が12.0%となっている。

父親は、「0歳～0歳5ヶ月」が34.4%と最も多く、次いで「1歳～1歳5ヶ月」が25.2%、「0歳6ヶ月～0歳11ヶ月」が11.7%となっている。

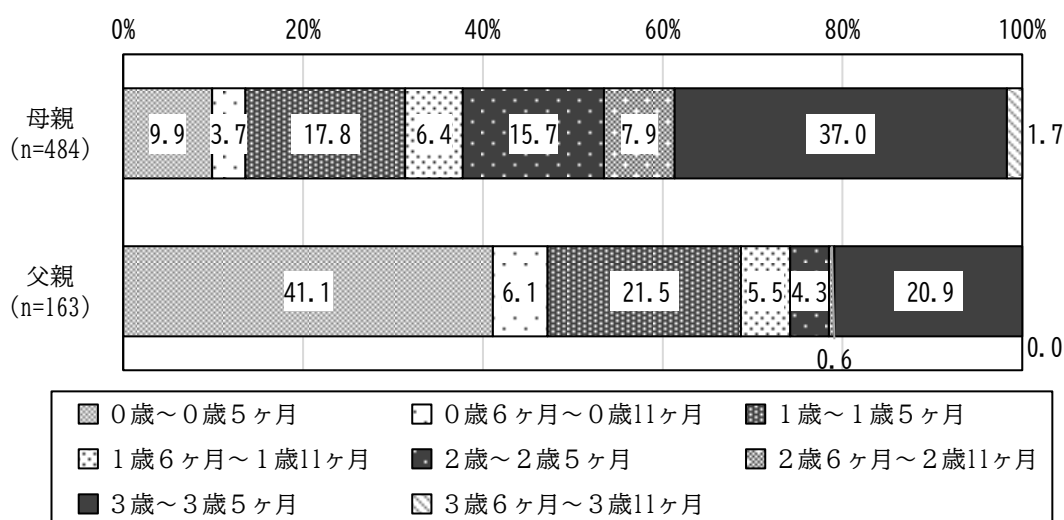


(6) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字をご記入ください。

母親は、「3歳～3歳5ヶ月」が37.0%と最も多く、次いで「1歳～1歳5ヶ月」が17.8%、「2歳～2歳5ヶ月」が15.7%となっている。

父親は、「0歳～0歳5ヶ月」が41.1%と最も多く、次いで「1歳～1歳5ヶ月」が21.5%、「3歳～3歳5ヶ月」が20.9%となっている。



(7) 希望の時期に職場復帰できなかった理由

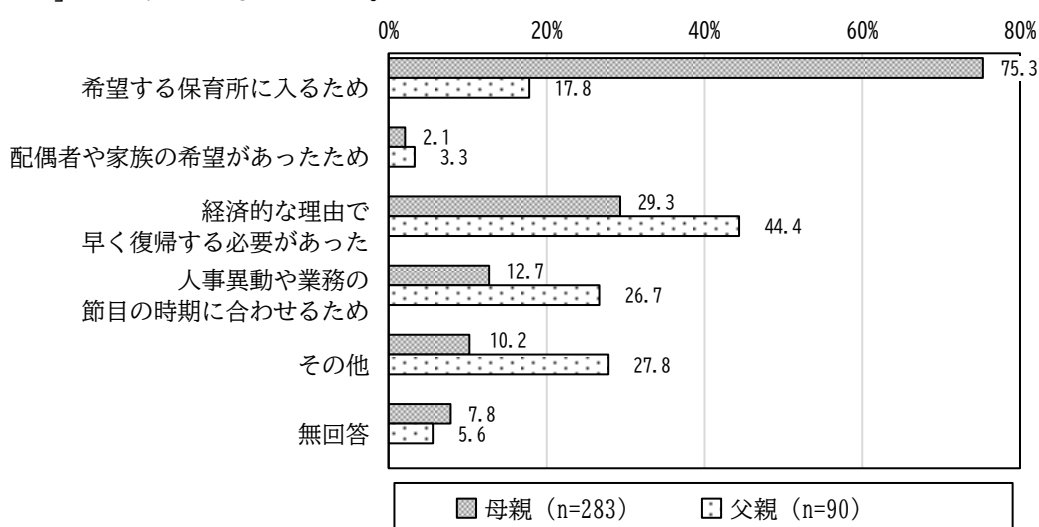
問 30-6 は、問 30-4 で「①実際の復帰時期」と「②希望の復帰時期」が異なる方が回答。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 希望より早く復帰した方

母親は、「希望する保育所に入るため」が75.3%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が29.3%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が12.7%となっている。

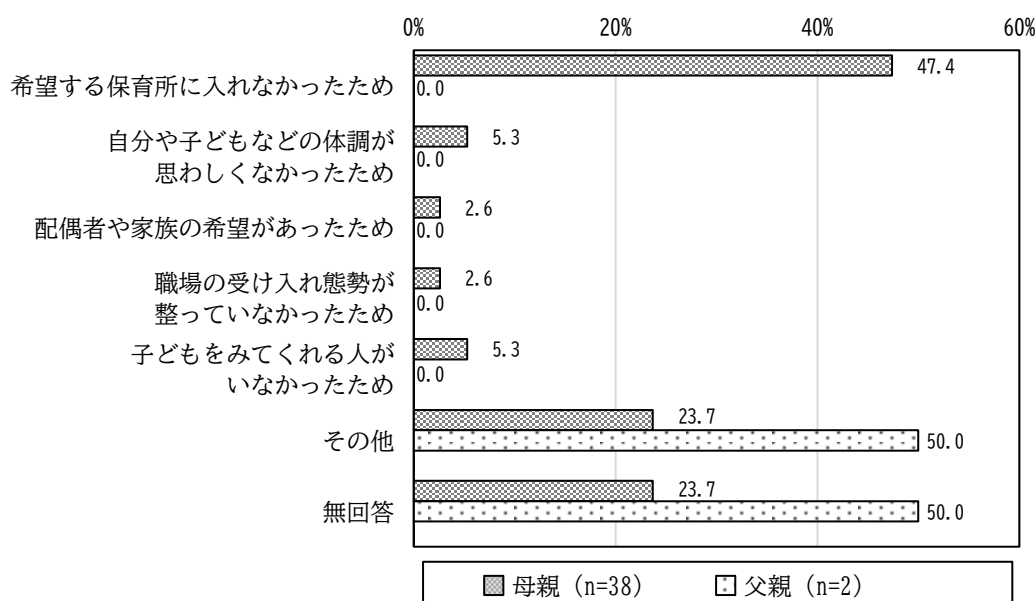
父親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が44.4%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が26.7%、「希望する保育所に入るため」が17.8%となっている。



② 希望より遅く復帰した方

母親は、「希望する保育所に入れなかったため」が47.4%と最も多く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」が5.3%となっている。父親は、「その他」が50.0%となっている。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



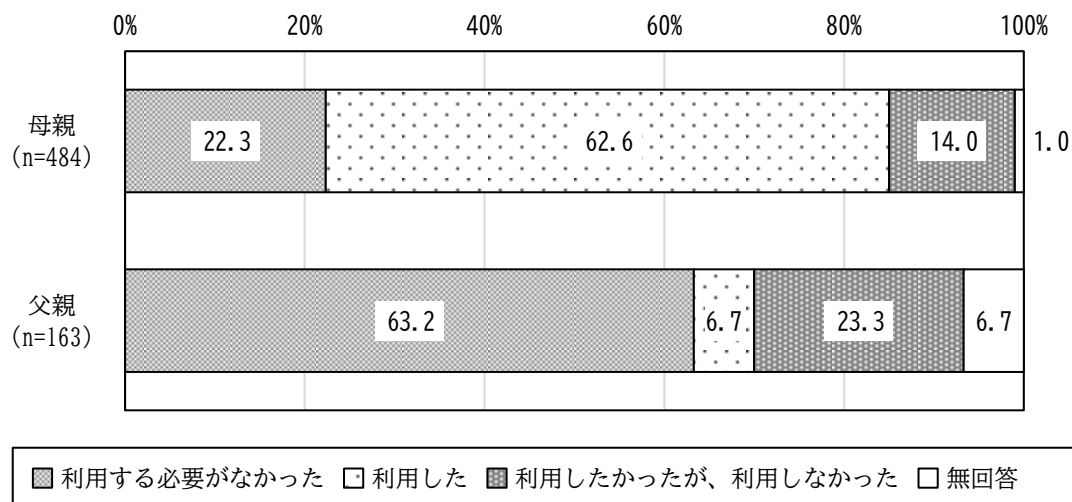
(8) 短時間勤務制度の利用の有無

問 30-7 は、問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方が回答。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親は、「利用した」が 62.6% と最も多く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 22.3%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 14.0% となっている。

父親は、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 63.2% と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 23.3%、「利用した」が 6.7% となっている。



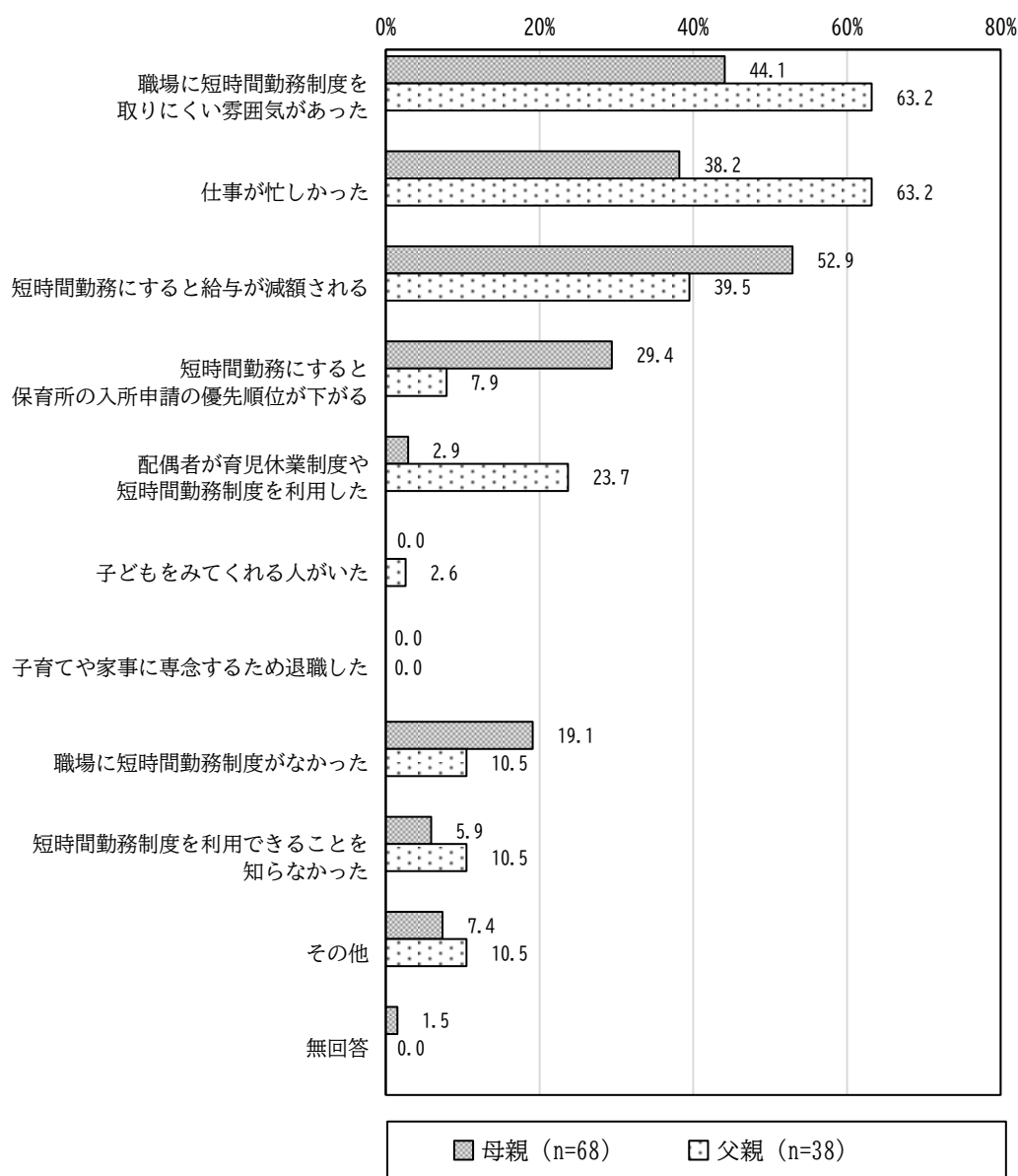
(9) 短時間勤務制度を利用できなかった理由

問30-8は、問30-7で「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」を選択した方が回答。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
 当てはまる理由すべてに○をつけてください。

母親は、「短時間勤務にすると給与が減額される」が52.9%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が44.1%、「仕事が忙しかった」が38.2%となっている。

父親は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と「仕事が忙しかった」が63.2%と最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が39.5%となっている。



(10) 必ず利用できる事業があった場合の、1歳になるまでの育児休業取得希望

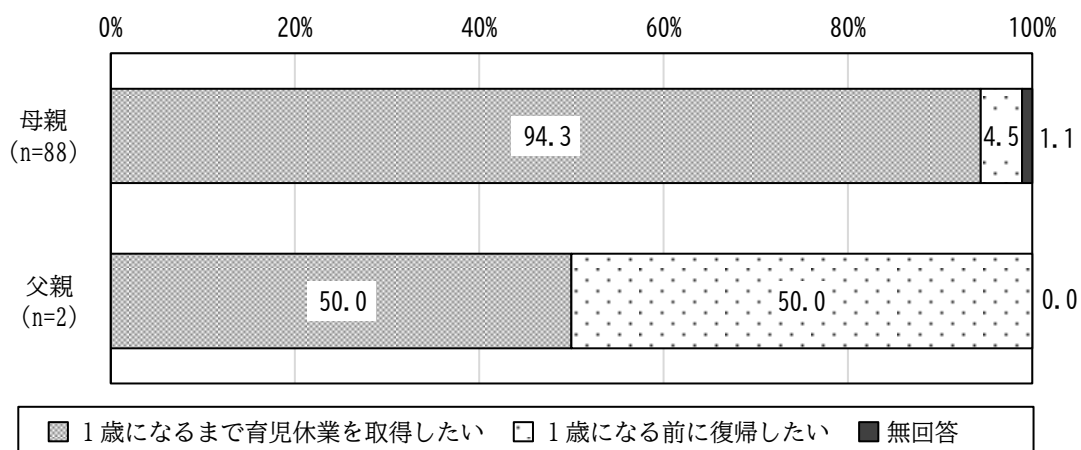
問30-9は、問30-2で「2.現在も育児休業中である」を選択した方が回答。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。
または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が94.3%、「1歳になる前に復帰したい」が4.5%となっている。

父親は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と「1歳になる前に復帰したい」がそれぞれ50.0%となっている。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



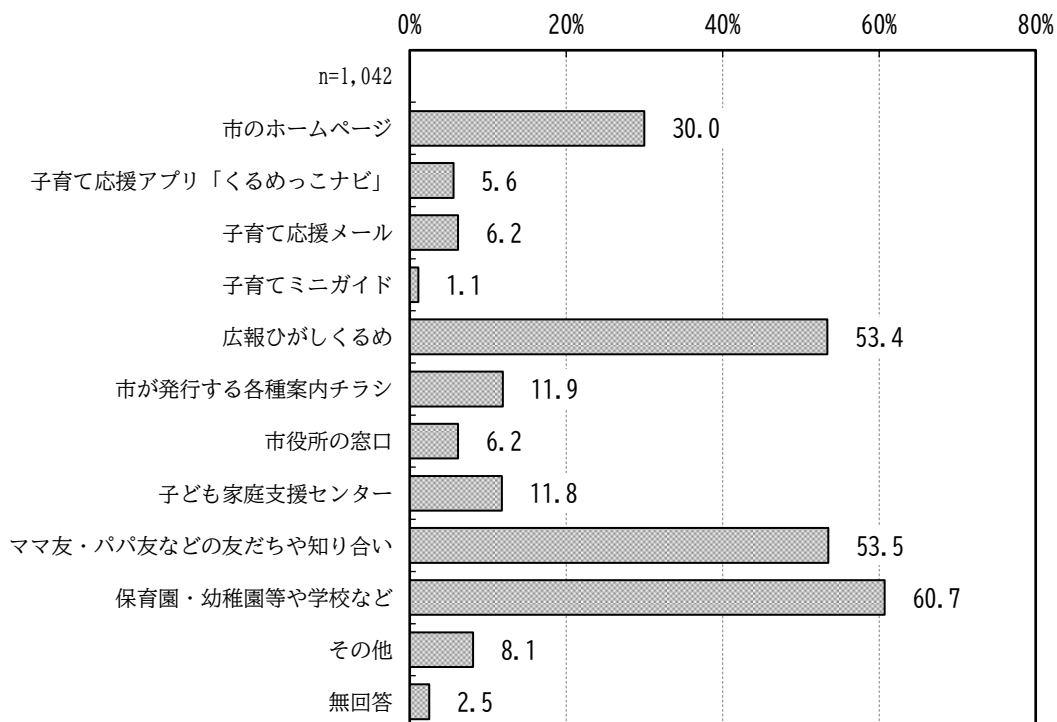
12. 子育て情報の入手方法、子育て支援への満足度やご意見について

(1) 子育て情報の入手方法

問31 子育てに関する情報を具体的にどのような方法で得ていますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

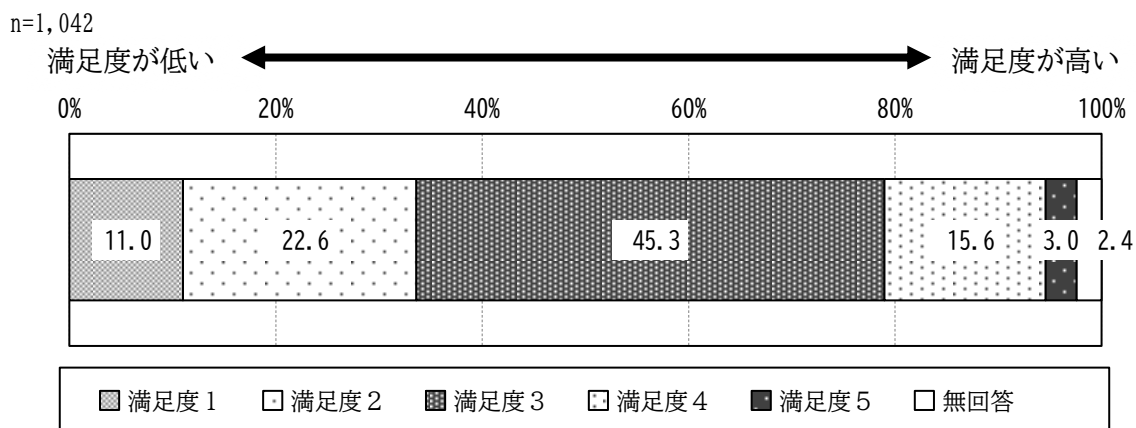
「保育園・幼稚園等や学校など」が60.7%と最も多く、次いで「ママ友・パパ友（子育てを通じた友人）などの友だちや知り合い（口コミ）」が53.5%、「広報ひがしくるめ」が53.4%となっている。



(2) 東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度

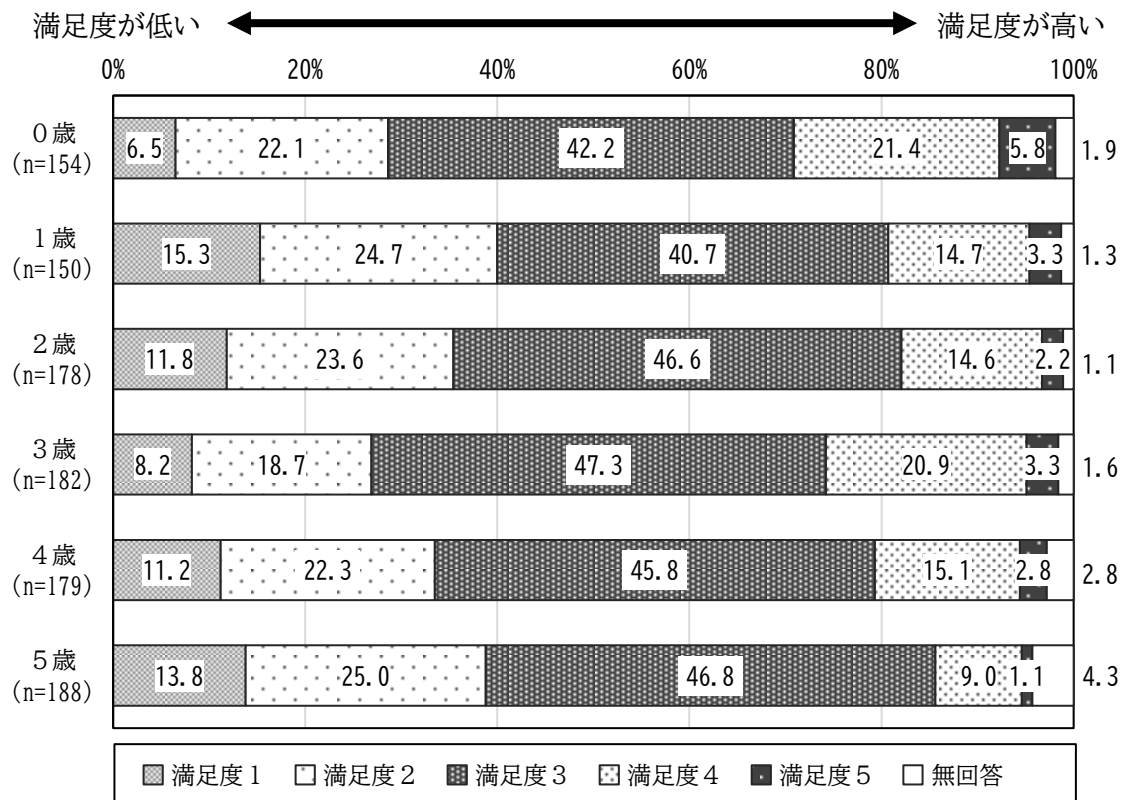
問 32 東久留米市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「満足度3」が45.3%と最も多く、次いで「満足度2」が22.6%、「満足度4」が15.6%となっている。



【東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度－子どもの年齢（学年齢）別】

東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度を子どもの年齢（学年齢）別にみると、0歳と3歳で満足度が高い傾向がみられる。



(3) 自由意見

問 33 最後に、今後の参考にするため、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

594 名の方から自由意見が寄せられた。一部の意見を掲載する（文意を変えない程度に、表記等を整理しています）。

【幼児教育に関する意見】

- ・自宅近くに幼稚園が少なく、選択肢が少ないので、清瀬みたいに幼稚園がたくさんあったら良かったです。
- ・私立幼稚園の補助金を増やしてほしいです。子どもの医療費助成制度の所得制限をなくし、高校卒業まで無料化してほしいです。

【保育に関する意見】

- ・子どもが2人おります。2人とも保育園に通っておりますが、保育園が別々で違うところに通っています。兄弟で同じ保育園に通えるよう、環境を整えて頂きたいです。
- ・子供が産まれてから、手厚い支援（助産師訪問など）がありとても安心して過ごせました。金銭的に余裕がなく、子供を保育園に入れて働きたいと思っておりますが、空きがなければ働き始められません。もっと保育園が増えたり、就活のポイントがもっと高かったらいいと思います。
- ・10年ぶりの子どもを保育園に入れたら、5人目だからと保育料を免除して頂き、それまで納付した分も返金され、とても助かりました。子育ては高校～大学が一番金銭的にキツイので、そこまですべて子育てと見てほしいと願います。
- ・小規模保育園卒園後の預け先があるのか不安なので、保育園の3歳児クラス4月入園の人数枠を増やしてほしいです。
- ・ASD や ADHD など身体に問題はなくても発達障害を持つ子供が安心して保育園や小学校に通うために日常生活をサポートしてくれる大人を配置できるような体制を希望します。まだうちの子は保育園児で再来年の就学予定です。発達障害を持っていて現在の保育園では先生方の手厚いサポートでなんとか生活ができていますので小学校は普通級にするのか支援級にするのか悩んでいます。上記のようなサポートがあると分かれば悩まずに安心して小学校に通わせられるので検討をお願いします。

【時間外保育に関する意見】

- ・幼稚園や小学校の下校時間後に、子どもを預けやすい仕組みがもっと充実すれば、私のようにワンオペ育児をしているママ達が働きやすくなると思います。現状、ワンオペ育児をしているママ達で、働くことを諦めざるを得ない方々がたくさんいらっしゃいます。そんな方々が、少しでも働きやすくなるようなサービスをご提供頂けたら幸いです。よろしく願いいたします。
- ・職業が多様化しているので、土、日、祝日も子供を預かってもらえる環境を作りたいです。

【学童保育に関する意見】

- ・学童保育の定員を増やしてほしい。子どもが小さいうちは家に1人しておくのが不安。
- ・学童が3年生（希望者全員入所できないのも含め）ぐらいまでしか入所できないことに不安を感じています。そのことに合わせ仕事をどうするか考える必要があり、仕事の選択肢が狭まる印象があります。昨今の世情から、子どもだけ留守をさせることに心配をぬぐえませんが、父母が働くことが当たり前になってきている今、親も子どもも安心して生活・仕事ができる環境を望みます。

【地域子育て支援拠点に関する意見】

- ・3年前はコロナ禍で、子育て支援などほぼ参加できず、家庭の中でやりくりするしかなかったですが、今年になってやっと児童館や家庭支援センターを利用することができ、気分転換できました。現在は児童館での行事にも時々参加して楽しんでいます。健診や講座等が主にわくわくプラザで行われているので、上の原からだとしんどく不便だなどと思います。分散して市役所等でやって頂けると助かります。
- ・児童館がすぐ側にないので近くに欲しい。子どもが赤ちゃんの頃、自転車の移動が難しい時期、雨の日でも行きやすい場所にあったら助かったと思う。

【子育て援助活動支援に関する意見】

- ・所得に関係なく、子供18歳未満の医療費を免除してほしい。所得によって、同じ子供なのに医療負担が異なるのはおかしい。
- ・もう少し給付金があればもっと生活に余裕が出ると思います。幼稚園などにも給付金があればより良い保育環境になり沢山のことが出来ると思います。母親にも保険料減額制度があればと思います。子供を産みやすくするために出産手当をもう少し増額してもらえると助かります。
- ・ファミリーサポートの需要と供給の割合が解りずらく、利用したくともできない状況であった。もっとお互いにマッチしやすい、解りやすい、利用しやすい制度にしないと、登録してヤル気のある方々にも申し訳ないことになっているのではないかと。安全面に配慮しての事だとは解るが、柔軟性に欠ける面もあるのではないかと感じる。
- ・入学お祝い金などの名目でクーポンでもいいので援助があると嬉しいです。保育士さんにとってもお世話になっているので、助成金や補助金制度を充実させてほしいです。

【一時預かりに関する意見】

- ・認可保育園の一時預かりについて、3歳以上（他の幼稚園に行っている子供）でも利用できるようになると利用しやすい。親の介護等があり、不定期で利用したいこともあり、幼稚園の預かり保育だけだと、急遽預けたい時に預けられないため。
- ・保育所の一時預かり事業は非常に助かっています。私的な理由（通院や育児疲れ）でも利用できることがありがたいので、今後も続けてほしいです。

【病児保育に関する意見】

- ・病児保育ができる場所が東久留米駅付近と、かなり限られている。もう少し数が欲しい。子供が0～2才の頃は発熱との戦いで、仕事と育児の両立には、病児保育してくれる所が本当に命綱の様だったです。
- ・フルタイムで仕事をしている際、どうしても子供が小さい内は病気にかかりやすく祖父母に預けています。けれど、祖父母も高齢で負担をかけたくありません。東久留米でもう少し病児保育の枠を増やしていただき予約をとりやすくしたいです。

【相談支援・情報提供に関する意見】

- ・どこの市もおんなじですが、ちょっとした利用もしやすくするために、一時保育や長時間の保育園など行っている分野、施設別にわかりやすい一覧と連絡先をまとめて常に掲載されていると良いのかなと思います。上の原に住んでいるので、バスの送迎がある幼稚園などはそこは送迎しているいないなどもわかると助かります。
- ・高齢出産で第一子出産（初産）の場合、子育て支援センターやコミュニティへの参加がしずらく、育児情報を得るのに不安やとまどいが多々ある為、そういった人々を対象に集会や情報交換の場を提供して欲しい。

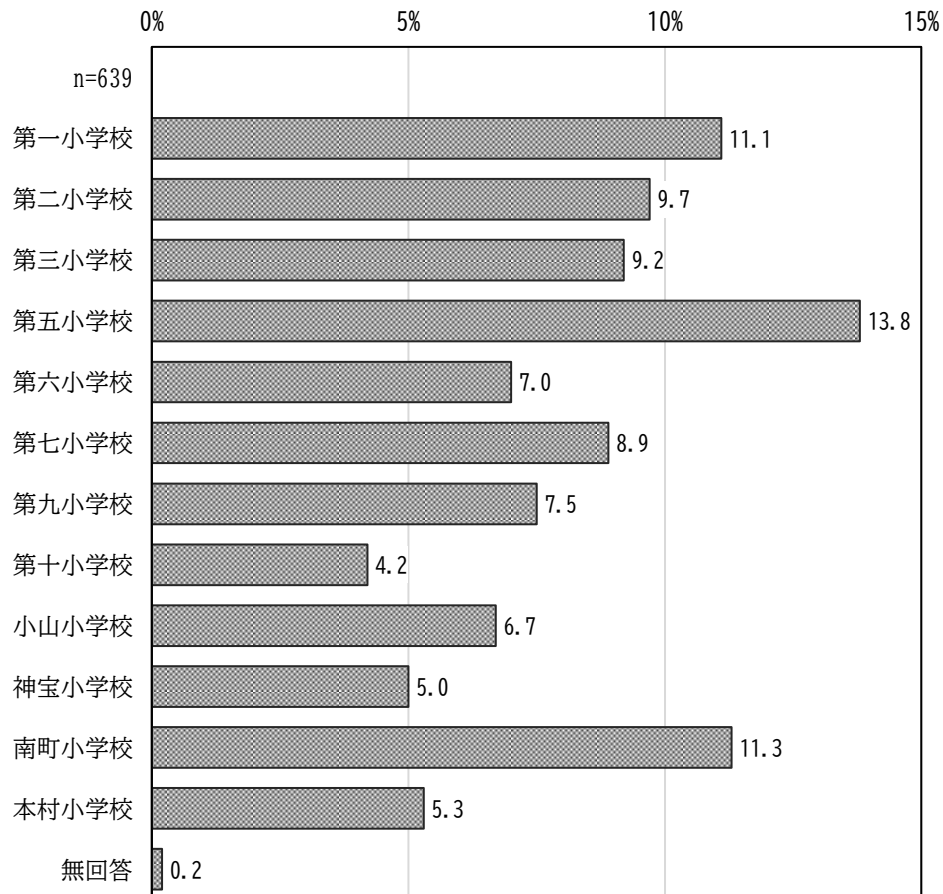
Ⅲ. 就学児童（小学校2年生）調査の結果

1. お住まいの地域について

(1) 通っている小学校

問1 お子さんが通っている学校はどこですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

「第五小学校」が13.8%と最も多く、次いで「南町小学校」が11.3%、「第一小学校」が11.1%となっている。



2. ご家族の状況について

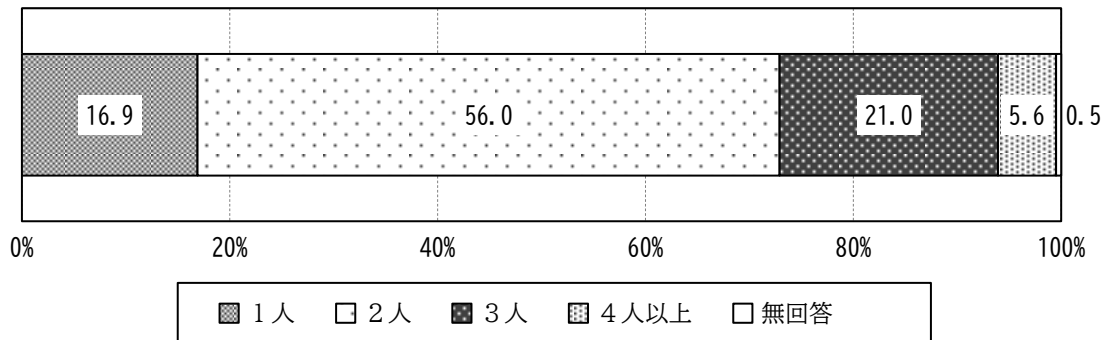
(1) きょうだいの数・末子の年齢

問2 小学2年生のお子さんは何人きょうだいですか。
 小学2年生のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。
 お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入
 ください。

① きょうだいの数

「2人」が56.0%と最も多く、次いで「3人」が21.0%、「1人」が16.9%となっている。

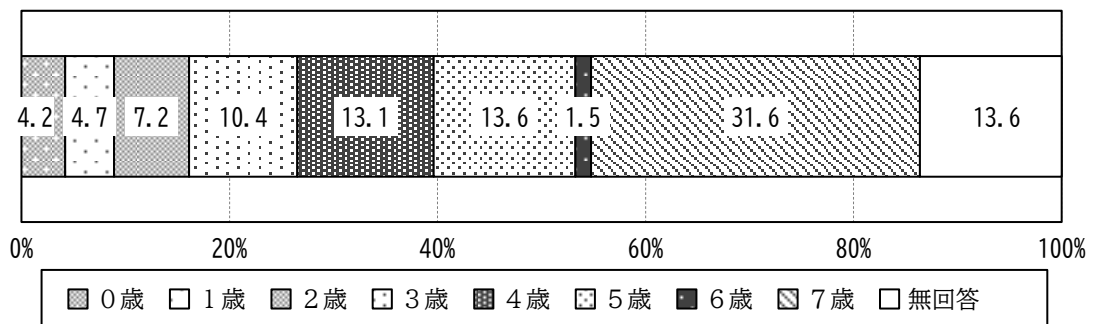
n=639



② 末子の年齢

「7歳」が31.6%と最も多く、次いで「5歳」が13.6%、「4歳」が13.1%となっている。

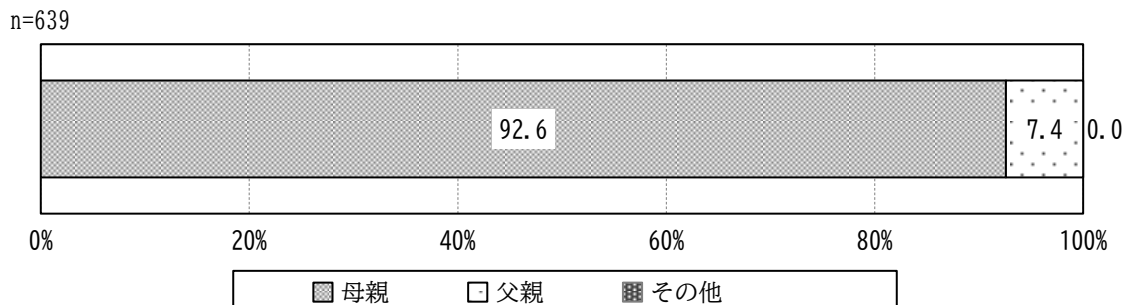
n=528



(2) 調査票の回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
小学2年生のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

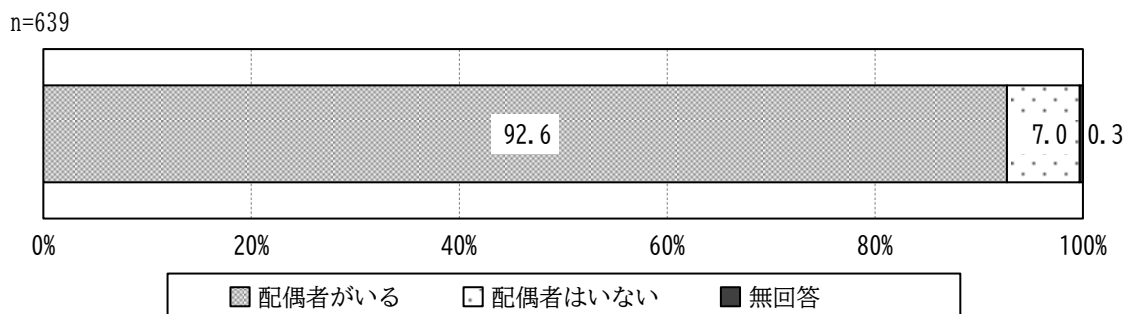
「母親」が92.6%、「父親」が7.4%となっている。



(3) 調査票の回答者の配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

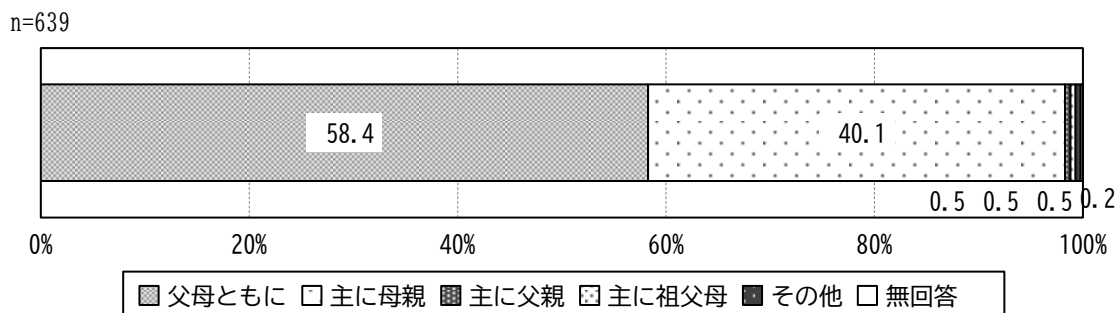
「配偶者がいる」が92.6%、「配偶者がいない」が7.0%となっている。



(4) 子育てを主に行っている人

問5 小学2年生のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が58.4%と最も多く、次いで「主に母親」が40.1%、「主に父親」「主に祖父母」が0.5%となっている。



3. 保護者の働き方について

(1) 保護者の就労状況

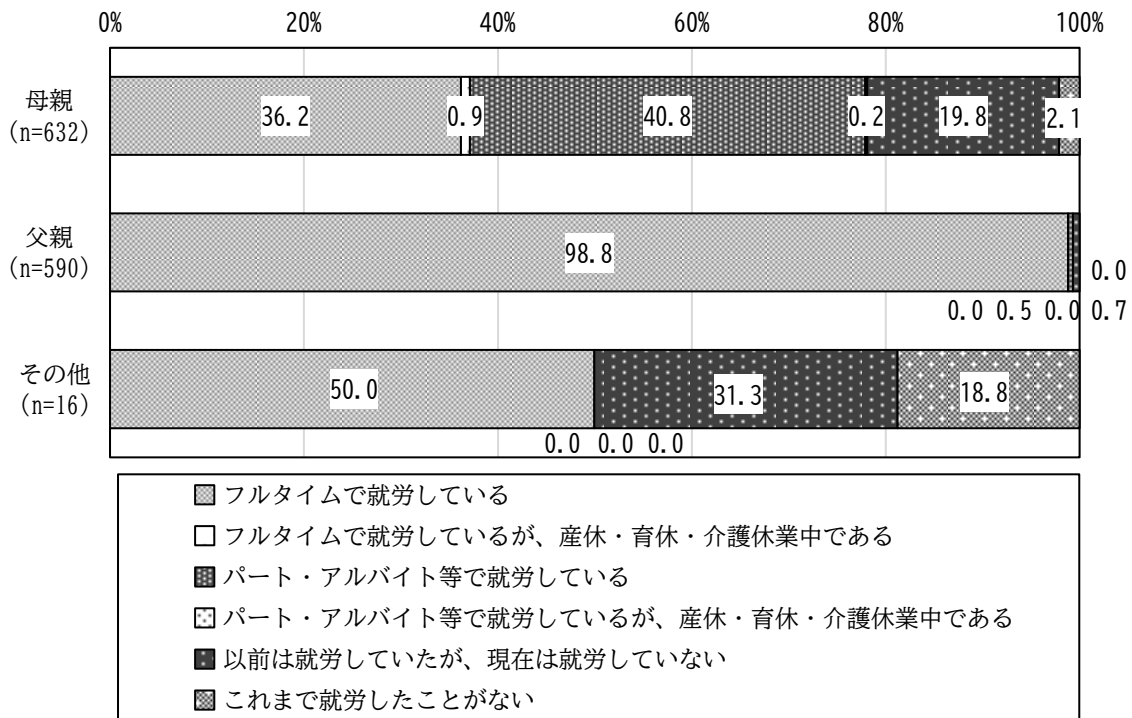
① 就労状況

問6(1) 小学2年生のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親は、「パート・アルバイト等で就労している」が40.8%と最も多く、次いで「フルタイムで就労している」が36.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が19.8%となっている。

父親は、「フルタイムで就労している」が98.8%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.7%、「パート・アルバイト等で就労している」が0.5%となっている。

その他の保護者は、「フルタイムで就労している」が50.0%と最も多く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が31.3%。「これまで就労したことがない」が18.8%となっている。



② 就労日数・就労時間

問6(2)と問6(3)は、問6(1)で「1.フルタイムで就労している」から「4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選択した方が回答。

問6(2) 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

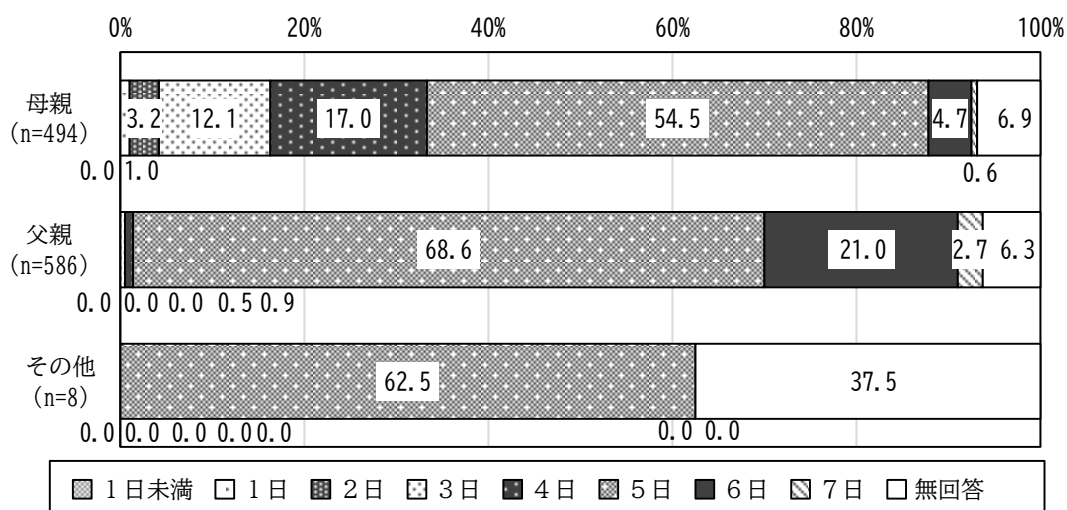
【1週当たりの就労日数】

母親は、「5日」が54.5%と最も多く、次いで「4日」が17.0%、「3日」が12.1%となっている。

父親は、「5日」が68.6%と最も多く、次いで「6日」が21.0%、「7日」が2.7%となっている。

その他の保護者は、「5日」が62.5%となっている。

※ “その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



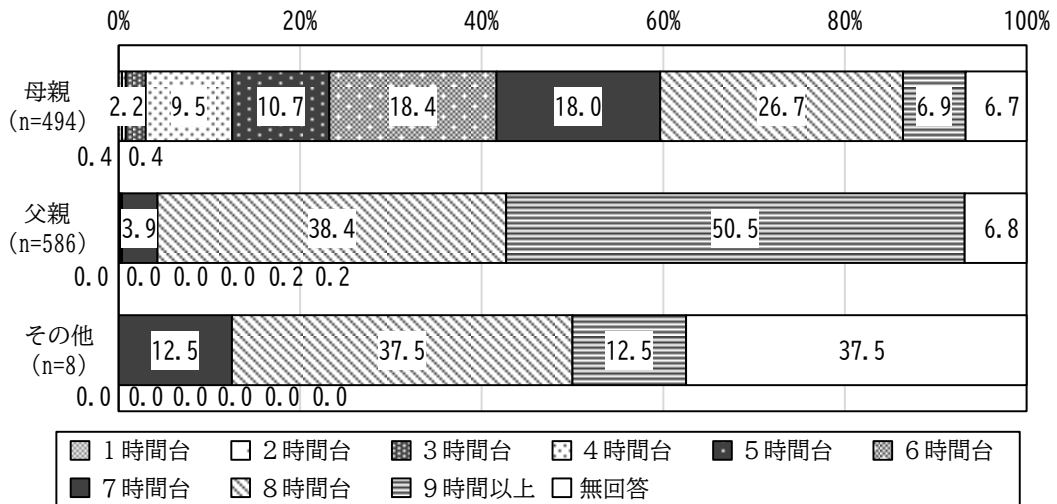
【1日当たりの就労時間（残業時間も含む）】

母親は、「8時間台」が26.7%と最も多く、次いで「6時間台」が18.4%、「7時間台」が18.0%となっている。

父親は、「9時間以上」が50.5%と最も多く、次いで「8時間台」が38.4%、「7時間台」が3.9%となっている。

その他の保護者は、「8時間台」が37.5%と最も多く、次いで「7時間台」と「9時間以上」が12.5%となっている。

※ “その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



③ 家を出る時間と帰宅時間

問6(3) 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

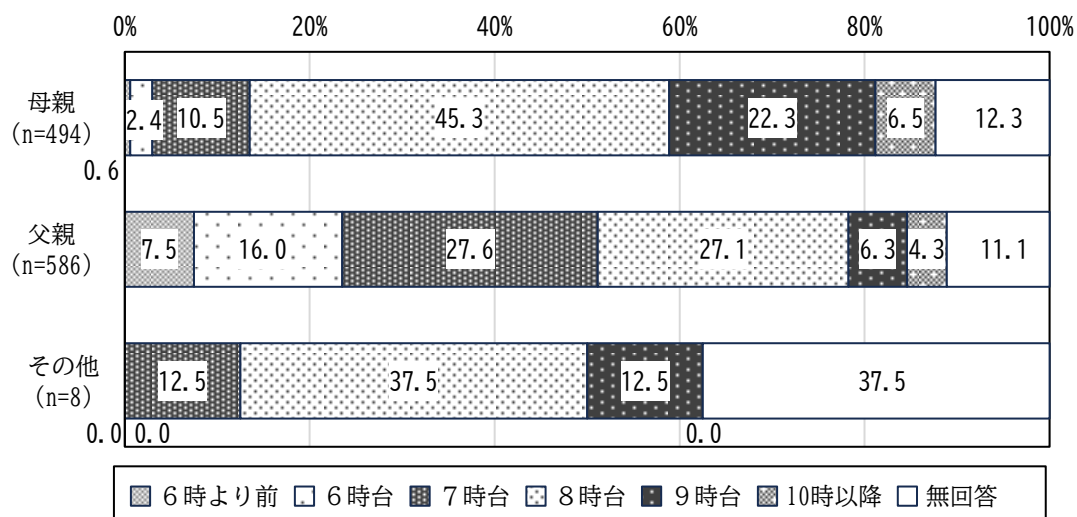
【家を出る時間】

母親は、「8時台」が45.3%と最も多く、次いで「9時台」が22.3%、「7時台」が10.5%となっている。

父親は、「7時台」が27.6%と最も多く、次いで「8時台」が27.1%、「6時台」が16.0%となっている。

その他の保護者は、「8時台」が37.5%と最も多く、次いで「7時台」と「9時台」が12.5%となっている。

※ “その他” の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



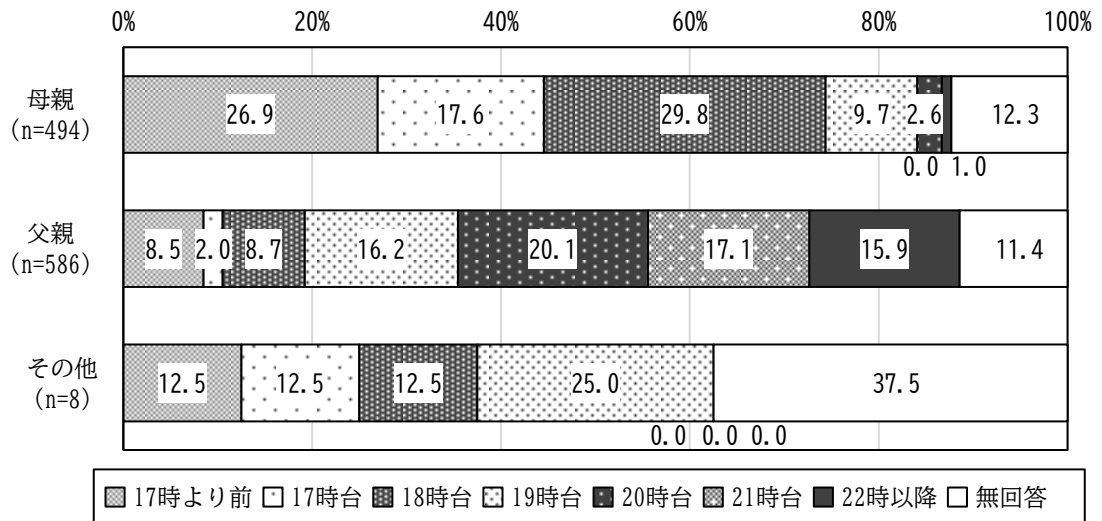
【帰宅時間】

母親は、「18 時台」が 29.8%と最も多く、次いで「17 時より前」が 26.9%、「17 時台」が 17.6%となっている。

父親は、「20 時台」が 20.1%と最も多く、次いで「21 時台」が 17.1%、「19 時台」が 16.2%となっている。

その他の保護者は、「19 時台」が 25.0%と最も多く、次いで「17 時より前」「17 時台」「18 時台」が 12.5%となっている。

※ “その他” の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(2) フルタイムへの転換希望

問7は、問6(1)で「3.パート・アルバイト等で就労している」または「4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選択した方が回答。

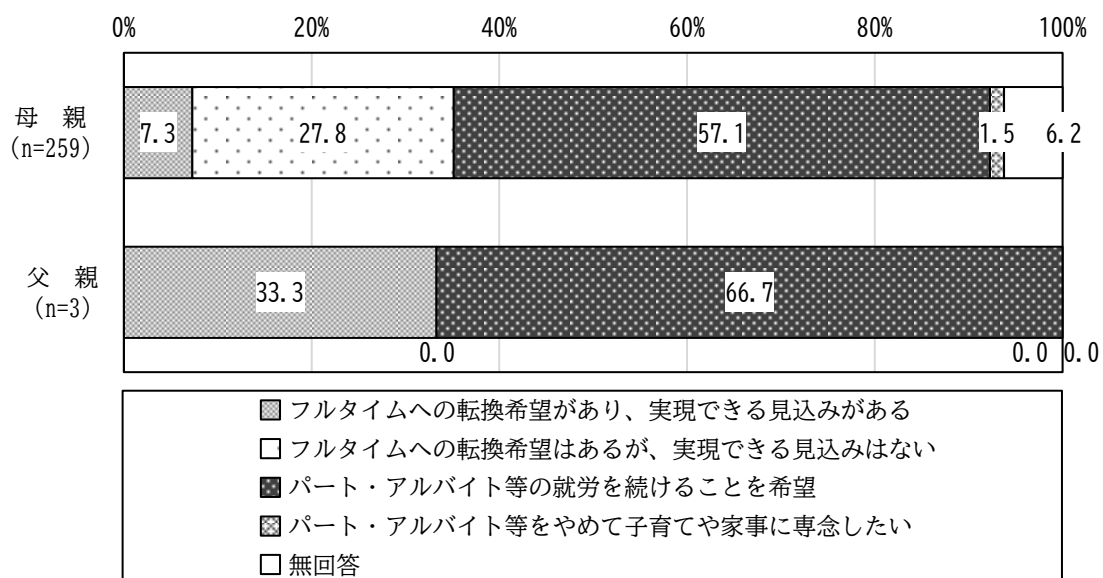
問7 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が57.1%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.3%となっている。

父親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が66.7%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が33.3%となっている。

※ “その他” は、回答対象者がいませんでした。

※ “父親” の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(3) 就労希望

問8は、問6(1)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」のいずれかを選択した方が回答。

問8 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

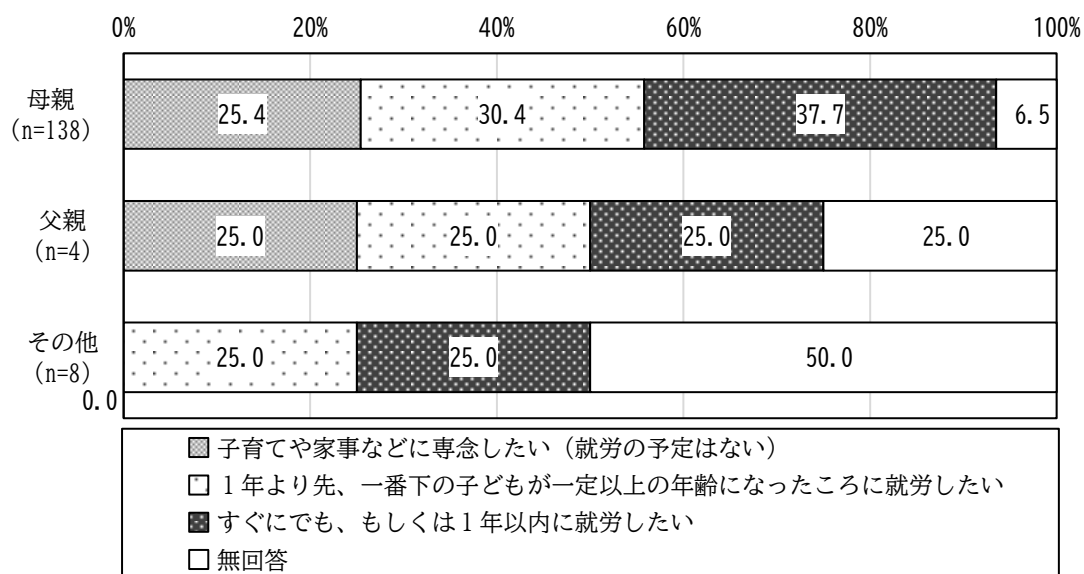
母親は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が37.7%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが一定以上の年齢になったところに就労したい」が30.4%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が25.4%となっている。

父親は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」「1年より先、一番下の子どもが一定以上の年齢になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ25.0%となっている。

その他の保護者は、「1年より先、一番下の子どもが一定以上の年齢になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ25.0%となっている。

※“父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

※“その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



① 一番下の子どもが何歳になった頃に仕事に就きたいか

「①一番下の子どもが何歳になった頃に仕事に就きたいか」は、問8で「2.1年より先、一番下の子どもが一定以上の年齢になったところに就労したい」を選択した方が回答。

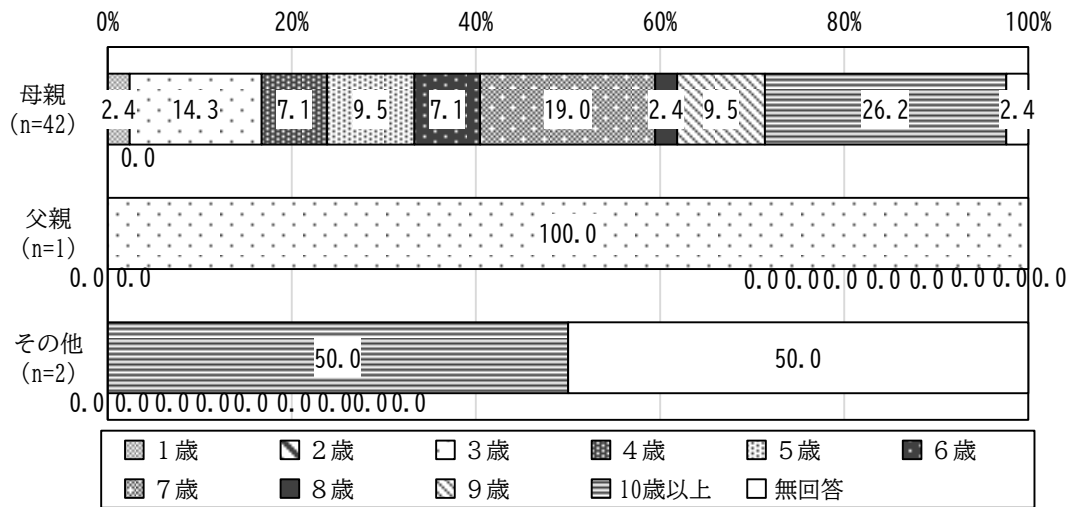
母親は、「10歳以上」が26.2%と最も多く、次いで「7歳」が19.0%、「3歳」が14.3%となっている。

父親は、「3歳」が100.0%となっている。

その他の保護者は、「10歳以上」が50.0%となっている。

※ “父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

※ “その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



② 希望の就労形態

「②希望の就労形態」は、問8で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した方が回答。

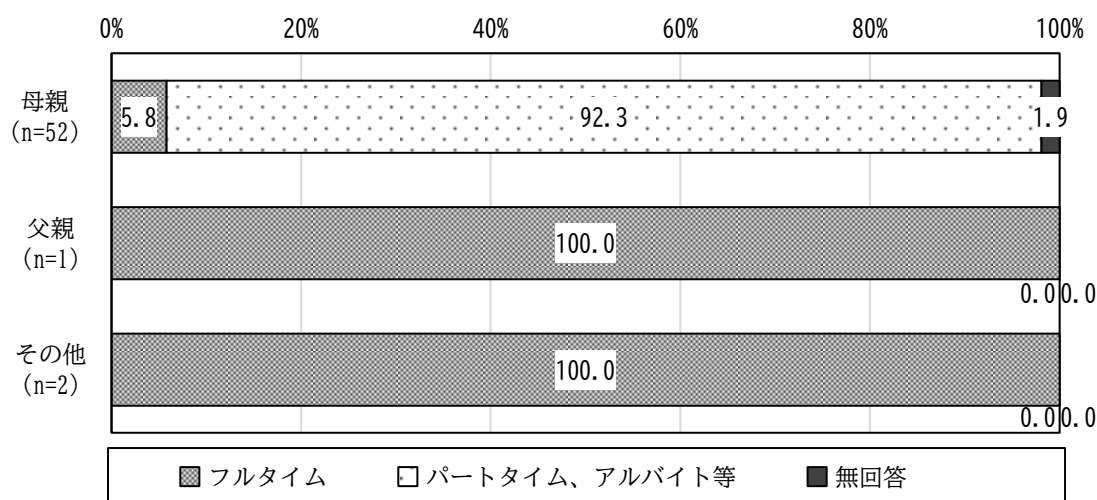
母親は、「フルタイム」が5.8%、「パートタイム、アルバイト等」が92.3%となっている。

父親は、「フルタイム」が100.0%となっている。

その他の保護者は、「フルタイム」が100.0%となっている。

※ “父親”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。

※ “その他”の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



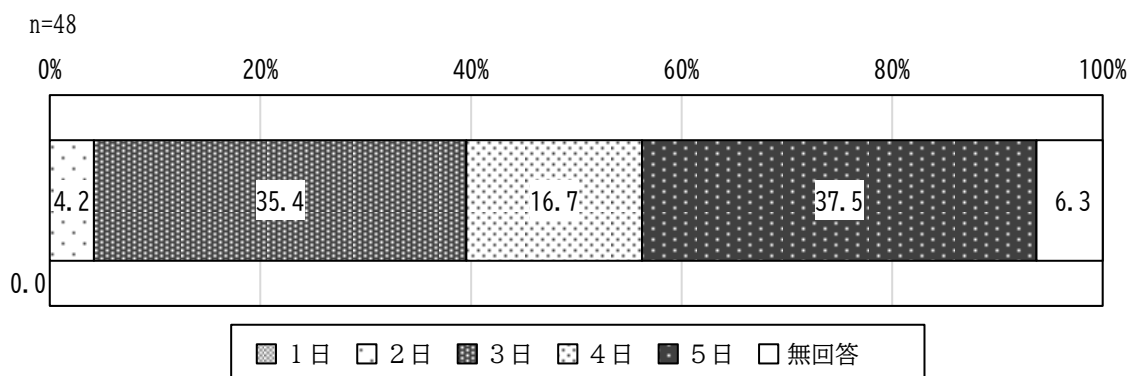
③ 希望する週当たりの就労日数

「③希望する週当たりの就労日数」は、「②希望の就労形態」で「2. パート・アルバイト等」を選択した方が回答。

母親は、「5日」が37.5%と最も多く、次いで「3日」が35.4%、「4日」が16.7%となっている。

※ “父親”は、回答対象者がいませんでした。

※ “その他”は、回答対象者がいませんでした。

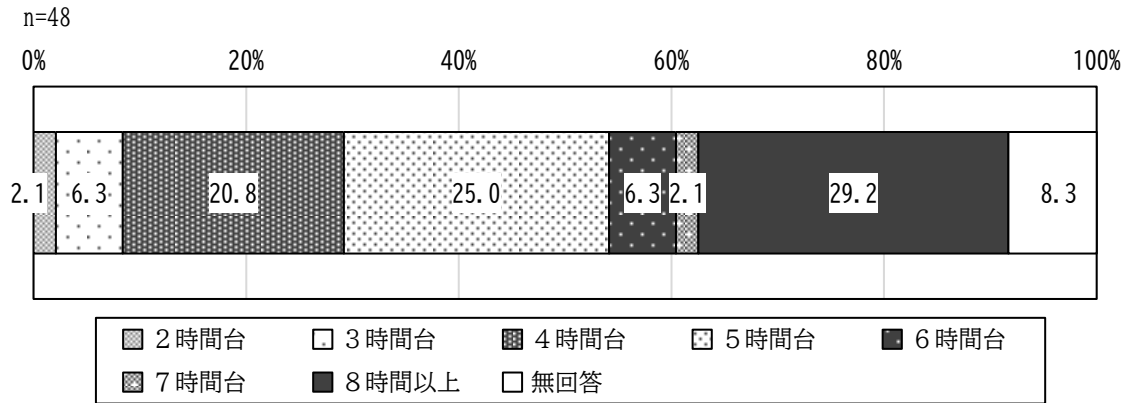


④ 希望する1日当たりの就労時間

母親は、「8時間以上」が29.2%と最も多く、次いで「5時間台」が25.0%、「4時間台」が20.8%となっている。

※ “父親”は、回答対象者がいませんでした。

※ “その他”は、回答対象者がいませんでした。



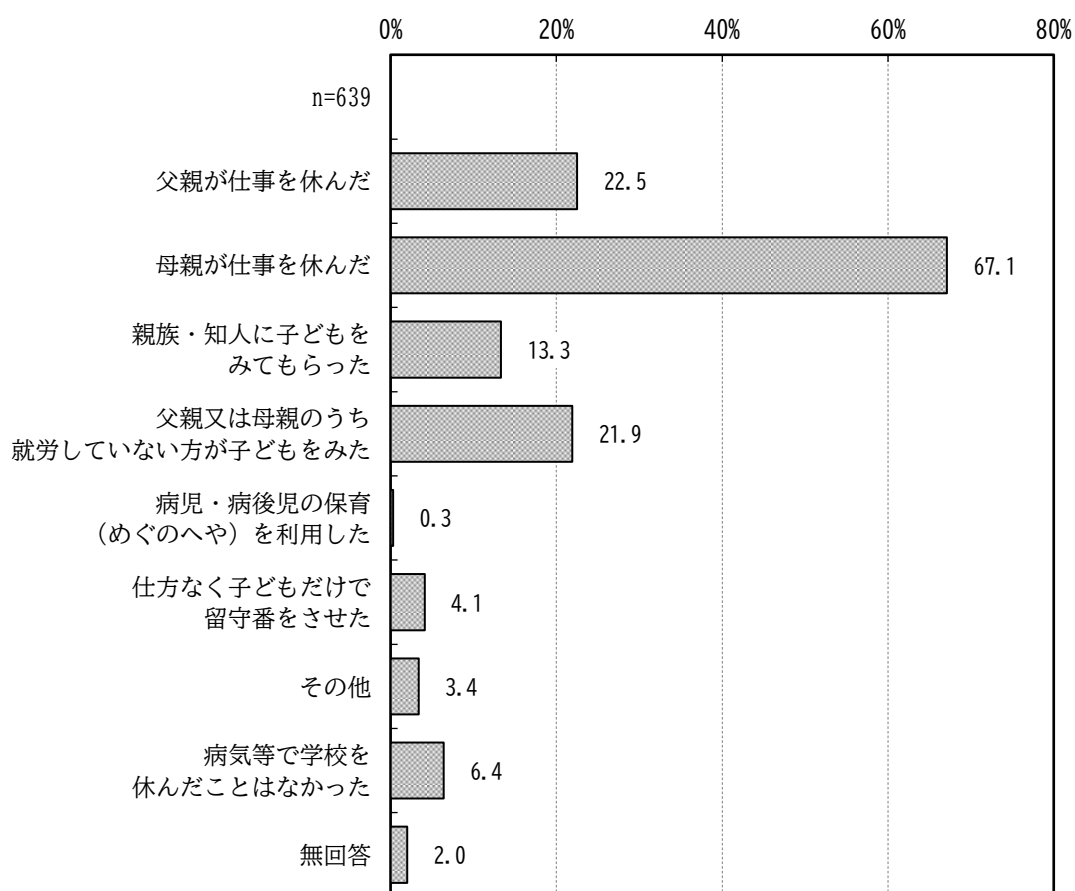
4. 小学2年生のお子さんの病気の際の対応について

(1) 病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法と日数

問9-1 この1年間に、小学2年生のお子さんが病気やけがで学校を休んだ時の対処方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

① 対処方法

「母親が仕事を休んだ」が67.1%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が22.5%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が21.9%となっている。

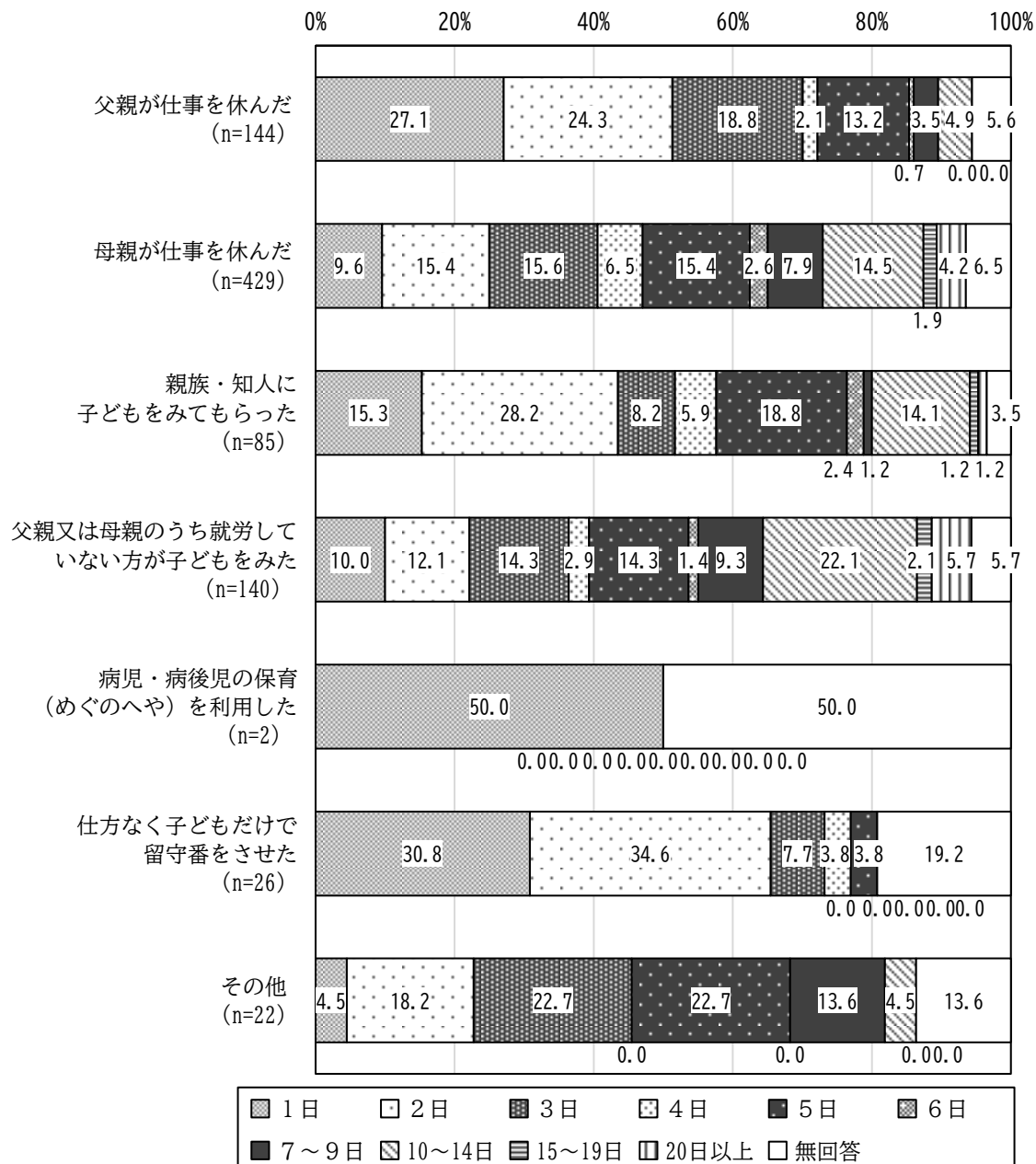


② 日数

「父親が仕事を休んだ」は、「1日」が27.1%と最も多く、次いで「2日」が24.3%、「3日」が18.8%となっている。

「母親が仕事を休んだ」は、「3日」が15.6%と最も多く、次いで「2日」「5日」が15.4%となっている。

「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」は、「10～14日」が22.1%と最も多く、次いで「3日」「5日」が14.3%となっている。



(2) 病児・病後児施設等の利用意向と利用希望日数

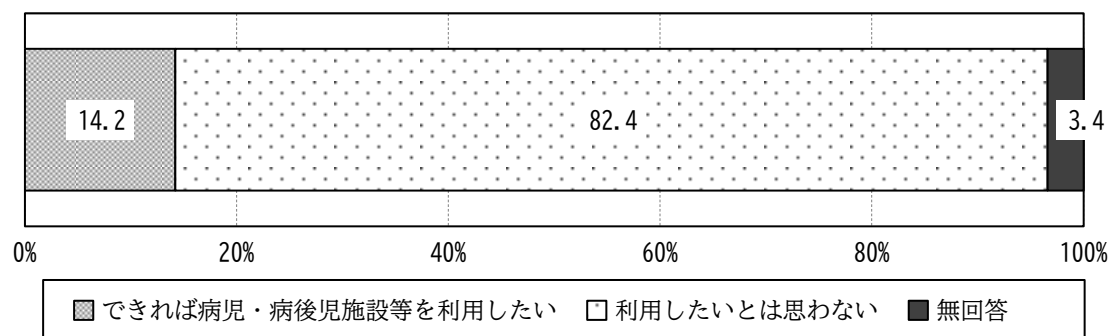
問9-2は、問9-1で「ア.父親が仕事を休んだ」または「イ.母親が仕事を休んだ」のいずれかを選択した方が回答。

問9-2 父親または母親が仕事を休んで子どもを看護したとき、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

① 利用意向

「できれば病児・病後児施設等を利用したい」が14.2%、「利用したいとは思わない」が82.4%となっている。

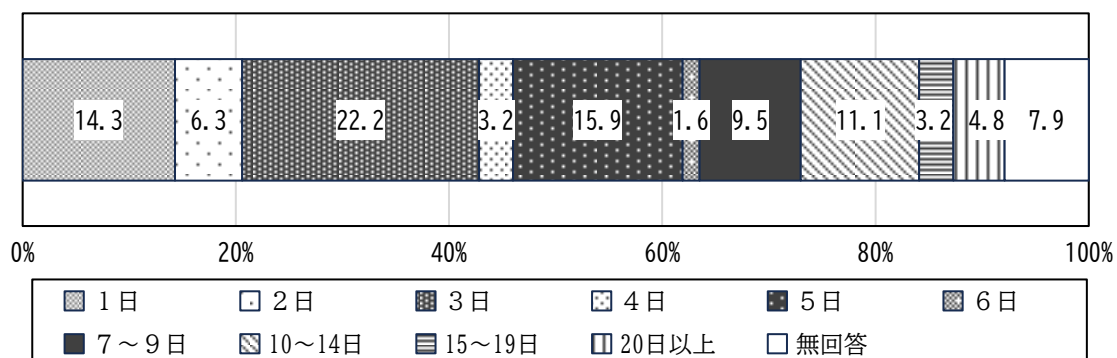
n=444



② 利用希望日数

「3日」が22.2%と最も多く、次いで「5日」が15.9%、「1日」が14.3%となっている。

n=63

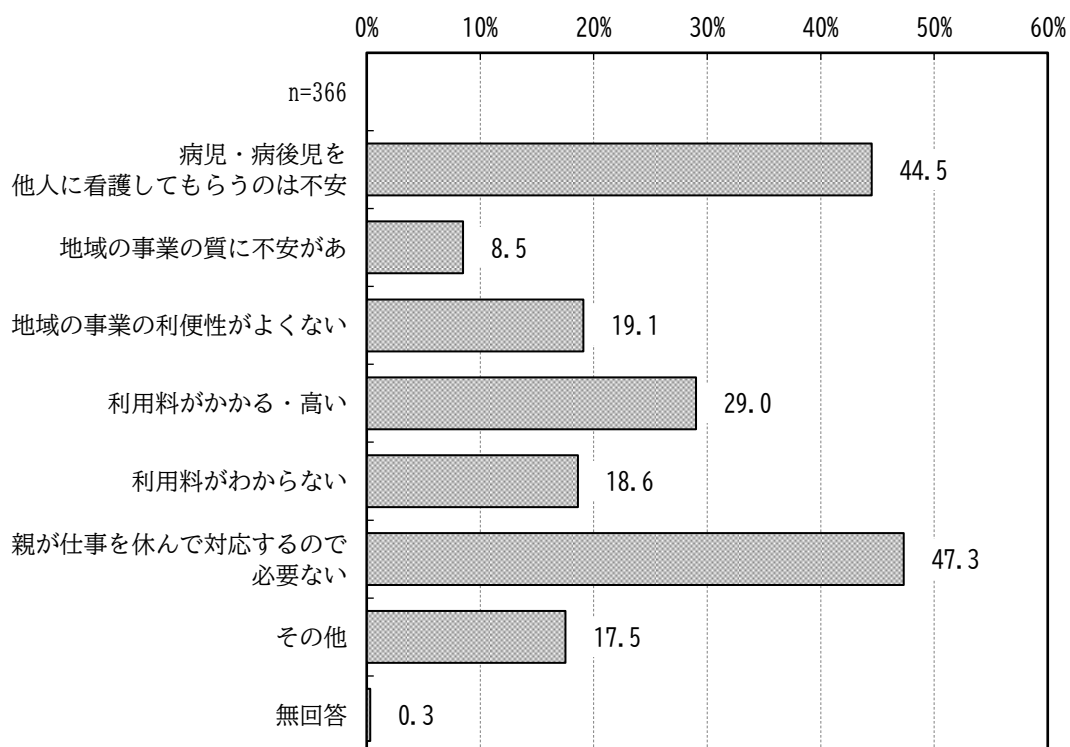


(3) 病児・病後児施設等を利用したいと思わない理由

問9-3は、問9-2で「2. 利用したいとは思わない」を選択した方が回答。

問9-3 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応するので必要ない」が47.3%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安」が44.5%、「利用料がかかる・高い」が29.0%となっている。



(4) 子どもの看護のための休暇取得希望と日数

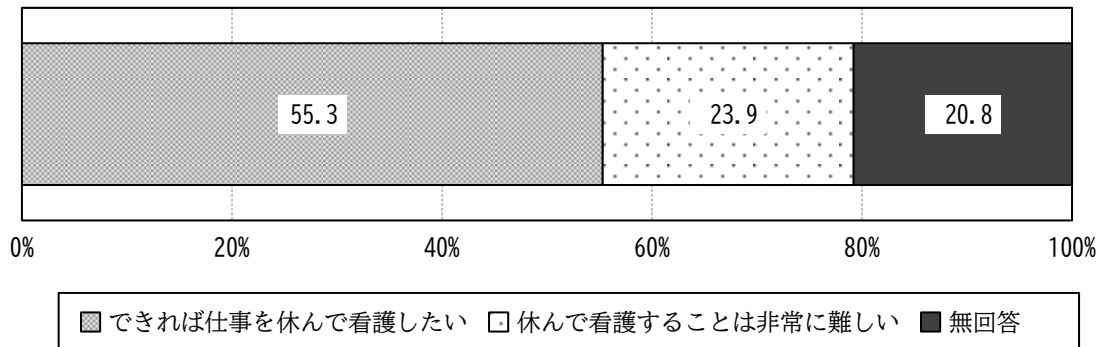
問9-4は、問9-1で「ウ.(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」～「キ.その他」のいずれかを選択した方が回答。

問9-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ.(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」から「キ.その他」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

① 休暇取得希望

「できれば仕事を休んで看護したい」が55.3%、「休んで看護することは非常に難しい」が23.9%となっている。

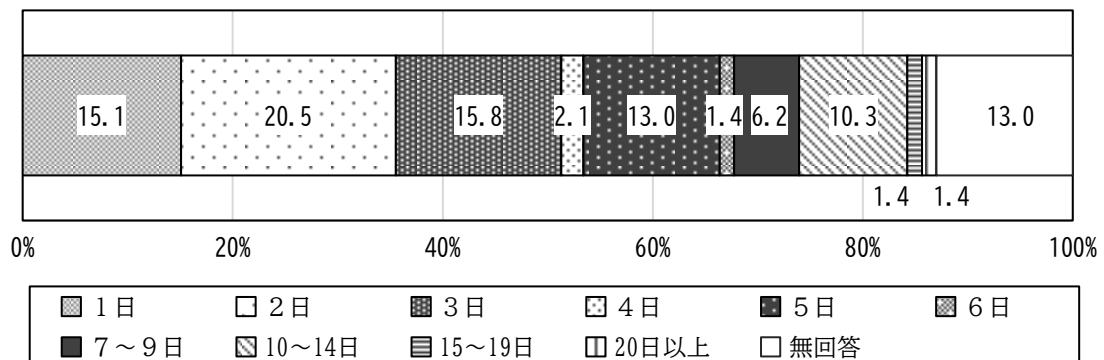
n=264



② 日数

「2日」が20.5%と最も多く、次いで「3日」が15.8%、「1日」が15.1%となっている。

n=146

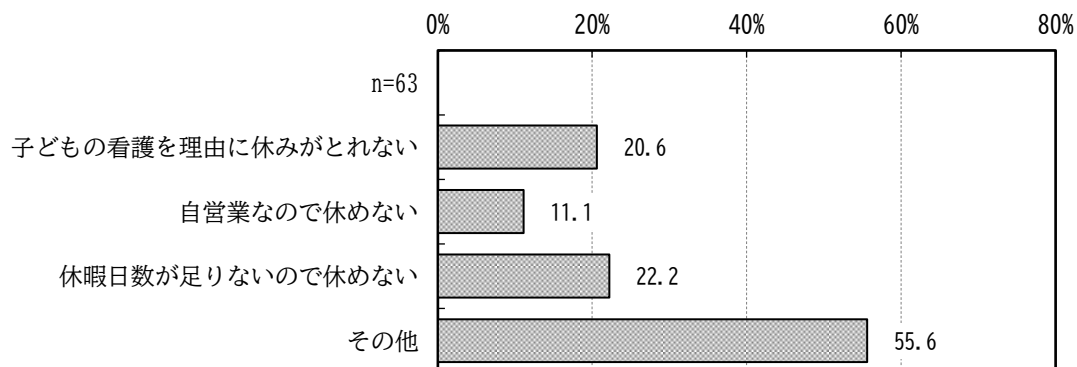


(5) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

問9-5は、問9-4で「2.休んで看護することは非常に難しい」を選択した方が回答。

問9-5 「休んで看護することは非常に難しい」理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「休暇日数が足りないので休めない」が22.2%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が20.6%、「自営業なので休めない」が11.1%となっている。



【その他の内容】(35件) ※上位3項目を抜粋

・仕事が忙しいため (11件)	・配偶者が看病をするため (11件)
・人手不足のため (3件)	

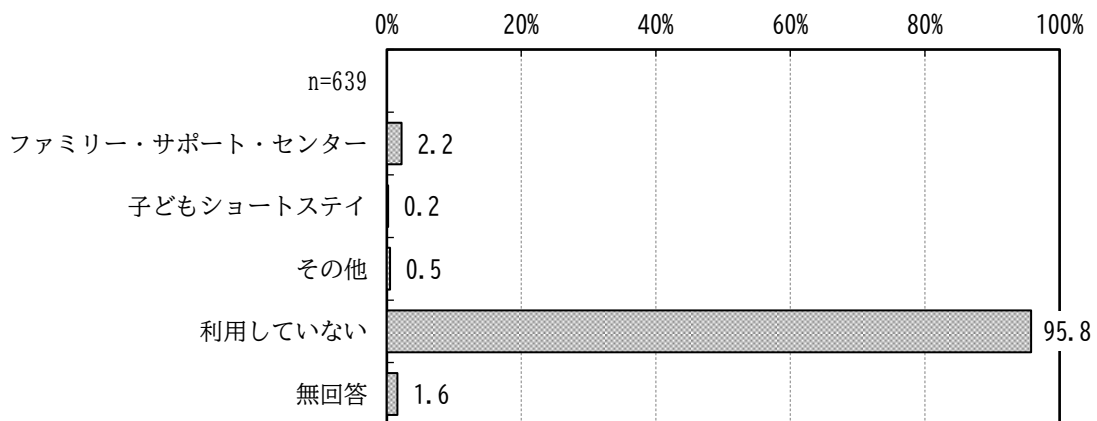
5. 一時預かり等（宿泊を伴う場合を含む）の利用について

(1) 一時預かり等の利用状況と日数

問 10 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
ある場合は当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

① 利用状況

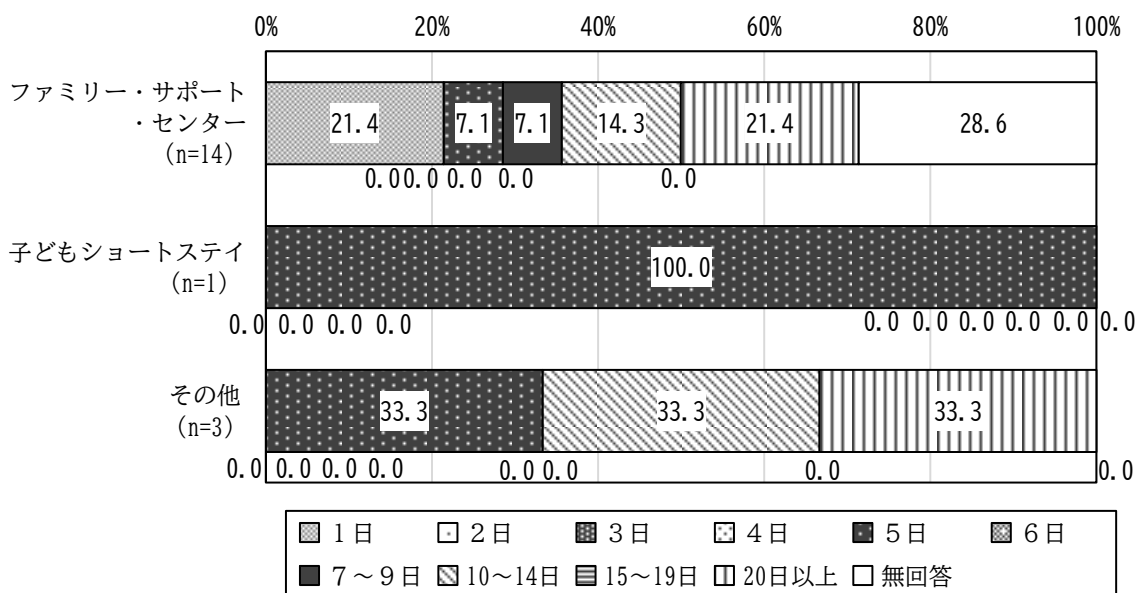
「利用していない」が95.8%と最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が2.2%、「子どもショートステイ」が0.2%となっている。



② 日数

「ファミリー・サポート・センター」は、「1日」と「20日以上」が21.4%と最も多く、次いで「10～14日」が14.3%となっている。

「子どもショートステイ」は、「5日」が100.0%となっている。



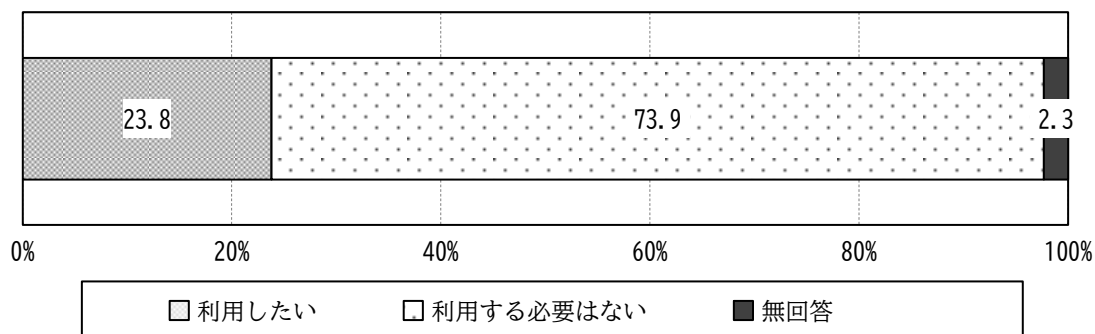
(2) 一時預かり等の利用希望と日数

問 11 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。
利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください)

① 利用希望

「利用したい」が23.8%、「利用する必要はない」が73.9%となっている。

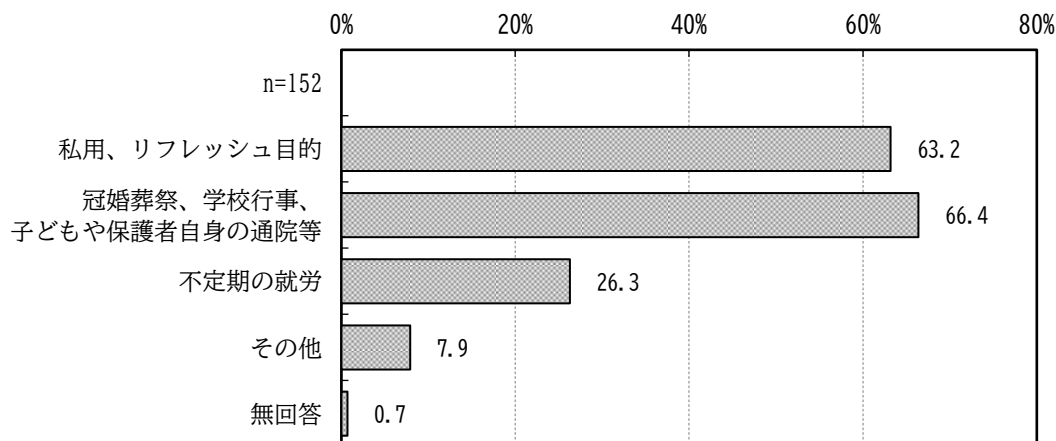
n=639



② 利用目的

②利用目的と③日数は、①利用希望で「1.利用したい」を選択した方が回答。

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院等」が66.4%と最も多く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」が63.2%、「不定期の就労」が26.3%となっている。

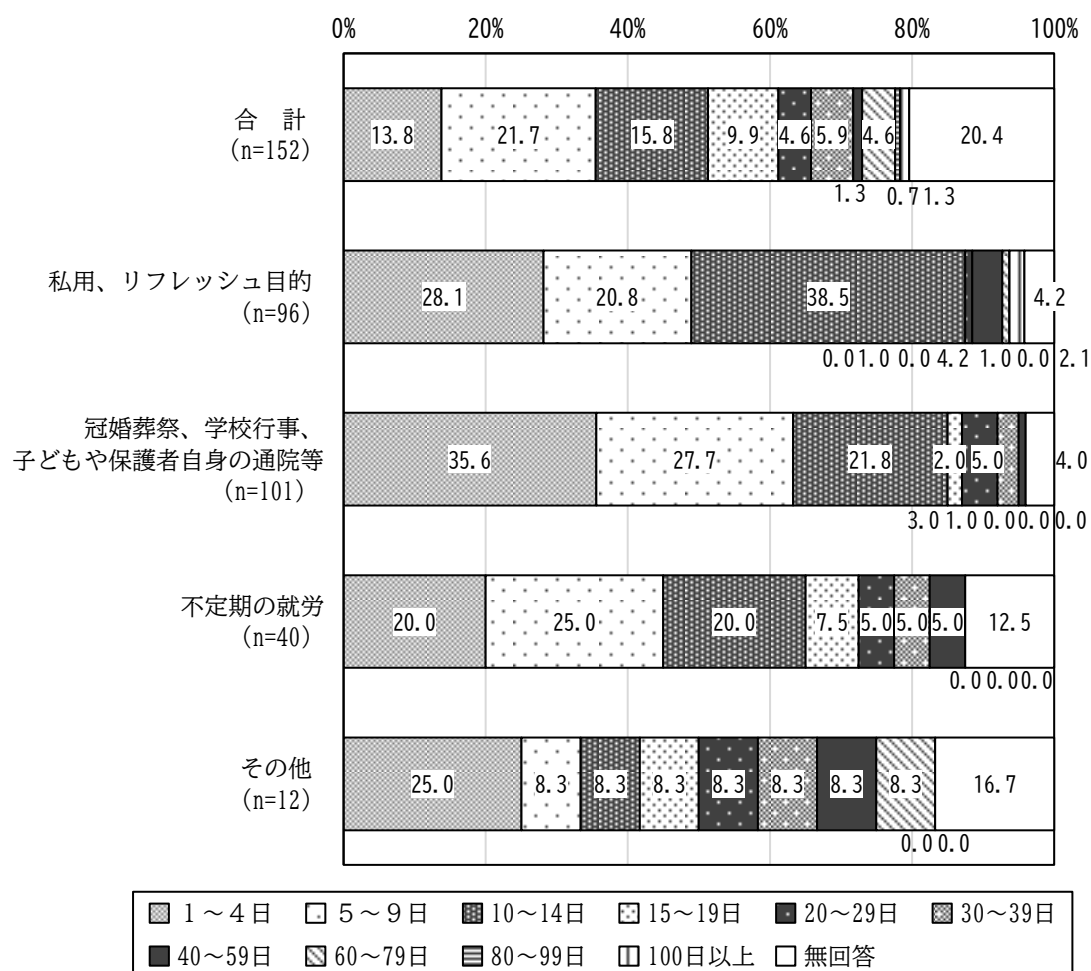


③ 日数

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的」は、「10～14日」が38.5%と最も多く、次いで「1～4日」が28.1%、「5～9日」が20.8%となっている。

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院等」は、「1～4日」が35.6%と最も多く、次いで「5～9日」が27.7%、「10～14日」が21.8%となっている。

「不定期の就労」は、「5～9日」が25.0%と最も多く、次いで「1～4日」「10～14日」が20.0%となっている。

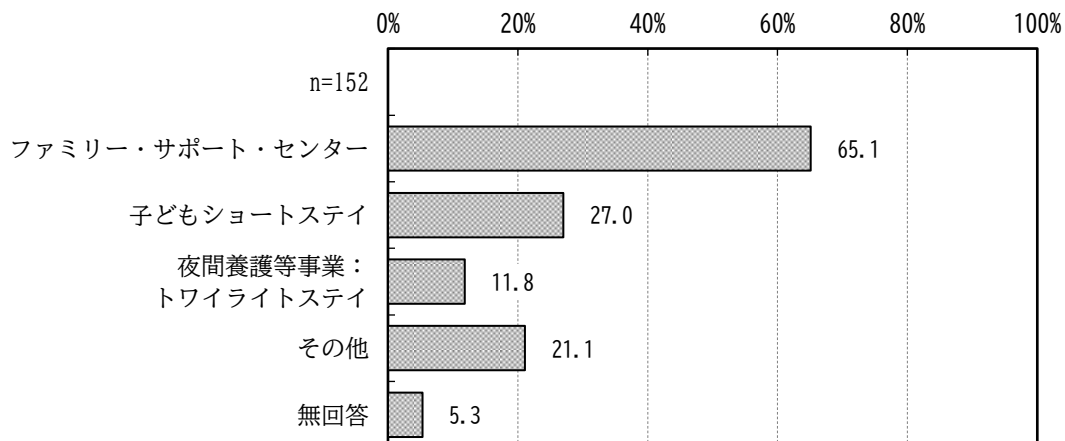


(3) 不定期の教育・保育事業の利用形態

問 11-1 は、問 11①利用希望で「1. 利用したい」を選択した方が回答。

問 11-1 問 11 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ファミリー・サポート・センター」が 65.1%と最も多く、次いで「子どもショートステイ」が 27.0%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」が 11.8%となっている。



(4) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問 12 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

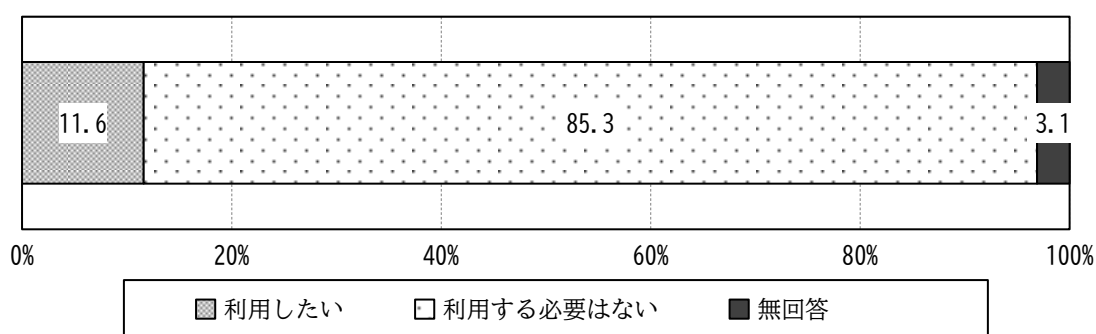
短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を数字でご記入ください。(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を数字でご記入ください)

なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

① 利用希望

「利用したい」が11.6%、「利用する必要はない」が85.3%となっている。

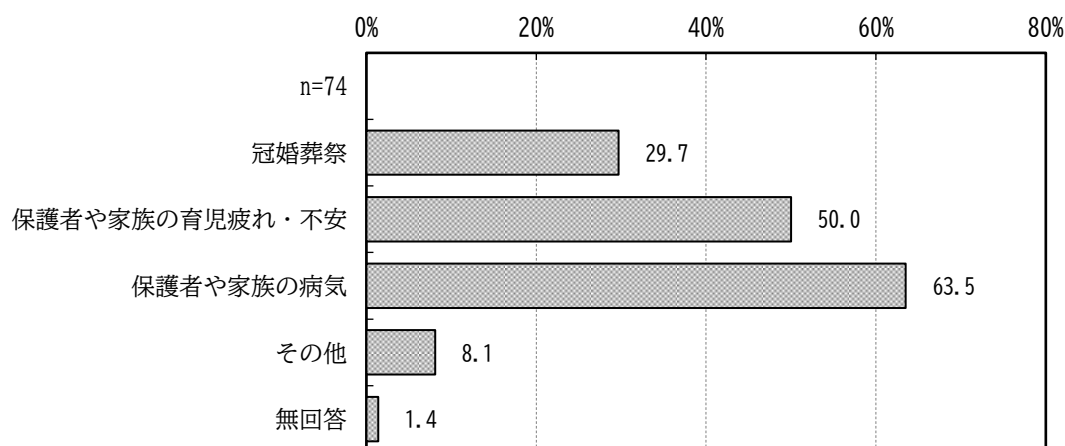
n=639



② 利用目的

②利用目的と③日数は、①利用希望で「1.利用したい」を選択した方が回答。

「保護者や家族の病気」が63.5%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が50.0%、「冠婚葬祭」が29.7%となっている。

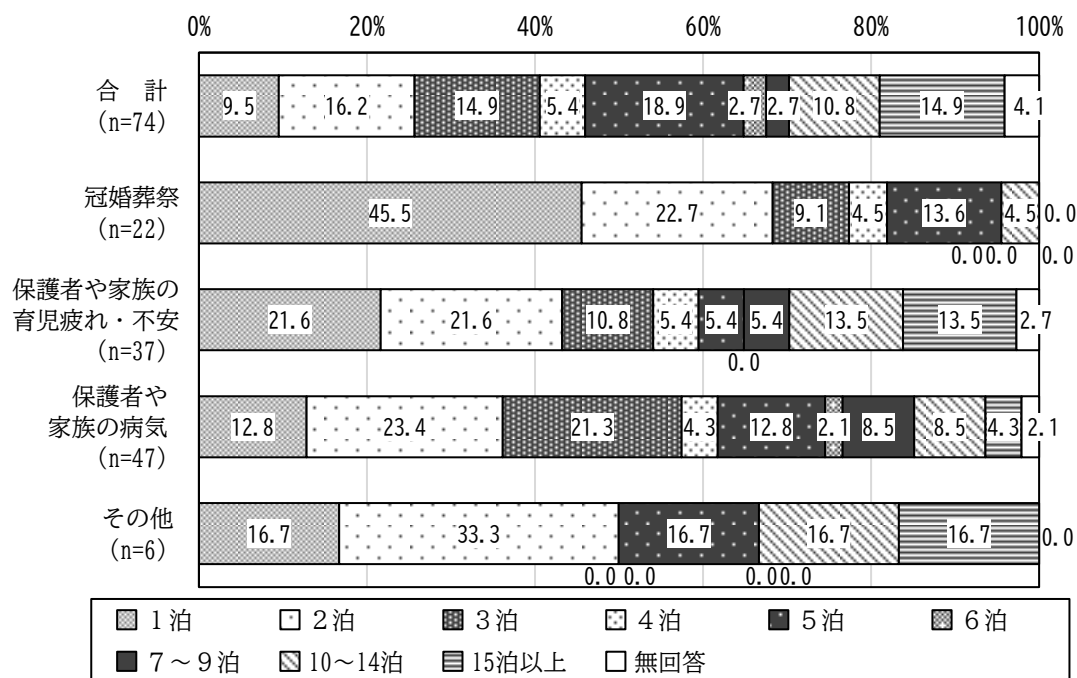


③ 泊数

「冠婚葬祭」は、「1泊」が45.5%と最も多く、次いで「2泊」が22.7%、「5泊」が13.6%となっている。

「保護者や家族の育児疲れ・不安」は、「1泊」と「2泊」が21.6%と最も多く、次いで「10～14泊」「15泊以上」が13.5%となっている。

「保護者や家族の病気」は、「2泊」が23.4%と最も多く、次いで「3泊」が21.3%、「1泊」「5泊」が12.8%となっている。



6. 放課後の過ごし方について

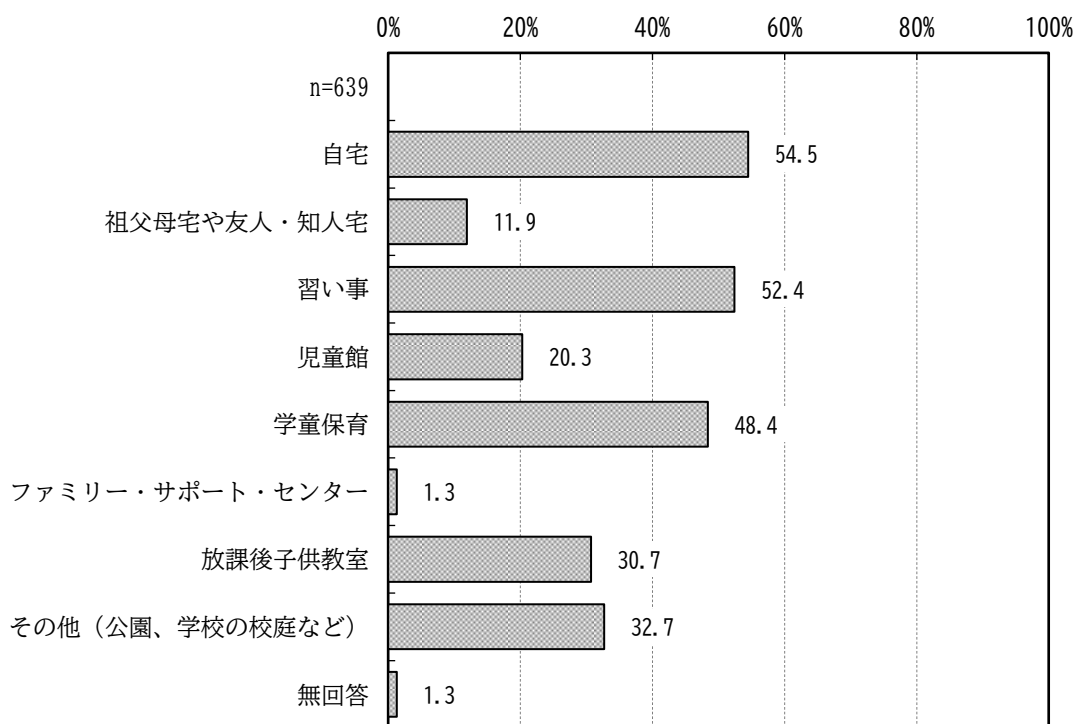
(1) 小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問 13 小学2年生のお子さんについて、小学校低学年(3年生まで)のうちは、放課後(平日(月~金)の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。

① 希望する放課後の過ごし方

「自宅」が54.5%と最も多く、次いで「習い事」が52.4%、「学童保育」が48.4%となっている。

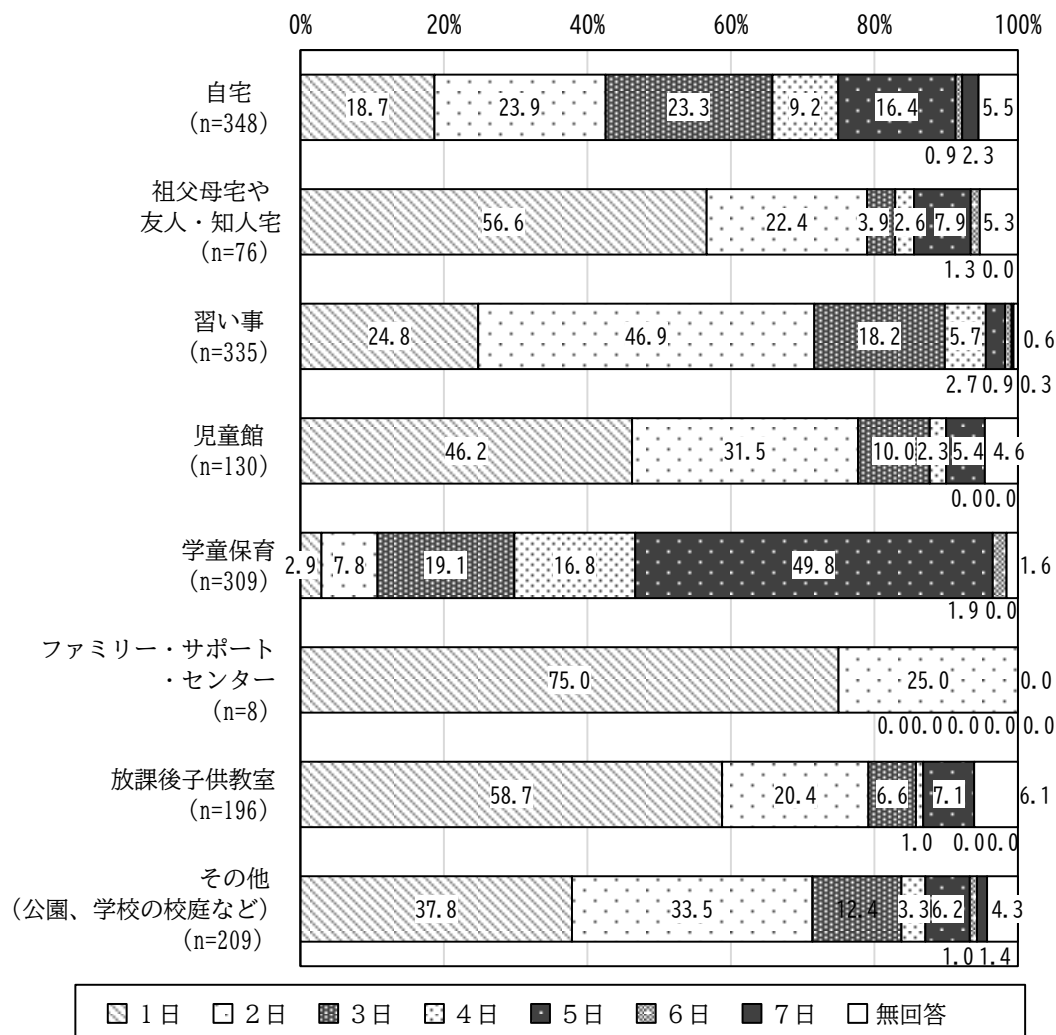


② 1週当たりの日数

自宅は、「2日」が23.9%と最も多く、次いで「3日」が23.3%、「1日」が18.7%となっている。

習い事は、「2日」が46.9%と最も多く、次いで「1日」が24.8%、「3日」が18.2%となっている。

学童保育は、「5日」が49.8%と最も多く、次いで「3日」が19.1%、「4日」が16.8%となっている。

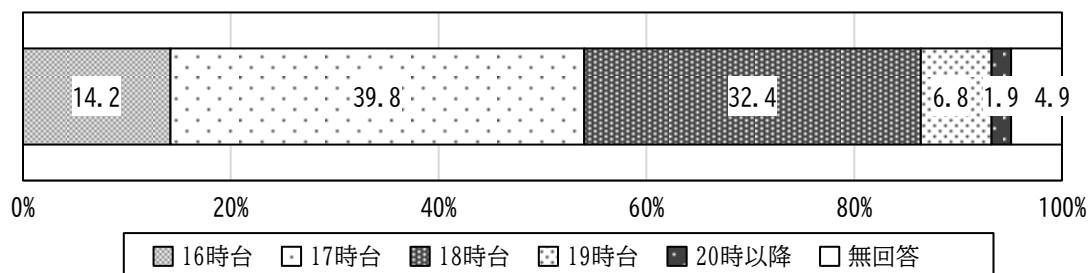


「③学童保育を下校時間から何時まで利用したいか」は、問13で「5.学童保育」を選択した方が回答。

③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

「17時台」が39.8%と最も多く、次いで「18時台」が32.4%、「16時台」が14.2%となっている。

n=309

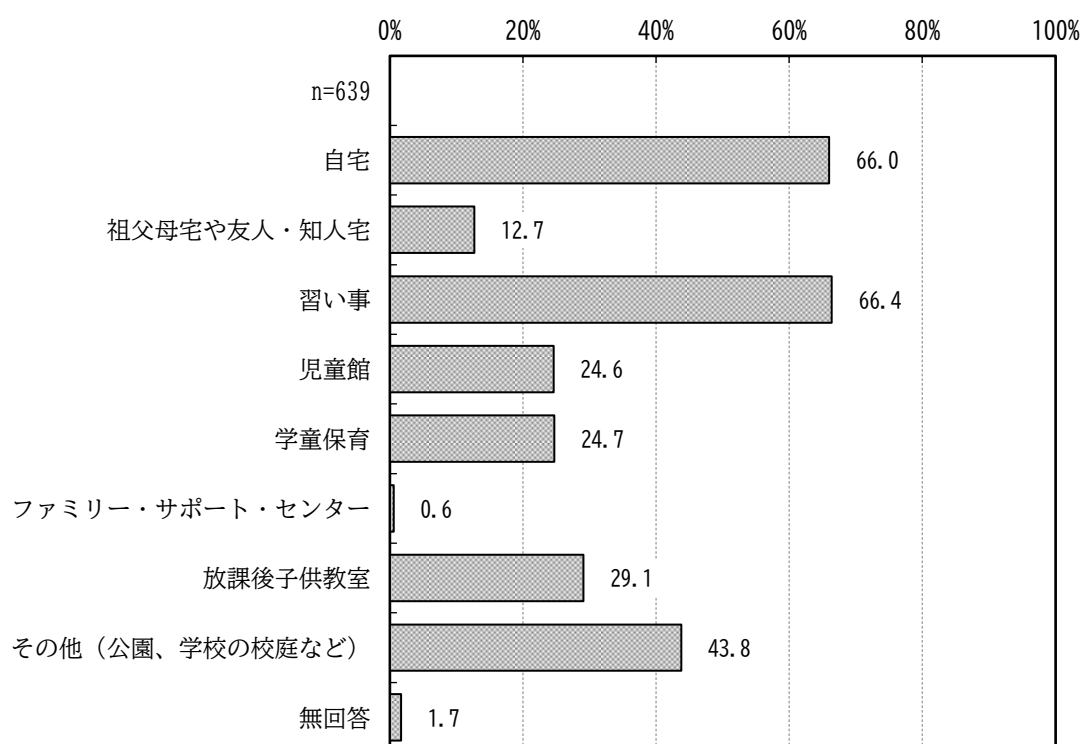


(2) 小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

問 14 小学2年生のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日(月~金)の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。
時間は、必ず(例) 18時 のように24時間制でご記入ください。

① 希望する放課後の過ごし方

「習い事」が66.4%と最も多く、次いで「自宅」が66.0%、「放課後子供教室」が29.1%となっている。

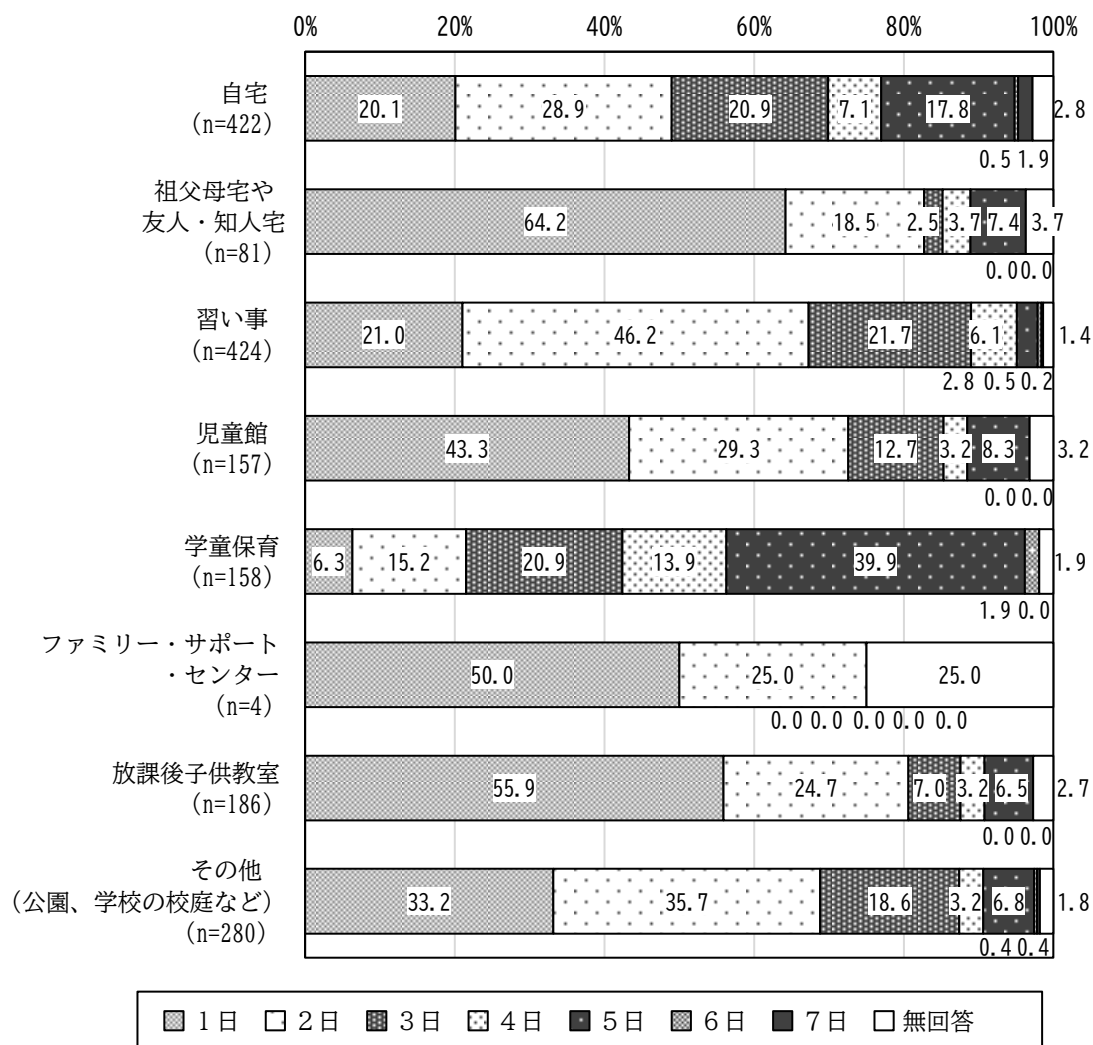


② 1週当たりの日数

自宅は、「2日」が28.9%と最も多く、次いで「3日」が20.9%、「1日」が20.1%となっている。

習い事は、「2日」が46.2%と最も多く、次いで「3日」が21.7%、「1日」が21.0%となっている。

放課後子ども教室は、「1日」が55.9%と最も多く、次いで「2日」が24.7%、「3日」が7.0%となっている。

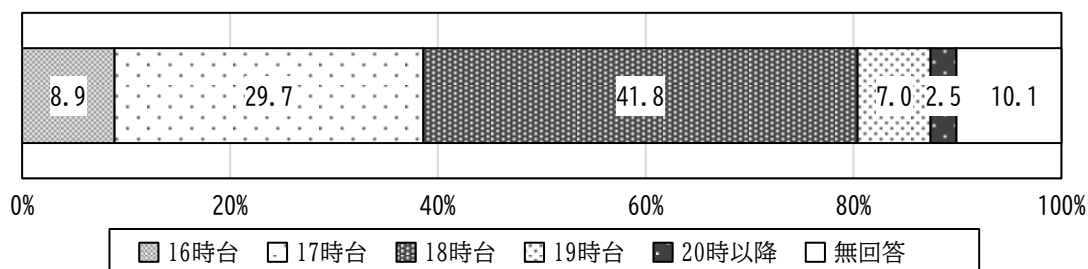


「③学童保育を下校時間から何時まで利用したいか」は、問14で「5.学童保育」を選択した方が回答。

③ 学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

「18時台」が41.8%と最も多く、次いで「17時台」が29.7%、「16時台」が8.9%となっている。

n=158



(3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望

問 15 と問 16 は、問 13 または問 14 で「5. 学童保育」を選択した方が回答。

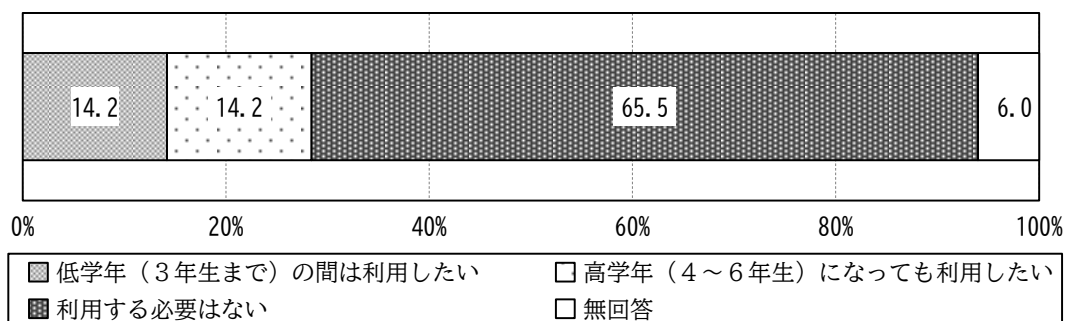
問 15 小学2年生のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

【土曜日】

① 利用希望

「利用する必要はない」が65.5%と最も多く、次いで「低学年（3年生まで）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が14.2%となっている。

n=316

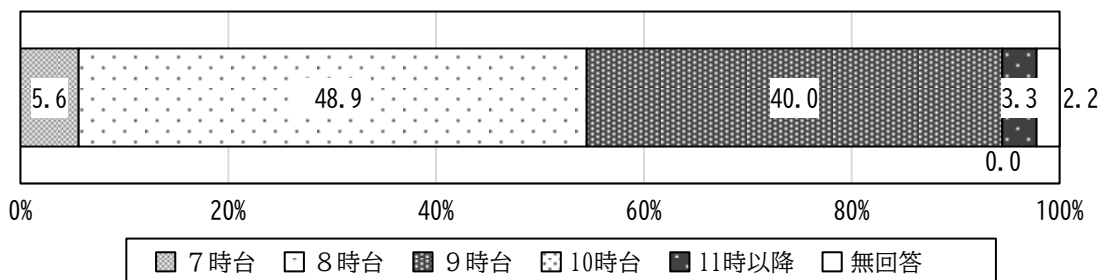


②利用開始時間と③利用終了時間は、①利用希望で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「高学年（4～6年生）になっても利用したい」のいずれかを選択した方が回答。

② 利用開始時間

「8時台」が48.9%と最も多く、次いで「9時台」が40.0%、「7時台」が5.6%となっている。

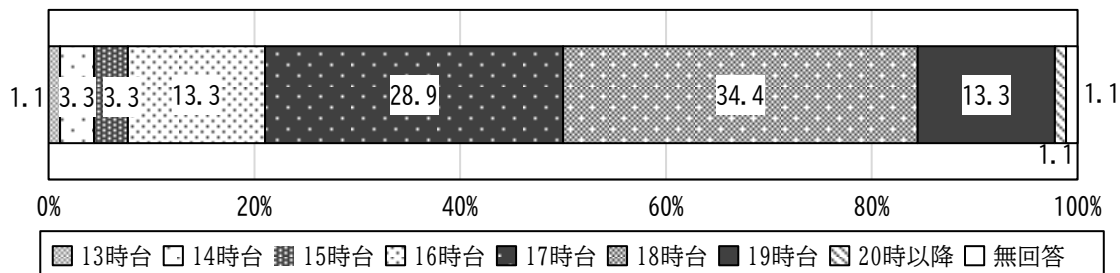
n=90



③ 利用終了時間

「18時台」が34.4%と最も多く、次いで「17時台」が28.9%、「16時台」「19時台」が13.3%となっている。

n=90

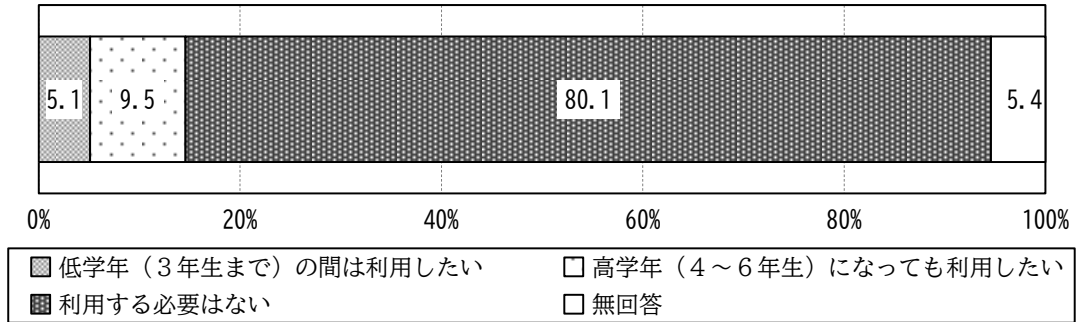


【日曜・祝日】

① 利用希望

「利用する必要はない」が80.1%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が9.5%、「低学年（3年生まで）の間は利用したい」が5.1%となっている。

n=316

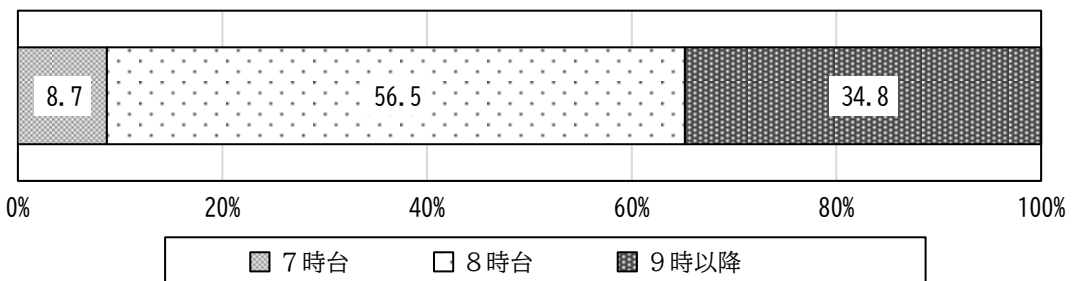


②利用開始時間と③利用終了時間は、①利用希望で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「高学年（4～6年生）になっても利用したい」のいずれかを選択した方が回答。

② 利用開始時間

「8時台」が56.5%と最も多く、次いで「9時台」が34.8%、「7時台」が8.7%となっている。

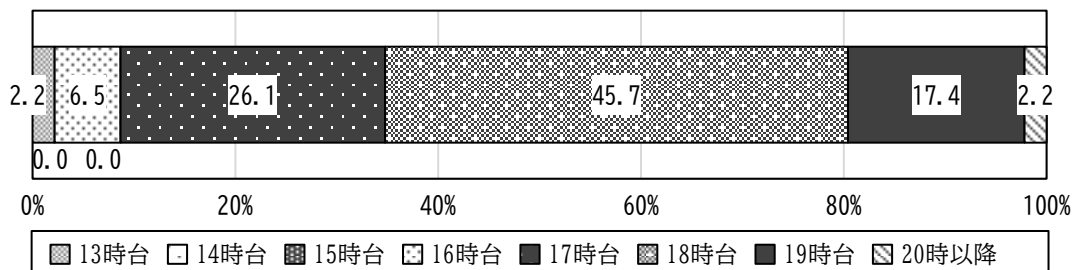
n=46



③ 利用終了時間

「18時台」が45.7%と最も多く、次いで「17時台」が26.1%、「19時台」が17.4%となっている。

n=46



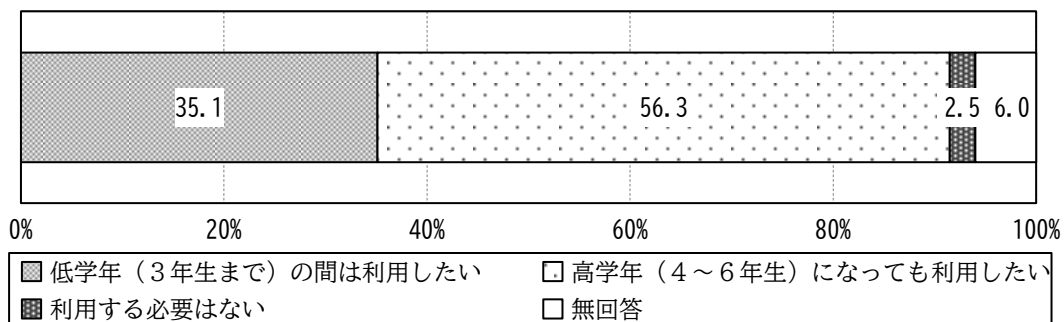
(4) 長期期間中の学童保育の利用希望

問 16 小学2年生のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。
 また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

① 利用希望

「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が56.3%と最も多く、次いで「低学年（3年生まで）の間は利用したい」が35.1%、「利用する必要はない」が2.5%となっている。

n=316

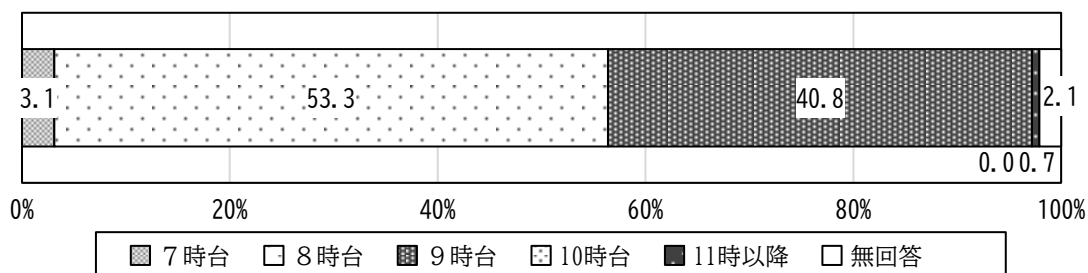


②利用開始時間と③利用終了時間は、①利用希望で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」または「高学年（4～6年生）になっても利用したい」のいずれかを選択した方が回答。

② 利用開始時間

「8時台」が53.3%と最も多く、次いで「9時台」が40.8%、「7時台」が3.1%となっている。

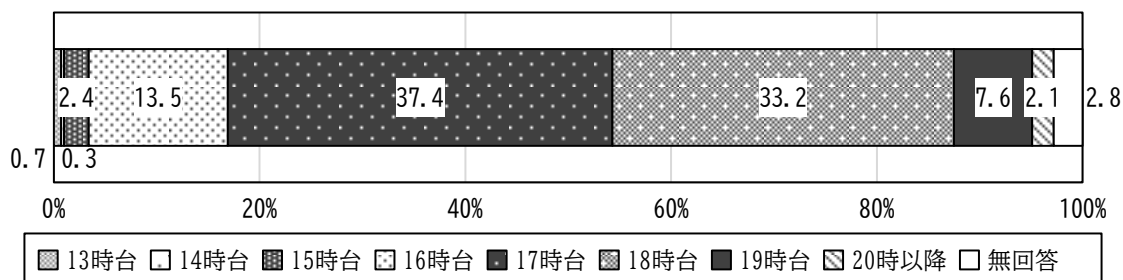
n=289



③ 利用終了時間

「17時台」が37.4%と最も多く、次いで「18時台」が33.2%、「16時台」が13.5%となっている。

n=289



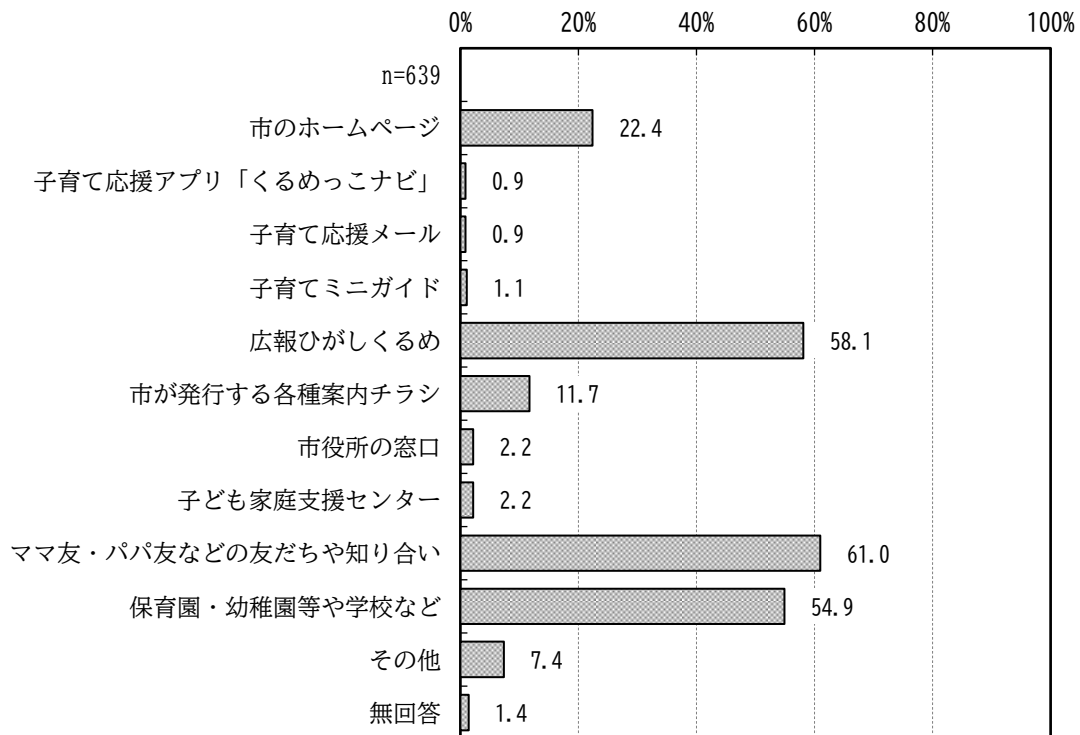
7. 子育て情報の入手方法、子育て支援への満足度やご意見について

(1) 子育て情報の入手方法

問 17 子育てに関する情報を具体的にどのような方法で得ていますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ママ友・パパ友（子育てを通じた友人）などの友だちや知り合い（口コミ）」が61.0%と最も多く、次いで「広報ひがしくるめ」が58.1%、「保育園・幼稚園等や学校など」が54.9%となっている。



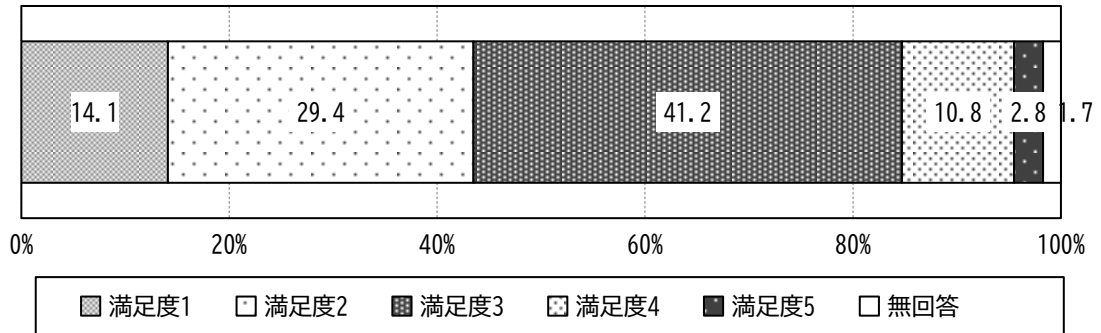
(2) 東久留米市の子育て環境や支援に対する満足度

問 18 東久留米市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号
1つに○をつけてください。

「満足度3」が41.2%と最も多く、次いで「満足度2」が29.4%、「満足度1」が14.1%
となっている。

n=639

満足度が低い ←————→ 満足度が高い



(3) 自由意見

問 19 最後に、今後の参考にするため、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

352 名の方から自由意見が寄せられた。一部の意見を掲載する（文意を変えない程度に、表記等を整理しています）。

【保育（学童を除く）に関する意見】

- ・共働きのため、夏休みや冬休みの長期休暇に学童に入れなかった場合、代わりになるような場所があればと思います。
- ・市だけではなく、企業の理解も必要と感じています。学年が上がるにつれ、学校に行っている日は保育の必要を感じなくなっていますが、長期休みはどうしても相手が難しいので（在宅でリモート会議などあるため）長期休み期間のみ預かるサービスがあると助かります。

【学童保育に関する意見】

- ・夏休みや冬休みなどの長期休みだけの学童利用が出来るようになると大変助かります。学校がある日は子供たちが学校に行っている間パートに出ているので、長期休みになるとパートに出るのが難しく頭を悩ましております。
- ・学童保育の質の改善が必要だと思う。広さや自由度（子供の）長期休暇期間中のお弁当の業者への委託など、働く親が増える中でニーズは様々あると思う。
- ・学童夏休み等、8：00～の利用できるようにしてほしいです。7：45～料金がかかってもよいので、ご検討をお願い致します。東久留米市の子育て環境は、とても良いと思っております。自然と住宅とのバランスがとてもよく、遊ばせやすいですが、支援をもう少し充実させて欲しいです。

【放課後子ども教室に関する意見】

- ・放課後教室を充実してほしい。（週2回）また、体を動かす以外に勉強面もしてほしい。（週1回）
- ・他の市町村にお住いの方からの話だと、放課後子供教室が充実しているようで、学童を利用していないパート勤めの家庭にとっては毎日放課後子供教室があれば、鍵を持たせずに済むのにな、と思いました。学年があがれば6時間授業も増えるので特に、1・2年のときに積極的に利用したかったです。

【地域子育て支援拠点に関する意見】

- ・学校の近くに児童館や子供たちだけで安全に遊べる場所（公園等）が無いので、放課後の過ごし方について悩んでいます。学校の校庭を開放する等、遊べる場所を増やしてほしいです。
- ・発達障害や境界知能とされる子どもが増えています。学校の先生、学童や児童館の先生など、子どもと関わる全ての先生たちに研修などして知識を持ってほしい。間違った接し方をしないでほしいです。正しい関わり方を学んでほしいです。また、そういった子が通える放課後デイサービスをもっと増やしてほしいです。

【子育て援助活動支援に関する意見】

- ・多子で食費が大変にかかるので、何とかしたい。パントリー以外に毎月、食料支援があると助かる。
- ・ファミリー・サポート・センターさん、利用させて頂いて2年目ですが、とても助かってます。子供にとっておばあちゃんと同じくらいの年齢の方ですが、サポートだけでなく、お花の話しや日常の出来事を話しながら帰ってきている様で、とても物知りになっています。お友達のお母さんたちに仕事しながら習い事どうやって送迎しているの？とよく聞かれ、ファミサポさんの話しをすると知らない方が多いです。とてもステキな事業だと思っているので、もう少しわかりやすく、みやすくして、認知度が上がるといいなーと応援してます！

【一時預かりに関する意見】

- ・事前の登録手続き等も不要で、必要な日のみ気軽に利用できる幼稚園のアットホーム（預かり保育）事業のような仕組みが小学校にもあると非常にありがたいです。現状の学童保育は、保護者が就労していて定期利用する人しか利用できないので。
- ・一時預かりがあると用事がある時に助かる事がありました。一歳から幼稚園までは気軽に預けられる低価格での有料サービスがあり子育てのサポートになりました。この仕組みがまだ心配もありお留守番させずらい小学生までであれば、使用する、しないに関わらずサポートがあるのだという親御さんの安心感につながる気がします。

【病児保育に関する意見】

- ・子供が病気になった時、病児保育の施設を利用したいと思っていますが距離が遠いので、駅の近くに数カ所病児保育の施設を設置してほしいと思います。
- ・病児後保育の施設が1件しかなく、我が家の子供は良く風邪を引いて保育園や小学校を休むので、利用したいが対応する人数が少ないので遠慮してしまう。またいつも利用している施設ではないので、人見知りの我が子を利用させるには気が引ける。

【相談支援・情報提供に関する意見】

- ・くるめっこナビのアプリがあること知りませんでした。情報がなかなか入ってこないなので、これからは利用していきたいと思います。
- ・発達障害児の相談をする際、「学校」「学童」「市役所の相談窓口」等、スムーズに連携してもらえると助かります。だいたいどういう流れで、何をどこに聞けばいいのか、チャートのようなものがあると先を見通すことができ不安も減ると思います。

IV. 資料編（調査票）

東久留米市子ども・子育て 支援二一ス調査票 (就学前児童保護者用)



～ ご協力をお願い～

日頃より市政に対しご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
突然のご案内で大変恐れ入りますが、東久留米市子ども・子育て支援に関するアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年度より、「子ども・子育て支援法」に基づく新たな子ども・子育て支援新制度がスタートし、東久留米市の幼児教育（幼稚園等）・保育や、子ども・子育て支援の充実を図るために、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施してまいりました。

2025年度から2029年度までの第三期子ども・子育て支援事業計画を、東久留米市の子育て家庭の実情やニーズに合ったものにするため、現在小学校就学前のお子さんがいるご家庭に、子ども・子育て支援サービスの利用希望に関する二一ス調査を実施いたします。

調査結果は、今後の東久留米市における子ども・子育て支援施策を検討する上で、重要な資料となります。お忙しいところ、まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和5年11月
東久留米市長 富田 竜馬

※この調査は、市内にお住まいの小学校就学前（平成29年（2017年）4月2日～令和5年（2023年）4月1日生まれ）のお子さんの中から、無作為で2,000人を選ばせて頂き、その保護者の皆様に協力をお願いするものです。この調査票についてご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

※日本語が分からない方は子育て支援課にご連絡ください。
If you do not understand Japanese, please contact the Child Raising Support Section.

如果您不懂日语, 请联系育儿支援科。
일본어를 모르시는 분은 육아지원과에 문의해 주십시오.

【担当】東久留米市子ども家庭部 子育て支援課 子ども政策担当
(Child Raising Support Section, Higashikurume City Hall)
(東久留米市役所 育児支援科)
(히가시쿠루메시 시청 육아지원과)

【住所】〒203-8555 東久留米市本町3-3-1

【電話】【Telephone number】042 (470) 7740 (直通) (Direct number)

【Email】kosodateshi@city.higashikurume.lg.jp

(受付時間：平日9:00～12:00及び13:00～17:00)

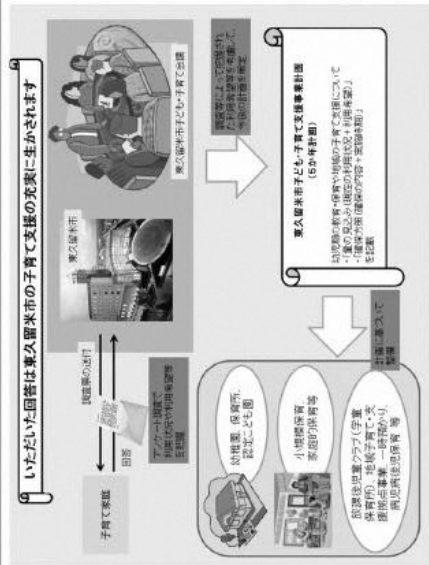
【回答方法と回答期限】

- 1 調査票には、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご回答ください。(保護者ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方などが代わって、保護者ご本人の意見を記入ください。)
- 2 回答方法は、選択肢の中から当り当てはまる番号に○印をつけていただく場合、数字を記載していただく場合、ご自由に記述していただく場合とがあります。
- 3 選択肢の中からお選びいただく場合には、選択していただく数が設問により異なりますので、ご注意ください。
- 4 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印にしたがってご回答ください。
- 5 インターネットでご回答いただく場合
 - ① パソコンやスマートフォンなどでURLを入力するか、二次元コードを読み込み、調査画面にアクセスしてください。
URL : <https://ww16.webcas.net/form/pub/survey-2311/higashikurume-01>
 - ② 以下のID・パスワードをご入力し、ログインしてください。
ID : パスワード :
※このID・パスワードは、インターネット回答用のみに使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。
※なりすましによる回答を防ぐため、ID・パスワードは他の人に教えないでください。
※最後までご入力が完了したら、「登録」ボタンを押して、「ご回答ありがとうございました」と表示されれば、アンケートは終了となります。「修正」ボタンを押せば、入力画面に戻ります。
- 6 調査票でご回答いただく場合
 - ① 調査票に直接ご記入ください。ボールペンまたは、濃い鉛筆ではつきりとご記入ください。
 - ② 同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて封をし、ポストへ投函してください。



【二次元コード】

回答期限：12月4日(月)



お住まいの地域についてうかがいます

問1-1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|--------|-------------|---------|--------|---------|
| 1. 上の原 | 5. 大門町 | 9. 学園町 | 13. 幸町 | 17. 南町 | 21. 野火止 |
| 2. 神宝町 | 6. 東本町 | 10. ひばりが丘団地 | 14. 中央町 | 18. 滝山 | 22. 八幡町 |
| 3. 金山町 | 7. 新川町 | 11. 本町 | 15. 南沢 | 19. 下里 | 23. 弥生 |
| 4. 氷川台 | 8. 浅間町 | 12. 小山 | 16. 前沢 | 20. 柳産 | |

問1-2 お住まいの丁目を数字でご記入ください。

丁目 (東本町及びひばりが丘団地は除く)

問1-3 封筒(宛名ラベルの右端)に記載のあるアルファベットをご記入ください。
(お住まいの地区の中学校区を判定するために使用します)

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生年月、現在の年齢をご記入ください。

西暦 () 年 () 月 生まれ () 歳

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください
(ひとりっ子は「1」)。
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

1. きょうだい数 () 人 (本人を含む)
2. 末子の生年月 西暦 () 年 () 月 生まれ () 歳

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみられた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいた方の配偶関係についてお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。※単身社等により配偶者と別居している場合は「1. 配偶者がいる」を選択してください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。
お子さんからみられた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
お子さんからみられた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに	4. 祖父母	7. 認定こども園
2. 母親	5. 幼稚園 (認定こども園を除く)	8. その他 ()
3. 父親	6. 保育園 (認定こども園を除く)	

問8 宛名のお子さんの子育てに、大きく影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭	3. 幼稚園 (認定こども園を除く)	5. 認定こども園
2. 地域	4. 保育園 (認定こども園を除く)	6. その他 ()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒ 問10へ

問9で「1.」～「4.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族や友人または知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 身体的負担が大きく心配である
3. 時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

⇒ 問9-1を回答したあとは問10へ



宛名のお子さんの保護者の働き方についてうかがいます

※ ここでいう「フルタイム（育児時間の時短勤務の方を含みます）」とは、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」をいい、「パート・アルバイト等」とは「フルタイム以外の就労」をいいます。

「母親」、「父親」について両方ともご記入ください。

母子家庭、父子家庭の場合は、それぞれ当てはまらない箇所の記入は不要です。

保護者が「母親」、「父親」以外の場合のみ「その他」にご記入ください。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. フルタイムで就労している	1. フルタイムで就労している	1. フルタイムで就労している
2. フルタイムで就労しているが、産休・育児・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、産休・育児・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、産休・育児・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労している	3. パート・アルバイト等で就労している	3. パート・アルバイト等で就労している
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である	4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である	4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない
⇒問14ハ	⇒問14ハ	⇒問14ハ

(1) で「1. フルタイムで就労している」から「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

(2) 週当たりの「就労日数」(1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」)をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もとも多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
a. 1週当たり () 日	a. 1週当たり () 日	a. 1週当たり () 日
b. 1日当たり () 時間	b. 1日当たり () 時間	b. 1日当たり () 時間

(1) で「1. フルタイムで就労している」から「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

(3) 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もとも多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず「18時」のように2.4時間制でお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
a. 家を出る時刻 () 時頃	a. 家を出る時刻 () 時頃	a. 家を出る時刻 () 時頃
b. 帰宅時刻 () 時頃	b. 帰宅時刻 () 時頃	b. 帰宅時刻 () 時頃

問10 宛名のお子さんの子育てをすす上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある 2. いない/ない ⇒ 問11ハ

問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にかがいます。

問10-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 配偶者やパートナー
- 2. 祖父母等の親族
- 3. 友人や知人
- 4. 近所の人
- 5. 子ども家庭支援センター
- 6. 子育て支援施設
(地域子ども家庭支援センター上の原、地域子育て支援センターはこぶね館、児童館等)
- 7. 市健康課・保健所
- 8. 保育士
- 9. 幼稚園教諭
- 10. 民生委員・児童委員
- 11. かかりつけの医師
- 12. 自治体の子育て関連担当窓口
(子育て支援課・児童青少年課)
- 13. その他 【例】ベビージッター、NPO など

問11 子育てをすす上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問12の(1)で「3.パート・アルバイト等で就労している」または「4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかがいます。
該当しない方は、問15へお進みください。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問12の(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

問14 就労したいという希望はありますか。記号をそれぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが一歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが一歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが一歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
希望する就労形態	希望する就労形態	希望する就労形態
①フルタイム ②パートタイム、アルバイト等 ③に○をつけた方のみ	①フルタイム ②パートタイム、アルバイト等 ③に○をつけた方のみ	①フルタイム ②パートタイム、アルバイト等 ③に○をつけた方のみ
希望する就労時間	希望する就労時間	希望する就労時間
a. 1週当たり__日 b. 1日当たり__時間	a. 1週当たり__日 b. 1日当たり__時間	a. 1週当たり__日 b. 1日当たり__時間

宛名のお子さんの平日(月～金)の定期的な幼稚園や保育園などの利用状況についてうかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ	2. 利用していない ⇒ 問15-4へ
--------------------	---------------------

問15-1～問15-3は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

問15-1 宛名のお子さんは、平日(月～金)、幼稚園や保育園などを利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

また、平日(月～金)、幼稚園や保育園などを定期的にどのくらいの利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1 週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「18」時のように2.4時間制でご記入ください。

教育・保育事業 (あてはまる番号すべてに○)	現在の利用状況		今後の利用希望	
	週当たりの利用日数	1日当たりの利用時間	週当たりの利用日数	1日当たりの利用時間
1. 幼稚園 ※④ (通常の就労時間(おおむね9時から14時までの利用。ただし、各園により異なる))	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時
2. 幼稚園の預かり保育 ※⑤-1 (通常の就労時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時
3. 認可保育所 ※① (区が定める最低基準に適合した施設で普通府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時
4. 認定こども園 ※④ (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時
5. 小規模保育施設 ※② (市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時
6. 家庭的保育施設 ※③ (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時
8. 自治体の施設・認定保育施設 ※⑥ (認可保育所ではないが自治体が認定・認定した施設)	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時
9. その他の認可外の保育施設	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時
10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	() 日	() 時～() 時	() 日	() 時～() 時

保育・保嬰事業 (あてはまる番号すべてに○)	現在の利用状況		今後の利用希望	
	週当たりの 利用日数	1日当たりの 利用時間	週当たりの 利用日数	1日当たりの 利用時間
1.1. ファミリー・サポート・センター ※⑩ (ファミリー・サポート・センターに登録した 地域住民が、子どもを預かる事業)	() 日 () 時～() 時	() 時～() 時	() 日 () 時～() 時	() 時～() 時
1.2. その他 (具体的に：)	() 日 () 時～() 時	() 時～() 時	() 日 () 時～() 時	() 時～() 時

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 15-2 現在、上記のような幼稚園や保育園などの利用場所についてうかがいます。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 東久留米市内
2. 清瀬、小平、東村山、西東京、新盛のいずれかの市
3. その他の区市町村

問 15-3 子育てをしている方が、平日（月～金）に定期的に幼稚園や保育園などを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が、現在就労しているため
3. 子育てをしている方が、就労予定がある、または求職中であるため
4. 子育てをしている方が、家族・親族などを介護しているため
5. 子育てをしている方が、病気や障害があるため
6. 子育てをしている方が、学生であるため
7. 子育てをしている方が、出産前・産後の子どもの育児が大変であるため
8. その他 ()

問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-4 利用していない理由は何ですか。

主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「8. 子どもがまだ小さいため」を選んで場合は、下線部に年齢を数字でご記入ください。

1. (子どもの教育や発達のため、あるいは子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で
利用する必要がないため)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみているため
3. 近所の人や父母の友人・知人がみているため
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないため
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がないため
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ a. () 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他 ()

【すべての方にうかがいます】

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日（月～金）の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 ※⑬
(通常の就園時間（おおむね9時から14時まで）の利用。ただし、各園により異なる)

2. 幼稚園の預かり保育 ※⑮-1
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)

3. 認可保育所 ※⑭
(都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)

4. 認定こども園 ※⑯
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)

5. 小規模保育施設 ※⑰
(市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)

6. 家庭的保育施設※⑱
(保育者の家庭等で5人以下の子どものを保育する事業)

7. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)

8. 自治体の認証・認定保育施設 ※⑲
(認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設)

9. その他の認可外の保育施設

10. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)

11. ファミリー・サポート・センター ※⑩
(ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)

12. その他 (具体的に：)

13. どれも利用するつもりがない

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 16-1 上記のような幼稚園や保育園などを利用したい場所についてうかがいます。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 東久留米市内 2. 他の区市町村

問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ

「3. 認可保育所」～「12. その他」のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。

問 16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当
てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい 2. いいえ

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（当市では「子育てひろば（地域子ども家庭支援センター）上の原・地域子育て支援センターはこぶね館）」、「健康課の育児相談」が該当します）や児童館を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。
また、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業 ※⑧
1週当たり () 回 もしくは 1ヶ月当たり () 回程度

2. その他の類似の事業 例：児童館等（真体名：）
1週当たり () 回 もしくは 1ヶ月当たり () 回程度

3. 利用していない

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。
当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり () 回 もしくは 1ヶ月当たり () 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 更に () 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に () 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
① プレ・パパママクラス（市健康課）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
② 出産に関する情報提供・育児相談（市健康課）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ 親子で参加できる教室・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ 教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥ 赤ちゃん・ふらっと （乳幼児をもつ親が安心して授乳やおむつ替えができる施設として、那が聖たのみの）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦ 子ども家庭支援センター（わくわく健康プラザ内）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧ 子育てひろば（地域子ども家庭支援センター上の原）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨ 子育てひろば（地域子育て支援センターはこぶね館） ※⑧	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩ 児童館 ※⑨	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。
希望がある場合は、利用したい時間帯を「9時から18時」のように2.4時間制でご記入ください。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい ⇨ 利用したい時間帯

3. 月に1～2回は利用したい () 時から () 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい ⇨ 利用したい時間帯

3. 月に1～2回は利用したい () 時から () 時まで

問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため

2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. 休業のため

5. 出産前・産後の子どもの育児が大変であるため

6. その他 ()

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を「9時から18時」のように2.4時間制でご記入ください。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい ⇨ 利用したい時間帯

3. 休みの期間中、週に数日利用したい () 時から () 時まで

問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため

2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため

4. 休業のため

5. 出産前・産後の子どもの育児が大変であるため

6. その他 ()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育利用以外に、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか、ある場合は当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

利用している事業	1年間の利用日数
1. 保育所の一時的預かり ※⑤ (私用など理由を問わずに保育所で一時的に預かる事業)	() 日
2. 幼稚園の預かり保育 ※⑤-1 (通常の就園時間を延長し預かる事業で不定期に利用するもの)	() 日
3. ファミリー・サポート・センター ※⑥ (ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)	() 日
4. ベビーシッター	() 日
5. 子どもショートステイ ※④ (出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業)	() 日
6. その他 ()	() 日
7. 利用していない	() 日

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかると高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他 ()

問 24 宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳日数を数字でご記入ください。）。

1. 利用したい	合計日数 () 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院等	() 日
ウ. 不定期の就労	() 日
エ. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ	

問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育所の一時的預かり ※⑤
(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)
2. 幼稚園の預かり保育 ※⑤-1
(通常の就園時間を延長し預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)
3. ファミリー・サポート・センター ※⑥
(ファミリー・サポート・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)
4. ベビーシッター
5. 子どもショートステイ ※④
(出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業)
6. 夜間養護等事業：トワイライトステイ
(児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業) ※現在、東久留米市では実施しておりません。
7. その他 (具体的に:)

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を数字でご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を数字でご記入ください。）
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	合計 () 泊
ア. 冠婚葬祭	() 泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	() 泊
ウ. 保護者や家族の病気	() 泊
エ. その他 ()	() 泊
2. 利用する必要はない ⇒ 問26へ	

宛名のお子さんが来年から小学校に入学する方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

※2017年(平成29年)4月2日 ~ 2018年(平成30年)4月1日生まれのお子さんについてうかがいます。

⇒ その他の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日(月~金)の小学校終了後の)時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように2.4時間制でご記入ください。

1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい
3. 習い事	週()日くらい
4. 児童館 ※②	週()日くらい
5. 学童保育 ※①	週()日くらい → 下校時から()時まで
6. ファミリー・サポーター・センター ※⑤	週()日くらい
7. 放課後子供教室 (地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。)	週()日くらい
8. その他(公園、学校の校庭など)	週()日くらい

※のあとに丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日(月~金)の小学校終了後の)時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように2.4時間制でご記入ください。

※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい
3. 習い事	週()日くらい
4. 児童館 ※②	週()日くらい
5. 学童保育 ※①	週()日くらい → 下校時から()時まで
6. ファミリー・サポーター・センター ※⑤	週()日くらい
7. 放課後子供教室	週()日くらい
8. その他(公園、学校の校庭など)	週()日くらい

※のあとに丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問26 または問27で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。

問28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように2.4時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	⇒	()時から()時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	⇒	()時から()時まで
3. 利用する必要はない		

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように2.4時間制でご記入ください。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	⇒	()時から()時まで
3. 利用する必要はない		



すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
うかがいます

「母親」、「父親」について両方ともご記入ください。

母子家庭、父子家庭の場合は、それぞれ当てはまらない箇所の記入は不要です。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたが、母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3. 取得していない」を選んだ方はその理由を選択肢から選び、あてはまるものすべてをご記入ください。

(1) 育児休業を取得したか (いずれか1つに○)

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
1. 取得した (取得中である) ⇒ 問 30-1A	1. 取得した (取得中である) ⇒ 問 30-1A
2. 取得していない	2. 取得していない

問 30 で「2. 取得していない」と○をつけた方にうかがいます。

(2) 取得していない理由 (あてはまるものすべてに○)

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 仕事が忙しかった (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 仕事に戻るのが難しそうだった 昇給・昇格などが遅れそうだった 収入減となり、経済的に苦しくなる 保育所(園)などに預けることができた 配偶者が育児休業制度を利用した 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ など、制度を利用する必要がなかった 子育てや家事に専念するため退職した 1.1. 職場に育児休業の制度がなかった(自営業等により)就業規則に定めがなかった 2. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 3. 育児休業を取得できなかった 4. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかった 5. 認可保育園への入所が難しくなるため 6. 子どもが生まれた時、働いていなかった 7. その他() 	<ol style="list-style-type: none"> 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 仕事が忙しかった (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 仕事に戻るのが難しそうだった 昇給・昇格などが遅れそうだった 収入減となり、経済的に苦しくなる 保育所(園)などに預けることができた 配偶者が育児休業制度を利用した 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ など、制度を利用する必要がなかった 子育てや家事に専念するため退職した 1.1. 職場に育児休業の制度がなかった(自営業等により)就業規則に定めがなかった 2. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 3. 育児休業を取得できなかった 4. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかった 5. 認可保育園への入所が難しくなるため 6. 子どもが生まれた時、働いていなかった 7. その他()

※有期雇用とは、パートタイム・アルバイトなどのことをいいます。

【すべての方にうかがいます】

問30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び保険料が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 育児休業給付のみ知っていた
- 保険料免除のみ知っていた
- 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30 で「1. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたが、当てはまる番号1つに○をつけてください。
⇒ 該当しない方は、問 31へ

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> 育児休業取得後、職場に復帰した 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9A 育児休業中に離職した ⇒ 問 31A 	<ol style="list-style-type: none"> 育児休業取得後、職場に復帰した 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9A 育児休業中に離職した ⇒ 問 31A

問 30-3～問 30-5 は問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。また、年度初めの入所を希望して復帰したが、妻類には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> 年度初めの入所に合わせたタイミングだった それ以外だった 	<ol style="list-style-type: none"> 年度初めの入所に合わせたタイミングだった それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「妻類」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取り戻したかったですか。
() 内に数字でご記入ください。1ヵ月未満の場合は日数をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
実際の取得期間 () 歳 () ケ月 (1ヵ月未満の場合) () 日	実際の取得期間 () 歳 () ケ月 (1ヵ月未満の場合) () 日
希望 () 歳 () ケ月 (1ヵ月未満の場合) () 日	希望 () 歳 () ケ月 (1ヵ月未満の場合) () 日

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。数字をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
() 歳 () ヶ月 (1ヵ月未満の場合) () 日	() 歳 () ヶ月 (1ヵ月未満の場合) () 日

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> 希望する保育所に入ること 配偶者や家族の希望があったため 経済的な理由で早く復帰する必要があった 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため その他 	<ol style="list-style-type: none"> 希望する保育所に入ること 配偶者や家族の希望があったため 経済的な理由で早く復帰する必要があった 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため その他

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> 希望する保育所に入れなかったため 自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため 配偶者や家族の希望があったため 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 子どもをみてくれる人がいなかったため その他 () 	<ol style="list-style-type: none"> 希望する保育所に入れなかったため 自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため 配偶者や家族の希望があったため 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 子どもをみてくれる人がいなかったため その他 ()

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 利用した 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった) 	<ol style="list-style-type: none"> 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 利用した 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問 30-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

当てはまる理由すべてに○をつけてください。

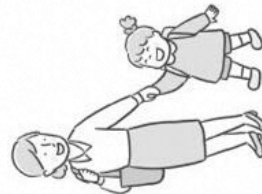
母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 仕事が忙しかった 短時間勤務にすると給与が減額される 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえないなど、子どもをみてくれる人がいた 子育てや家事に専念するため退職した 職場に短時間勤務制度がなかった(自営業等により)就業規則に定めがなかった 短時間勤務制度を利用できなかった その他 	<ol style="list-style-type: none"> 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 仕事が忙しかった 短時間勤務にすると給与が減額される 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえないなど、子どもをみてくれる人がいた 子育てや家事に専念するため退職した 職場に短時間勤務制度がなかった(自営業等により)就業規則に定めがなかった 短時間勤務制度を利用できなかった その他

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】
<ol style="list-style-type: none"> 1歳になるまで育児休業を取得したい 1歳になる前に復帰したい 	<ol style="list-style-type: none"> 1歳になるまで育児休業を取得したい 1歳になる前に復帰したい





東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査票 (就学児童保護者用)

～ ご協力をお願いします ～

日頃より市政に対しご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。突然のご案内で大変恐れ入りますが、東久留米市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年度より、「子ども・子育て支援法」に基づく新たな子ども・子育て支援新制度がスタートし、東久留米市の幼児教育（幼稚園等）・保育や、子ども・子育て支援の充実を図るために、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施してきました。

2025年度から2029年度までの第三期中子ども・子育て支援事業計画を、東久留米市の子育て家庭の実情やニーズに合ったものにするため、現在小学2年生の児童の保護者の方に、子ども・子育て支援サービスの利用希望に関する調査を実施いたします。

調査結果は、今後の東久留米市における子ども・子育て支援施策を検討する上で、重要な資料となります。お忙しいところ、まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和5年11月
東久留米市長 富田 竜馬

※この調査は、東久留米市立小学校2年生の保護者の皆様にご協力をお願いするものです。この調査票についてご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

※日本語が分からない方は子育て支援課にご連絡ください。
If you do not understand Japanese, please contact the Child Raising Support Section.

如果您不懂日语, 请联系育儿支援科。
일본어를 모르시는 분은 육아지원과에 문의해 주십시오.

【担当】東久留米市子ども家庭部 子育て支援課 子ども政策担当
(Child Raising Support Section, Higashikurume City Hall)
(東久留米市役所 育児支援科)
(히가시쿠루메시 시청 육아지원과)

【住所】〒203-8555 東久留米市本町3-3-1

【電話】【Telephone number】042(470)7740 (直通) (Direct number)

【Email】kosodateishi@city.higashikurume.lg.jp

(受付時間：平日9:00～12:00及び13:00～17:00)

【回答方法と回答期限】

1 調査票には、保護者の方がご回答ください。(保護者ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方などが代わって、保護者ご本人の意見を記入ください。)

※すでに就学前児童保護者用ニーズ調査票がお手元にある場合も、お手数ですが集計の都合上、すべての質問にお答えください。

2 回答方法は、選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけていただく場合、数字を記載していただく場合、ご自由に記述していただく場合とがあります。

3 選択肢の中からお選びいただく場合には、選択していただく数が増える場合により異なりますので、ご注意ください。

4 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印にしたがってご回答ください。

5 インターネットでご回答いただく場合
① パソコンやスマートフォンなどでURLを入力するか、二次元コードを読み込み、調査画面にアクセスしてください。
URL: <https://www16.webcas.net/form/pub/survey-2311/higashikurume-02>

② 以下のID・パスワードをご入力し、ログインしてください。
ID: パスワード:
※このID・パスワードは、インターネット回答用のみを使用するものであり、回答者個人を特定するものではありません。

※なりすましによる回答を防ぐため、ID・パスワードは他の人に教えないでください。

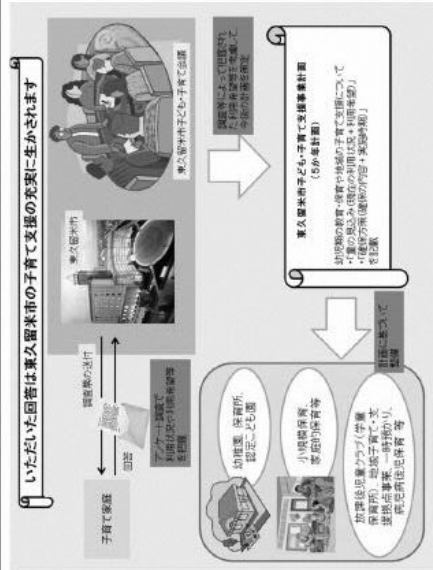
③ 最後にまでご入力が終わりましたら、「登録」ボタンを押して、「ご回答ありがとうございました」と表示されれば、アンケートは終了となります。「修正」ボタンを押せば、入力画面に戻ります。

6 調査票でご回答いただく場合
① 調査票に直接ご記入ください。ボールペンまたは、濃い鉛筆ではっきりとご記入ください。
② 記入した調査票は学校にてお子さんより担任の先生にお渡しください。



【二次元コード】

回答期限：11月20日(月)



お住まいの地域についてうかがいます

問1 お子さんが通っている学校はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください

1. 第一小学校	4. 第五小学校	7. 第九小学校	10. 神宝小学校
2. 第二小学校	5. 第六小学校	8. 第十小学校	11. 南町小学校
3. 第三小学校	6. 第七小学校	9. 小山小学校	12. 本村小学校

小学2年生のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 小学2年生のお子さんは何人きょうだいですか。小学2年生のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。

1. きょうだい数 () 人 (本人を含む)

2. 末子の生年月 西暦 () 年 () 月 生まれ () 歳

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。小学2年生のお子さんからみられた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 () 2. 父親 () 3. その他 ()

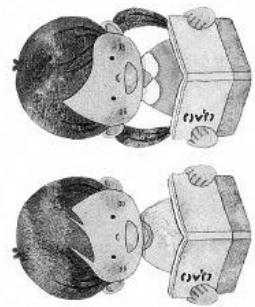
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる () 2. 配偶者がいない ()

問5 小学2年生のお子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。お子さんからみられた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに () 2. 主に母親 () 3. 主に父親 ()

4. 主に祖父母 () 5. その他 ()



小学2年生のお子さんの保護者の働き方についてうかがいます

※ここでいう「フルタイム（育児時間の時短勤務の方を含みます）」とは、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」をいい、「パート・アルバイト等」とは「フルタイム以外の就労」をいいます。

「母親」、「父親」について画方ともご記入ください。

母子家庭、父子家庭の場合は、それぞれ当てはまらない箇所の記入は不要です。

保護者が「母親」、「父親」以外の場合のみ「その他」にご記入ください。

問6 小学2年生のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
1. フルタイムで就労している	1. フルタイムで就労している	1. フルタイムで就労している
2. フルタイムで就労しているが、産休・育児・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、産休・育児・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、産休・育児・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労している	3. パート・アルバイト等で就労している	3. パート・アルバイト等で就労している
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である	4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である	4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

(1) で「1. フルタイムで就労している」から「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

(2) 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
a. 1週当たり () 日	a. 1週当たり () 日	a. 1週当たり () 日
b. 1日当たり () 時間	b. 1日当たり () 時間	b. 1日当たり () 時間

(1) で「1. フルタイムで就労している」から「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育児・介護休業中である」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

(3) 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず「18時」のように24時間制でお答えください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他 【保護者が母親・父親以外の場合】
a. 家を出る時刻 () 時頃	a. 家を出る時刻 () 時頃	a. 家を出る時刻 () 時頃
b. 帰宅時刻 () 時頃	b. 帰宅時刻 () 時頃	b. 帰宅時刻 () 時頃

問6の(1)で「3.パート・アルバイト等で就労している」または「4.パート・アルバイト等で就労していないが、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかかっています。該当しない方は、問9-1へお進みください。

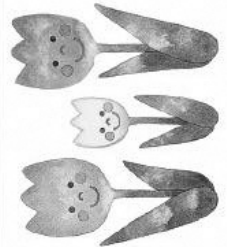
問7 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他【保護者が母親・父親以外の場合】
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問6の(1)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかかっています。該当しない方は、問9-1へお進みください。

問8 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号をそれぞれ1つに○をつけ、該当する下部部に数字をご記入ください。

母親【父子家庭は記載不要】	父親【母子家庭は記載不要】	その他
1. 子育てや家事に専念したい、(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが____歳になったころに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	1. 子育てや家事に専念したい、(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが____歳になったころに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	1. 子育てや家事に専念したい、(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが____歳になったころに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
希望する就労形態 ①フルタイム ②パートタイム、アルバイト等 ③に○をつけた方のみ	希望する就労形態 ①フルタイム ②パートタイム、アルバイト等 ③に○をつけた方のみ	希望する就労形態 ①フルタイム ②パートタイム、アルバイト等 ③に○をつけた方のみ



小学2年生のお子さんの病気の病気の対応についてうかがいます

問9-1 この1年間に、小学2年生のお子さんが病気やけがで学校を休んだ時の対処方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字で記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法		日数
ア	父親が仕事を休んだ	() 日
イ	母親が仕事を休んだ	() 日
ウ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
オ	病児・病後児の保育(めぐのへや)を利用した	() 日
カ	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
キ	その他()	() 日
ク	病児等で学校を休んだことはなかった	() 日

問9-1で「ア.父親が仕事を休んだ」または「イ.母親が仕事を休んだ」のいずれかに○をつけた方にかかっています。

問9-2 父親または母親が仕事を休んで子どもを看護したとき、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字で記入ください。なお、病児・病後児のための事業等※⑤の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児施設等を利用したい ⇒ () 日 ⇒ 問10へ
 2. 利用したいとは思わない

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問9-2で「2.利用したいとは思わない」に○をつけた方にかかっています。

問9-3 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安
- 地域の事業の質に不安がある
- 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間)がよくない
- 利用料がかかる・高い
- 利用料がわからない
- 親が仕事を休んで対応するので必要ない
- その他()

問9-1で「ウ.(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」～「キ.その他のいずれかに○をつけた方にかかっています。 ⇒ 問9-3に答えたと後は問10へ

問9-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで看護した日数についても数字で記入ください。

1. できれば仕事を休んで看護したい ⇒ (休んで看護した日数) () 日 ⇒ 問10へ
 2. 休んで看護することは非常に難しい ⇒ 問9-5へ

問9-4で「2.休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方にかかっています。

問9-5 「休んで看護することは非常に難しい」理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 子どもの看護を理由に休みがとれない
- 自営業なので休めない
- 休暇日数が足りないで休めない
- その他()

小学2年生のお子さんのお時間等(宿泊を伴う場合を含む)の利用についてうかがいます

問10 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
ある場合は当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も数字でご記入ください。

利用している事業	1年間の利用日数
1. ファミリー・サポーター・センター ※⑩ (ファミリー・サポーター・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)	() 日
2. 子どもショートステイ ※⑨ (出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業)	() 日
3. その他 ()	() 日
4. 利用していない	

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問11 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。
利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。
(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。)

1. 利用したい	合計日数 () 日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者自身の習い事等)、リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者自身の通院等	() 日
ウ. 不特定の就労	() 日
エ. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問12ハ	

問11で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問11-1 問11の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ファミリー・サポーター・センター ※⑩ (ファミリー・サポーター・センターに登録した地域住民が子どもを預かる事業)	
2. 子どもショートステイ ※⑨ (出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業)	
3. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業) ※現在、東久留米市では実施しておりません。	
4. その他 ()	

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

問12 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで生間泊くらし家族以外に預ける必要があると思いますか。
短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を数字でご記入ください。
(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を数字でご記入ください。)

なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	合計 () 泊
ア. 冠婚葬祭	() 泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	() 泊
ウ. 保護者や家族の病気	() 泊
エ. その他 ()	() 泊
2. 利用する必要はない ⇒ 問13ハ	

小学2年生のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問13 小学2年生のお子さんについて、小学校低学年(3年生まで)のうちは、放課後(平日(月～金)の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「5. 学童保育」を選択した場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 () 日くらい
2. 祖父母や友人・知人家	週 () 日くらい
3. 習い事	週 () 日くらい
4. 児童館 ※⑫	週 () 日くらい
5. 学童保育 ※⑪	週 () 日くらい → 下校時から () 時まで
6. ファミリー・サポーター・センター ※⑩	週 () 日くらい
7. 放課後子供教室 (地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。)	週 () 日くらい
8. その他(公園、学校の校庭など)	週 () 日くらい

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容はそちらをご覧ください。

東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査

報 告 書

発行年月 令和6年2月
発行 東久留米市子ども家庭部子育て支援課
〒203-8555 東久留米市本町3-3-1
電話 042-470-7777 (代表)
FAX 042-470-7807